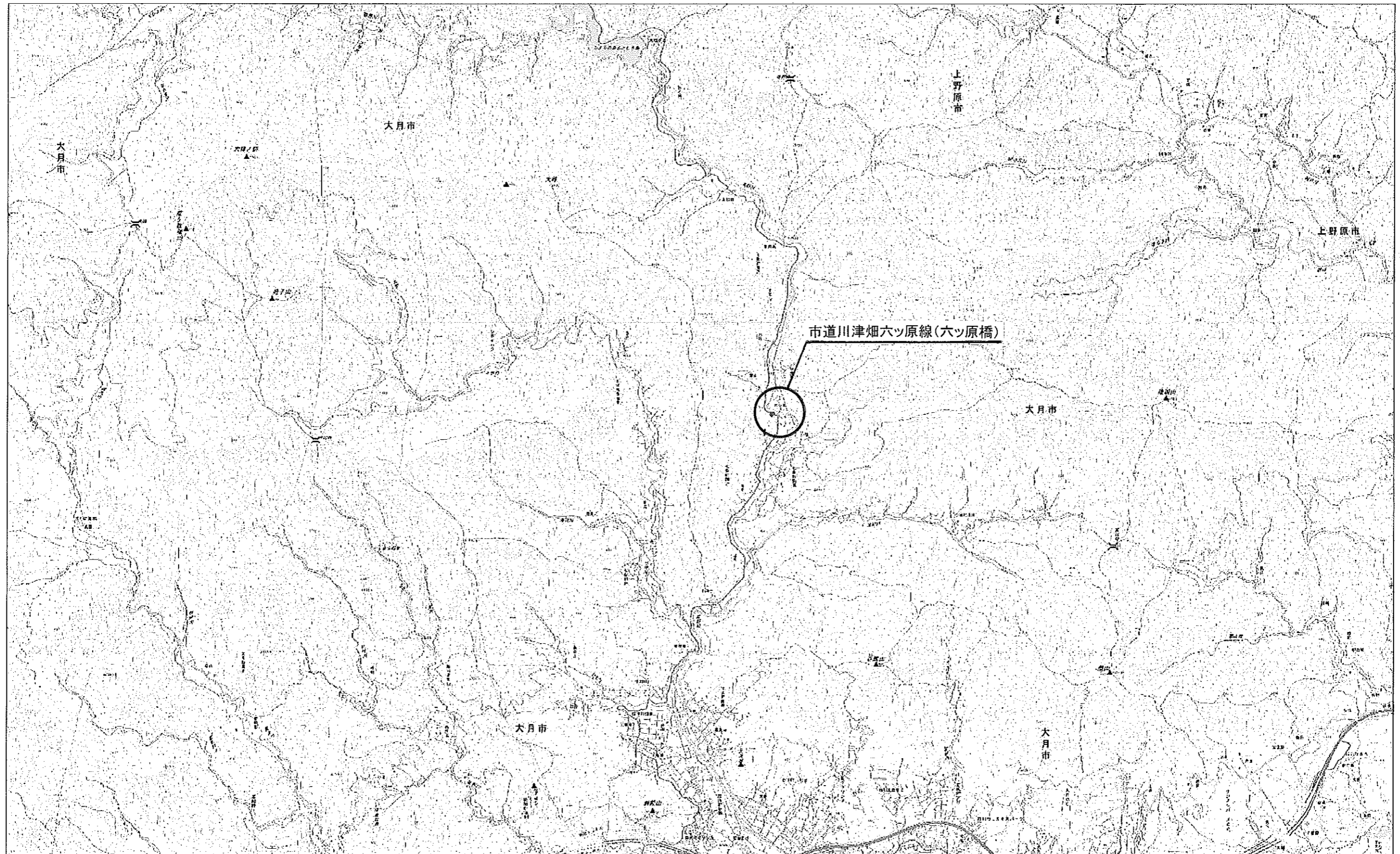


六ッ原橋 橋梁位置図

S=1:25,000

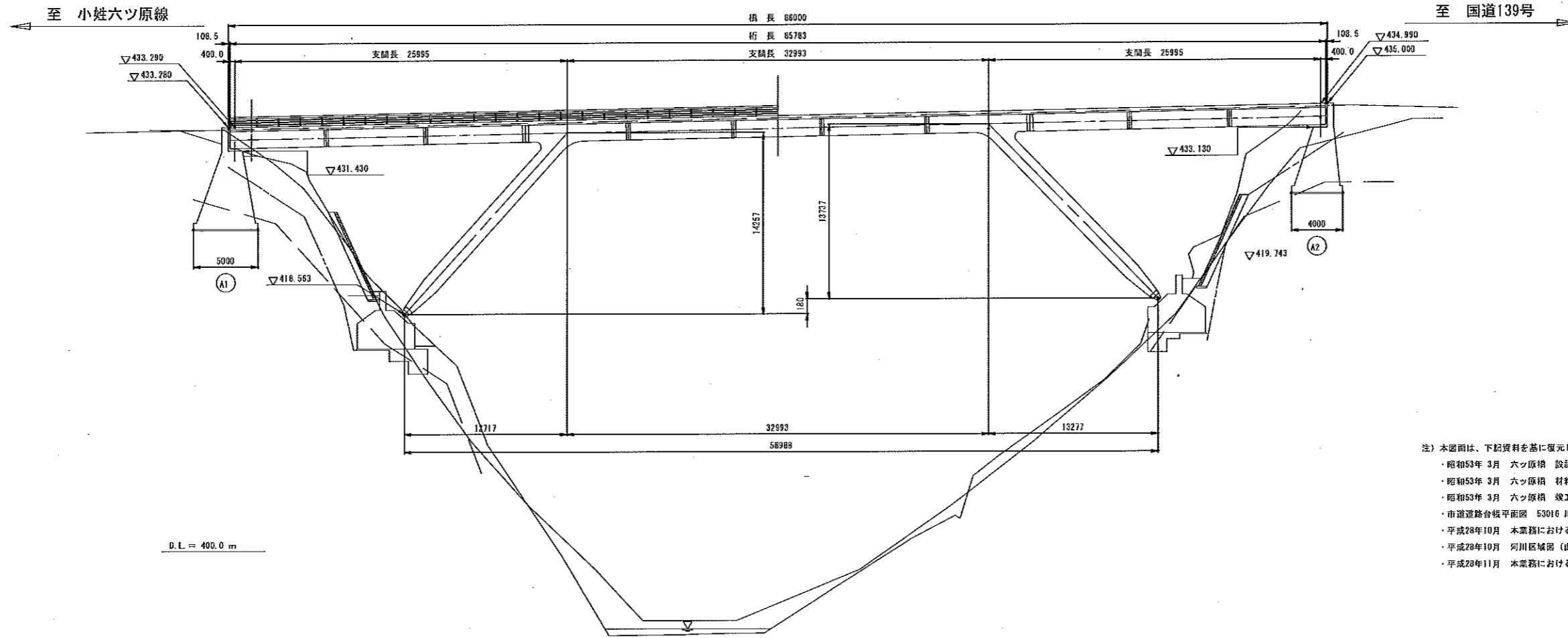


工事設計図		
工事番号		図面番号 1 / 1
路線名	六ッ原橋(市道小姓六ッ原線)	
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内	
図名	橋梁位置図	縮尺 1/25,000
測量	平成29年3月	枚数 1/25
測量者	株式会社 長大	

六ツ原橋 復元橋梁一般図 (その1)

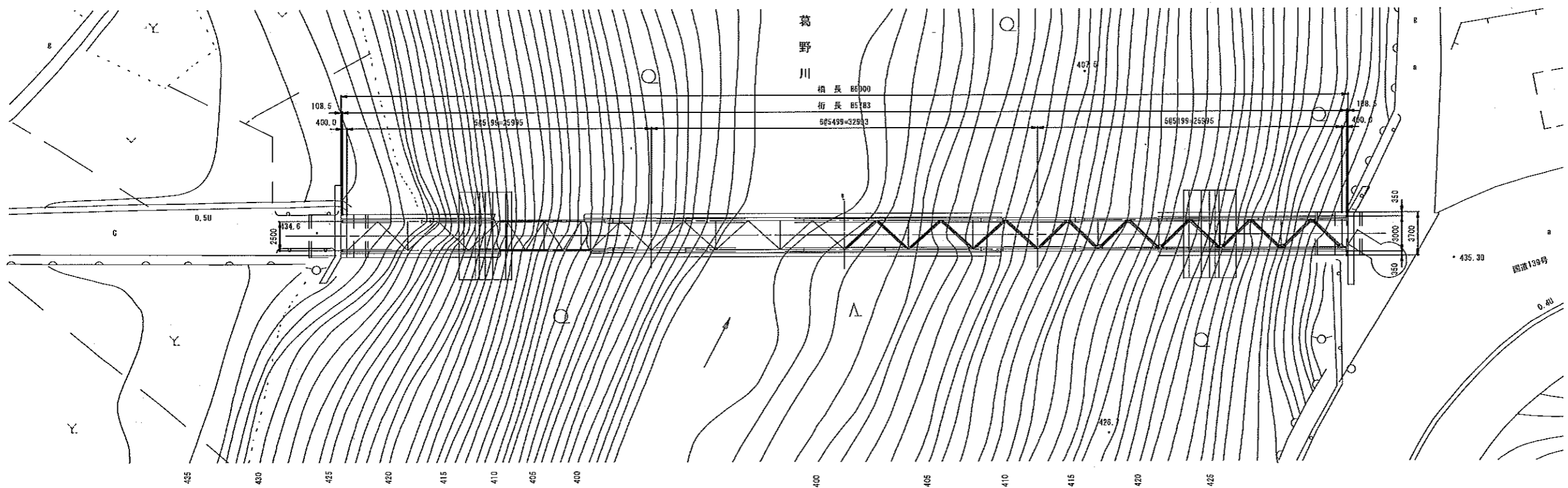
S=1:200

側面図



- 注) 本図面は、下記資料を基に復元した現橋の橋梁一般図である。
- 昭和53年 3月 六ツ原橋 設計計算書
 - 昭和53年 3月 六ツ原橋 材料計算書
 - 昭和53年 3月 六ツ原橋 竣工図面
 - 市道連絡台帳平面図 53016 川津畑六ツ原橋
 - 平成28年10月 本業務における現橋調査結果
 - 平成28年10月 河川区域図 (山梨県 富士・東野建設事務所 提供)
 - 平成28年11月 本業務における河川縦断測量結果

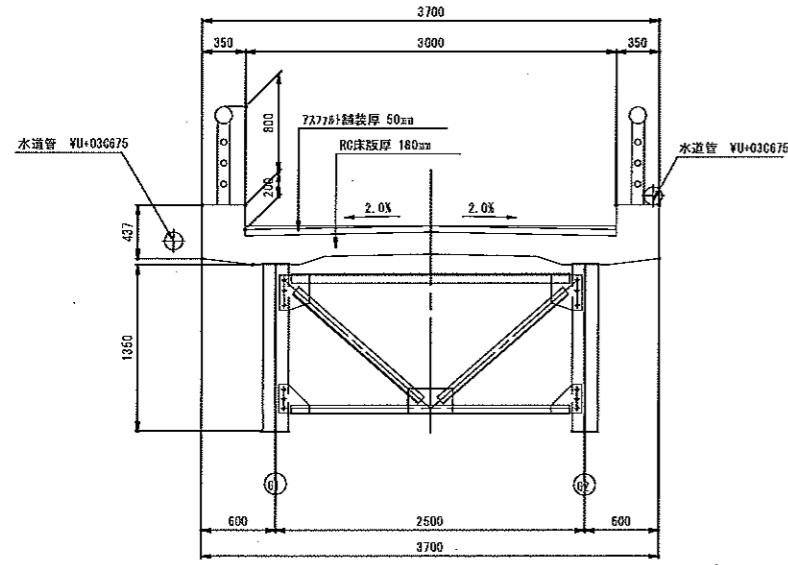
平面図



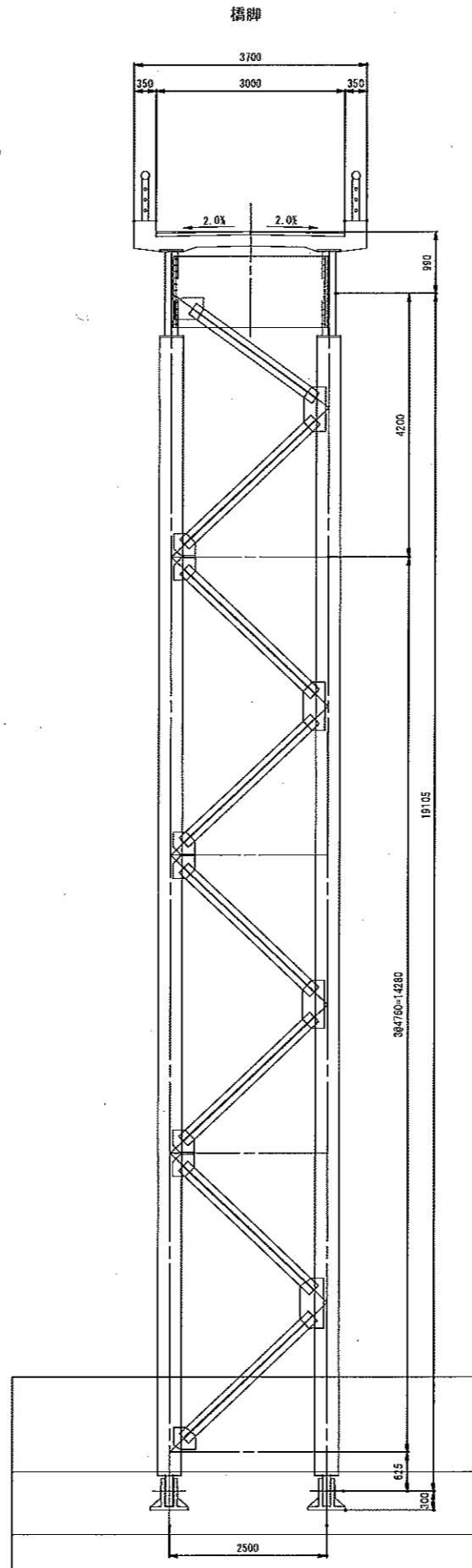
工事設計図			
工事番号	図面番号	1 / 2	
路線名	六ツ原橋(市道川津畑六ツ原橋)		
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内		
図名	復元橋梁一般図(その1)	縮尺	S=1/200
測量	平成28年3月	枚数	2 / 25
製図者	株式会社 長大		

六ツ原橋 復元橋梁一般図 (その2)

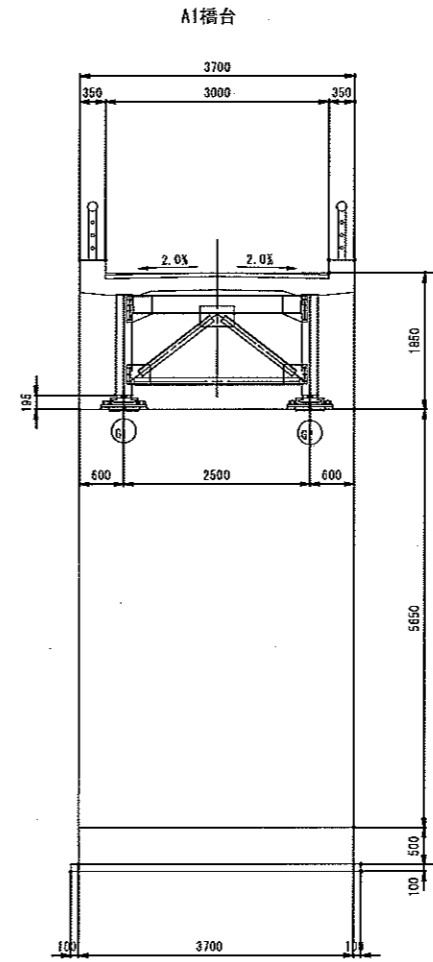
標準断面図 S=1:30



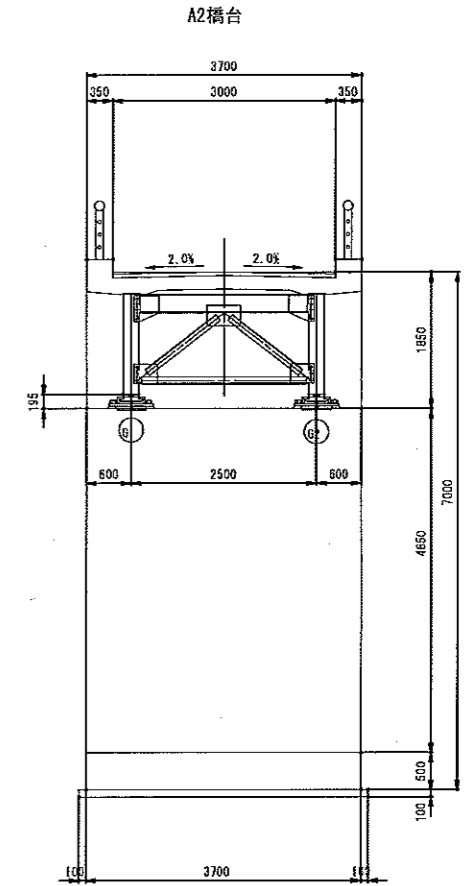
断面図 S=1:50



断面図 S=1:50



断面図 S=1:50



橋梁諸元

路線名	市道 川津畑六ツ原線
架橋位置	七保町 瀬戸 地内
竣工年月	昭和54年10月
交差物件	一級河川 葛野川
橋 格	2等橋
設計荷重	T・L-14
橋 長	86.000m
支間長	25.995m, 32.993m, 25.995m
有効橋長	車道: 3.000m
斜 角	90°0'00"00"
横断勾配	2.0% 2.0%
縦断勾配	2.0%
上部工形式	カブ式ラーメン橋
下部工形式	A1, A2: 重力式橋台 P1, P2: 重力式橋台
基礎工形式	A1, A2: 直接基礎 P1, P2: 直接基礎
材 使用鋼材	SM53, SM50Y, SS41, F10T
材 コンクリート	上部工: YU-03C3ck=240kg/cm ² 下部工: YU-03C3ck=210kg/cm ²
度 鉄 筋	S030
添架物件	水道管 YU-03C675 YU-0007 2条
設計基準	鋼道橋設計示方書 (昭和47年)
設計会社	(株) 横河橋梁製作所
上部工製作会社	(株) 横河橋梁製作所

注) 本図面は、下記資料を基に復元した現橋の構造一般図である。

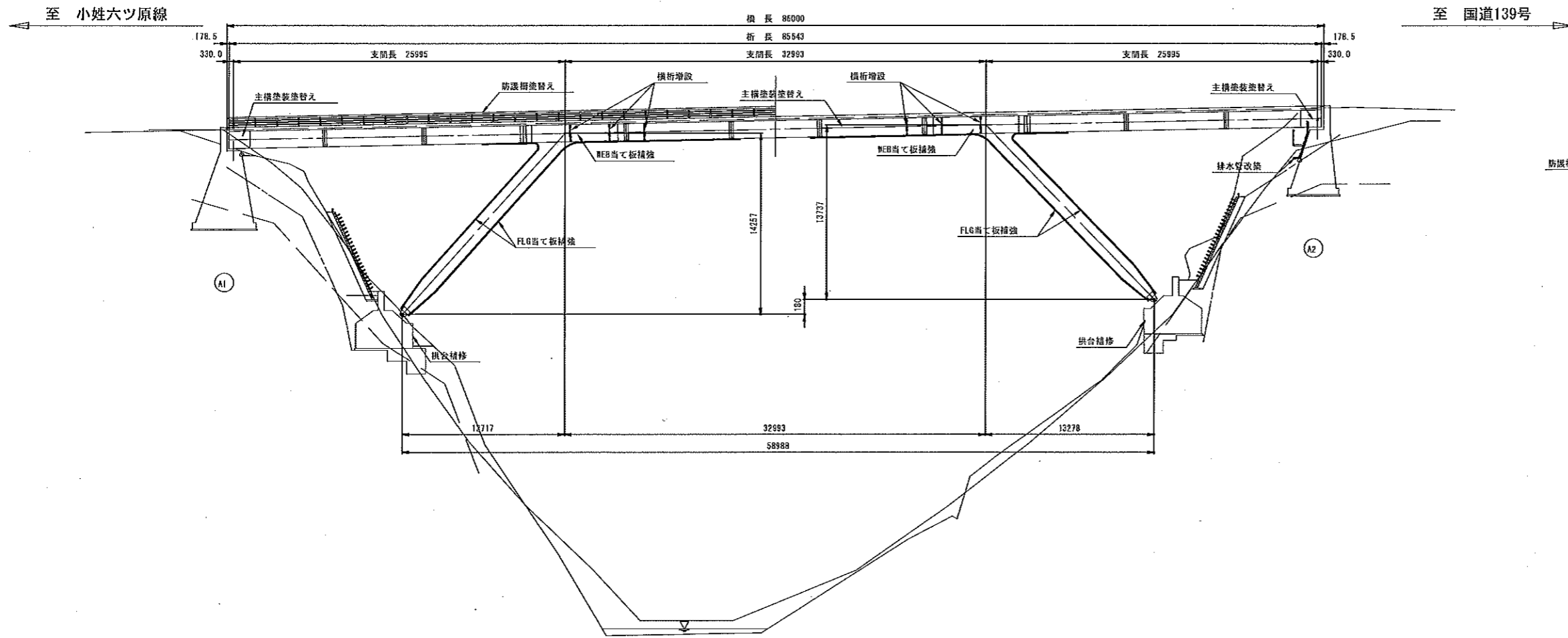
- ・昭和53年 3月 六ツ原橋 設計計算書
- ・昭和53年 3月 六ツ原橋 材料計算書
- ・昭和53年 3月 六ツ原橋 竣工図面
- ・市道道路台帳平面図 53016 川津畑六ツ原線
- ・平成24年 3月31日調査 市道道路台帳平面図 53016 川津畑六ツ原線
- ・平成27年 7月 本業務における現橋調査結果
- ・平成27年 8月 河川区域図 (山梨県 富士・東部建設事務所 提供)
- ・平成27年10月 本業務における河川断面測量結果

工事設計図			
工事番号	図面番号	2 / 2	
線 名	六ツ原橋(市道川津畑六ツ原線)		
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内		
図 名	復元橋梁一般図 (その2)	縮 尺	図 示
測 定	平成29年3月	枚 数	3 / 25
測 定 者	株式会社 長大		

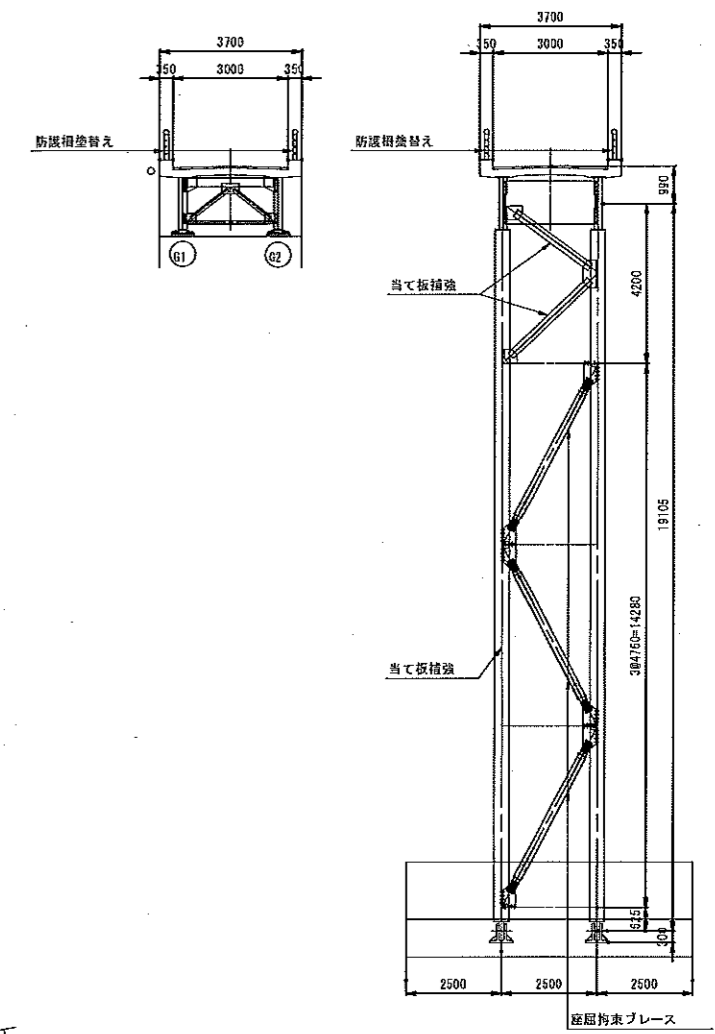
六ツ原橋 補修・補強一般図

S=1:200

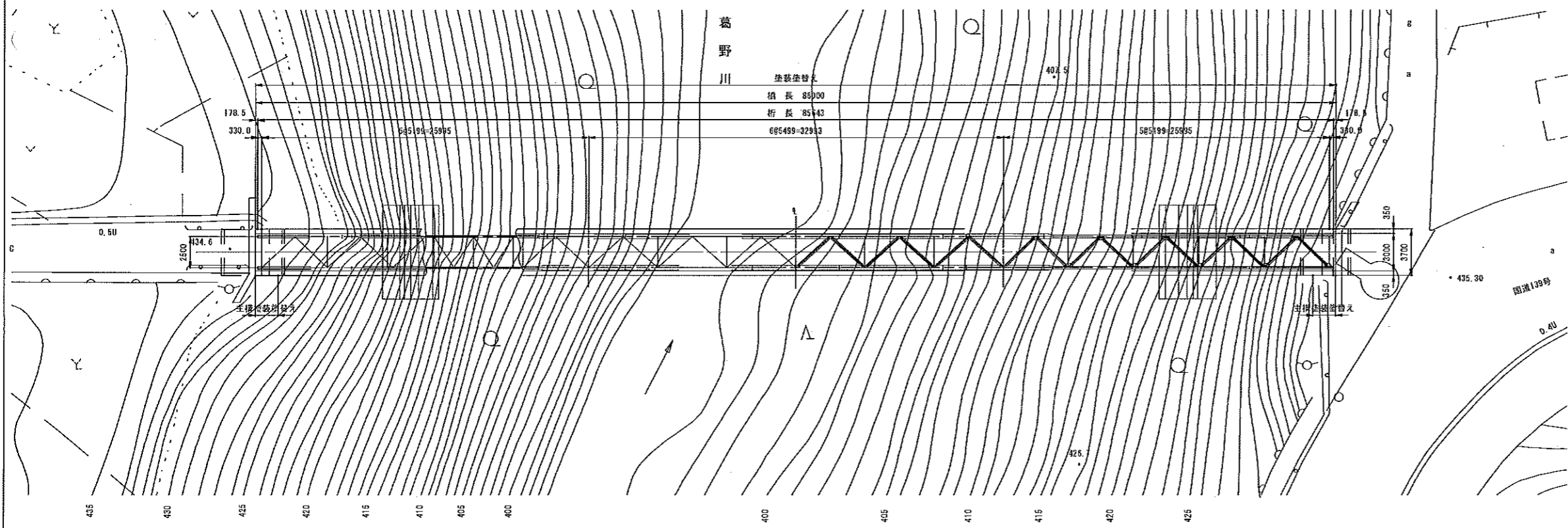
側面図



断面図 S=1:100



平面図

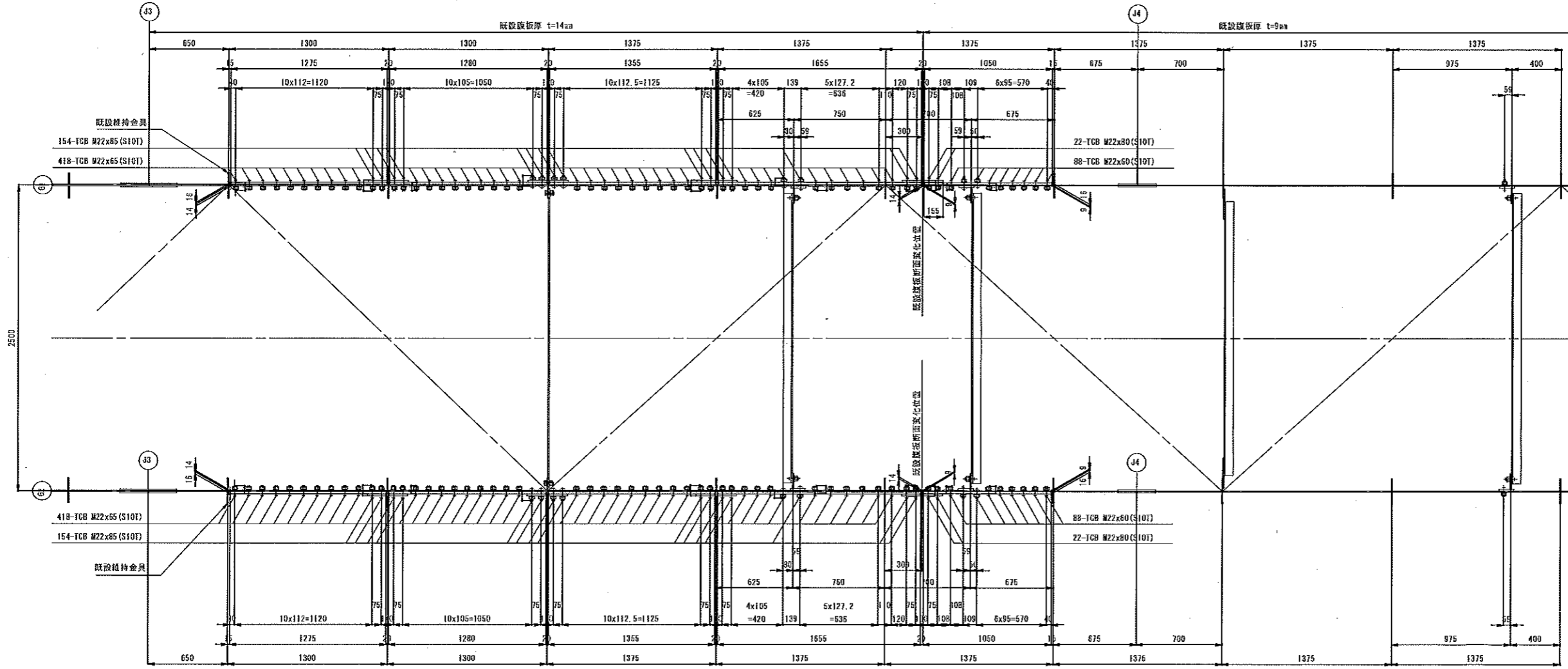
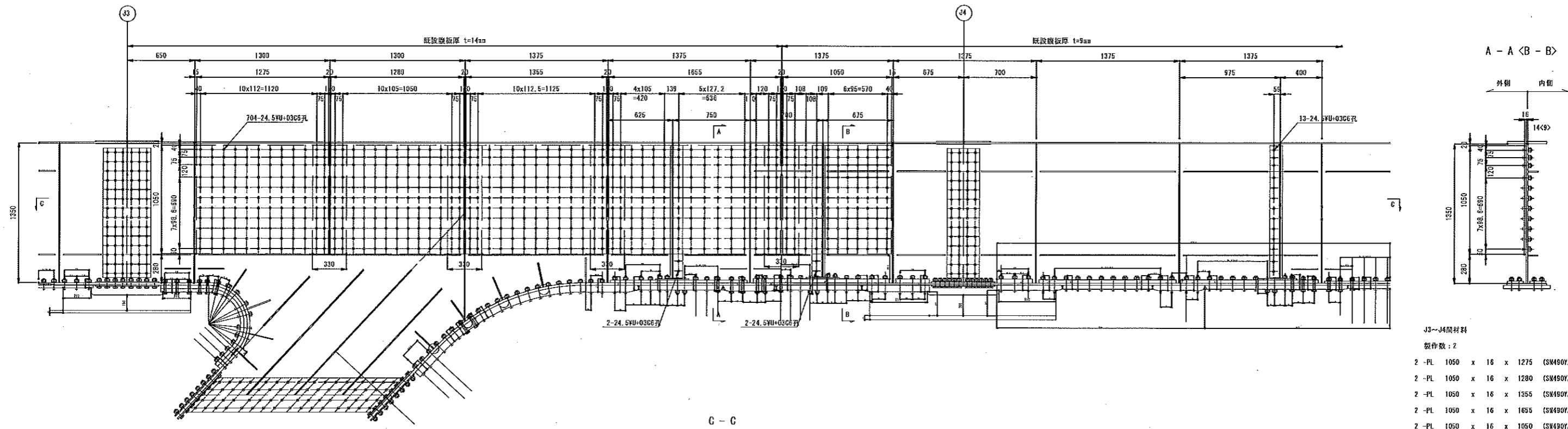


工事設計図			
工事番号		図面番号	1 / 1
路線名	六ツ原橋(市道川神畑六ツ原線)		
工事箇所	大月市七尾町 瀬戸 地内		
図名	補修・補強一般図	縮尺	図示
期量	平成29年3月	枚数	4 / 25
製図者	株式会社 長犬		

六ツ原橋 当て板補強図(その1)

S=1:20

G1 G2 腹板当て板補強板側面図

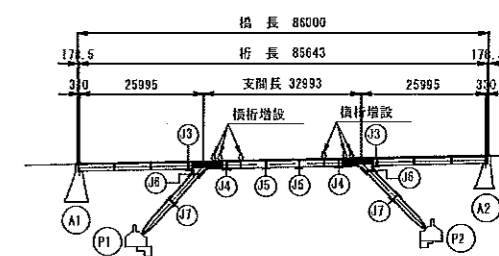


J3~J4間材料

製作数: 2

- 2 -PL 1050 x 16 x 1275 (SM490YA)
- 2 -PL 1050 x 16 x 1280 (SM490YA)
- 2 -PL 1050 x 16 x 1355 (SM490YA)
- 2 -PL 1050 x 16 x 1655 (SM490YA)
- 2 -PL 1050 x 16 x 1050 (SM490YA)
- 8 -PL 330 x 16 x 1050 (SM490YA)
- 2 -PL 155 x 2.3 x 1050 (SS400)
- 176 -TCB M22 x 60 (S10T)
- 836 -TCB M22 x 65 (S10T)
- 44 -TCB M22 x 80 (S10T)
- 308 -TCB M22 x 85 (S10T)

配置図



注記

1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーップは35Rとする。
3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現場再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
5. 既設部材の除去やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
6. ⊕印は、トルシア高力ボルトM22 (S10T) を示し、⊗印は、六角高力ボルトM22 (F10T) を示す。
7. 既設部材と当て補強板の接合部は、ケレンを施すこと。
8. R部の高力ボルトは、Rになじむようワッシャーを加工すること。

工事設計図

工事番号	図面番号	1 / 12
路線名	六ツ原橋(市道川津線六ツ原線)	
工事箇所	大月市 七坂寄 瀬戸 地内	
図名	当て板補強図(その1)	縮尺 図示
測量	平成29年3月	枚数 5/25
測量者	株式会社 長大	

J4~J6間材料

製作数: 2

1-PL 160 x 25 x 1315 (SW490YB)
1-PL 160 x 40 x 1755 (SW490YB)

1-PL 140 x 25 x 1315 (SW490YB)
1-PL 140 x 40 x 1315 (SW490YB)
1-PL 140 x 40 x 320 (SW490YB)
1-PL 140 x 40 x 2415 (SW520C-H)

1-PL 450 x 45 x 815 (SW520C-H)
1-PL 450 x 55 x 510 (SW520C-H)
1-PL 450 x 45 x 825 (SW520C-H)
1-PL 450 x 80 x 650 (SW520C-H)

六ツ原橋 当て板補強図(その2)

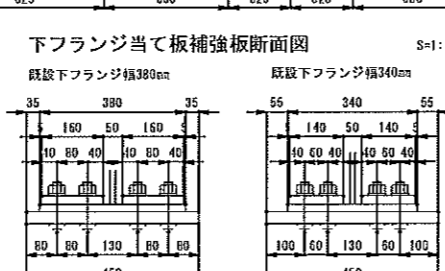
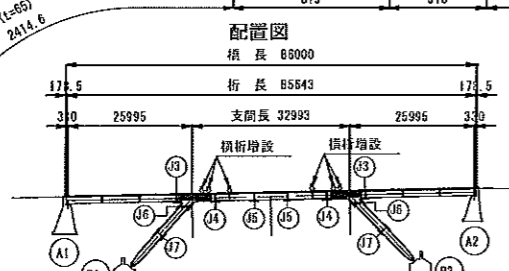
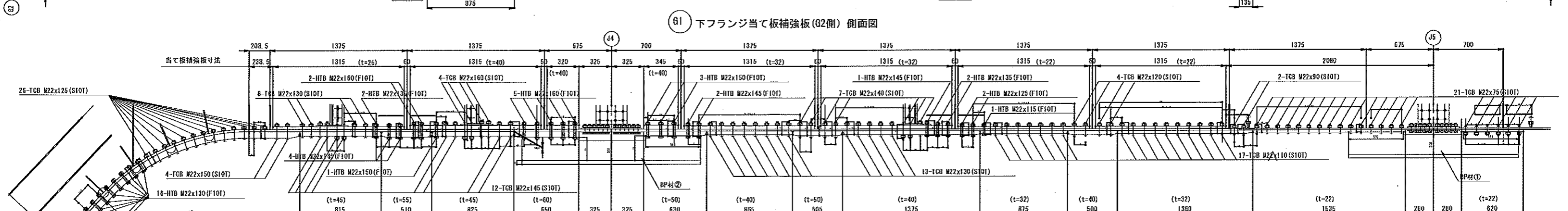
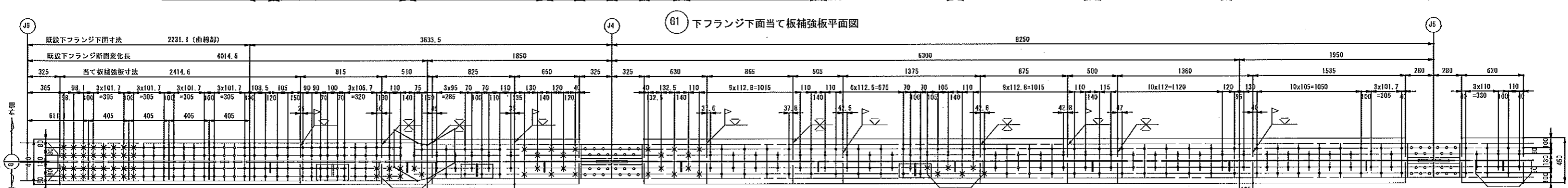
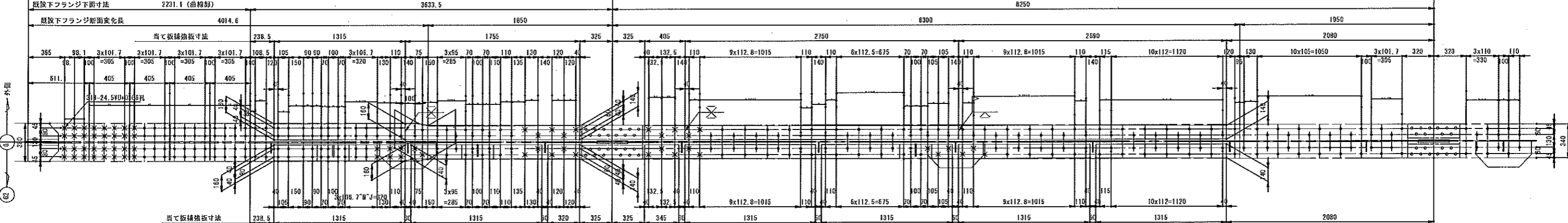
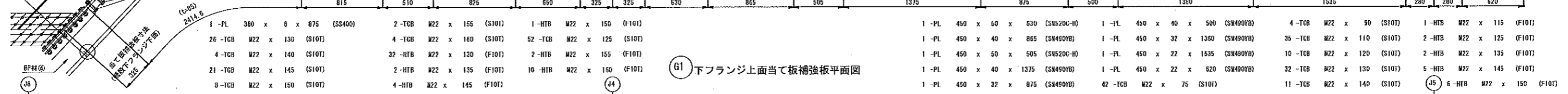
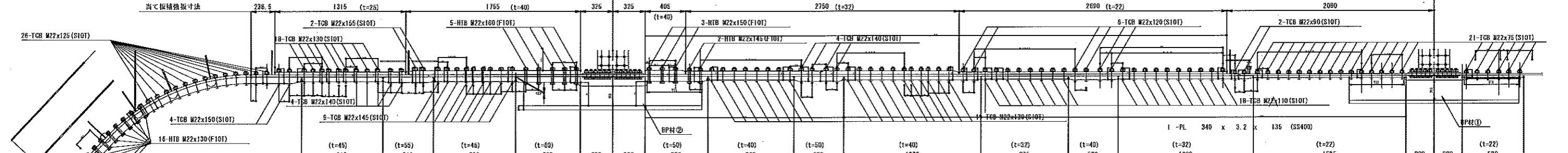
S=1:20

J4~J5間材料

製作数: 2

1-PL 140 x 40 x 405 (SW490YB)
1-PL 140 x 32 x 2750 (SW490YB)

1-PL 140 x 22 x 2690 (SW490YB)
1-PL 140 x 40 x 345 (SW490YB)
2-PL 140 x 32 x 1315 (SW490YB)
2-PL 140 x 22 x 1315 (SW490YB)



- 注記
1. 特記なき材質は全てSW490Aとする。
 2. 特記なきスカーップはSRとする。
 3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
 5. 既設鋼材の撤去やグラインダー仕上げに際しては、既設鋼材を損傷させない様、十分に留意すること。
 6. ①印は、トルシア高力ボルトM22 (S10T) を示し、②印は、六角高力ボルトM22 (F10T) を示す。
 7. 既設鋼材と当て板補強板の接触面は、ケレンを施すこと。
 8. R印の高力ボルトは、Rに同じようワッシャーを加工すること。

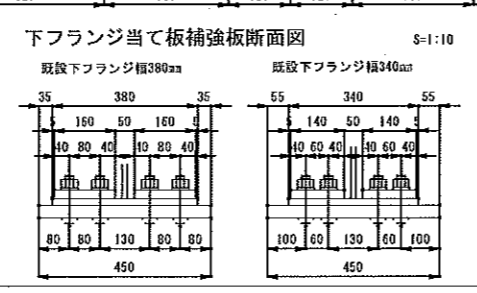
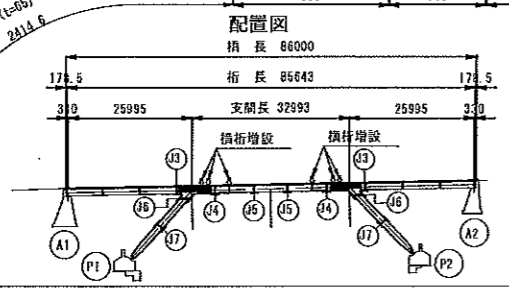
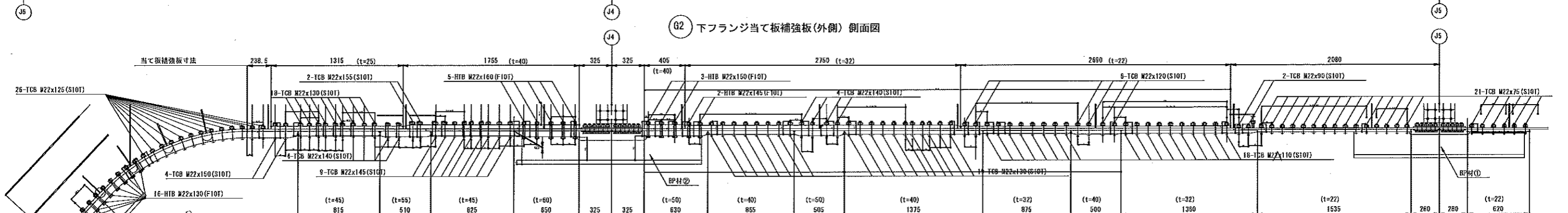
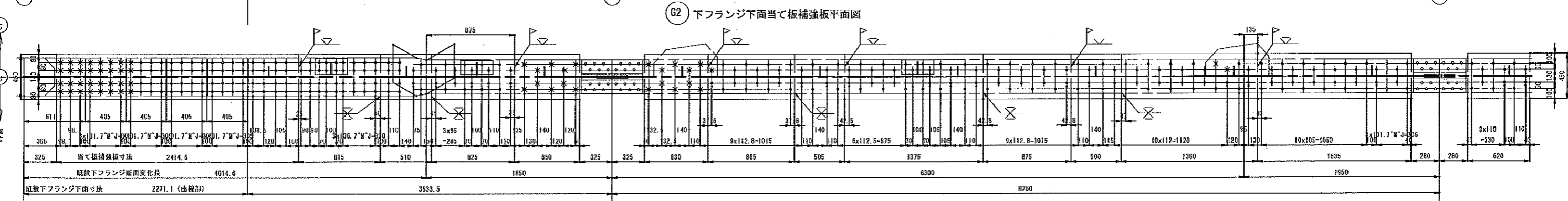
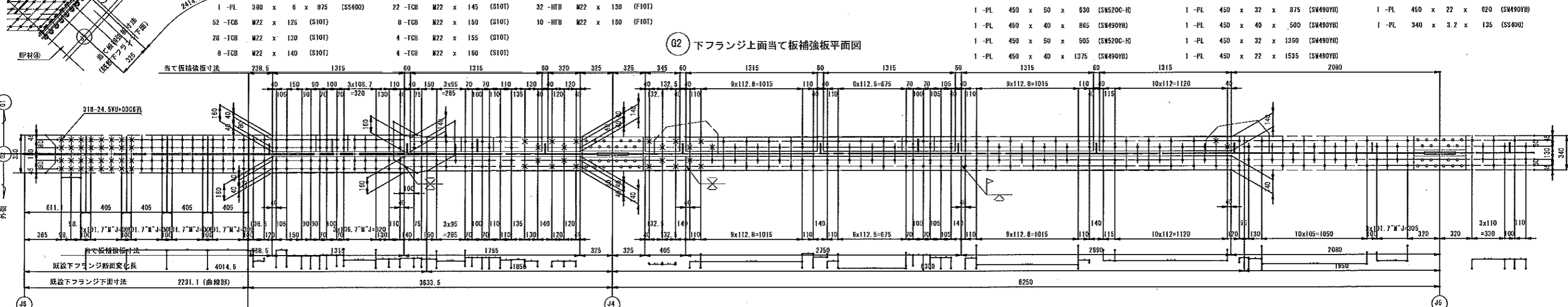
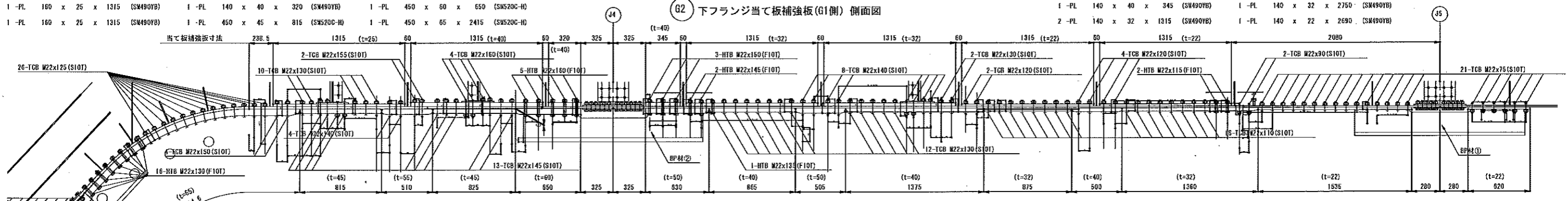
工事設計図	
工事番号	図面番号 2 / 12
路線名	六ツ原橋(市道川津須六ツ原線)
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内
図名	当て板補強図(その2)
図尺	縮尺 図示
測量	平成29年3月 枚数 6/25
測量者	株式会社 長大

J4~J6間材料
製作数: 2
1-PL 160 x 25 x 1315 (SM490YB)
1-PL 140 x 40 x 1315 (SM490YB)
1-PL 140 x 40 x 320 (SM490YB)
1-PL 140 x 40 x 320 (SM490YB)
1-PL 450 x 60 x 650 (SM520C-H)
1-PL 450 x 55 x 510 (SM520C-H)
1-PL 450 x 46 x 625 (SM520C-H)
1-PL 450 x 60 x 650 (SM520C-H)
1-PL 450 x 65 x 2415 (SM520C-H)

六ツ原橋 当て板補強図(その3)

S=1:20

J4~J5間材料
製作数: 2
1-PL 140 x 40 x 345 (SM490YB)
1-PL 140 x 32 x 2750 (SM490YB)
2-PL 140 x 32 x 1315 (SM490YB)
1-PL 140 x 22 x 2690 (SM490YB)
2-PL 140 x 22 x 1315 (SM490YB)
1-PL 140 x 40 x 405 (SM490YB)
1-PL 140 x 32 x 2750 (SM490YB)
1-PL 140 x 22 x 2690 (SM490YB)



J4~J5間材料
製作数: 2
42-TCB M22 x 75 (S10T)
4-TCB M22 x 90 (S10T)
34-TCB M22 x 110 (S10T)
12-TCB M22 x 120 (S10T)
33-TCB M22 x 130 (S10T)
12-TCB M22 x 140 (S10T)
2-HTB M22 x 115 (F10T)
1-HTB M22 x 135 (F10T)
4-HTB M22 x 145 (F10T)
6-HTB M22 x 150 (F10T)

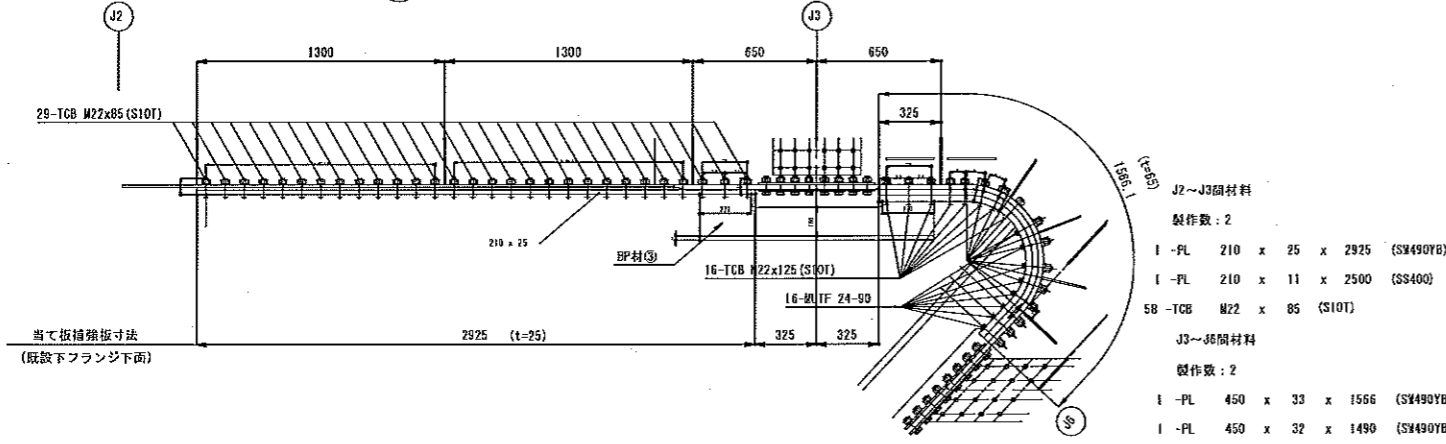
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカラーは35Rとする。
3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
4. 必要に応じて、平盤調整など実施すること。
5. 既設部材の撤去やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
6. 印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示し、印は、六角高力ボルトM22 (F10T) を示す。
7. 既設部材と当て板の接触面は、ケレンを施すこと。
8. R印の高力ボルトは、Rに同じむよウワッシャーを加工すること。

工事設計図			
工事番号	図面番号	3 / 12	
路線名	六ツ原橋(市道河津線六ツ原橋)		
工事箇所	大月市 七沢町 瀬戸 地内		
図名	当て板補強(その3)	縮尺	図示
測量	平成29年3月	枚数	1/25
測量者	株式会社 長大		

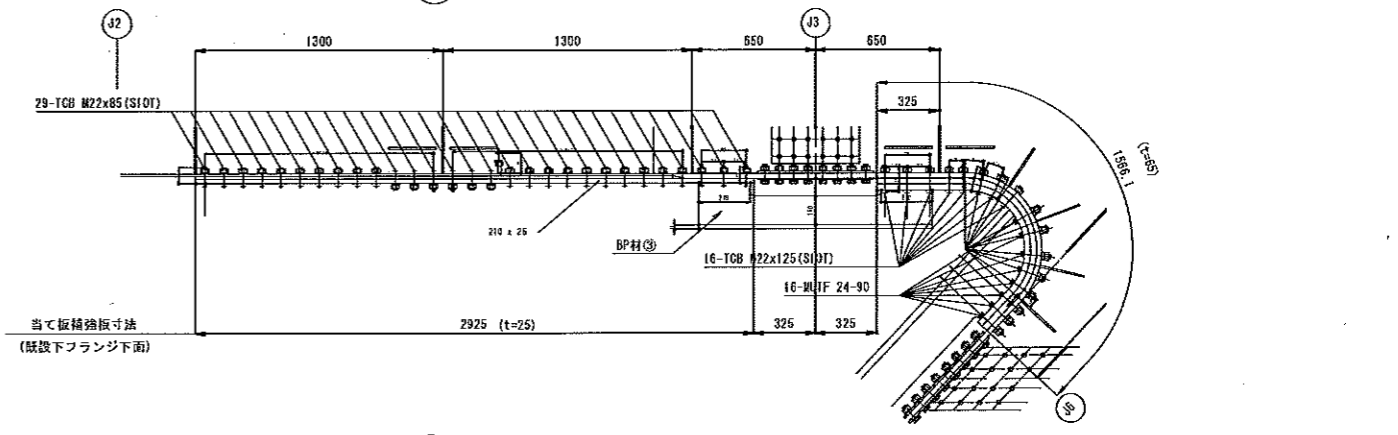
六ツ原橋 当て板補強図(その4)

S=1:20

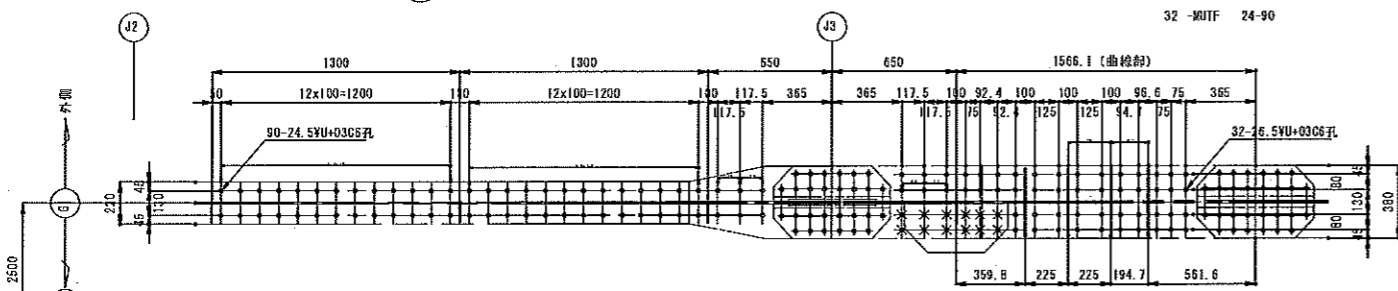
G1 下フランジ当て板補強板(外側)側面図



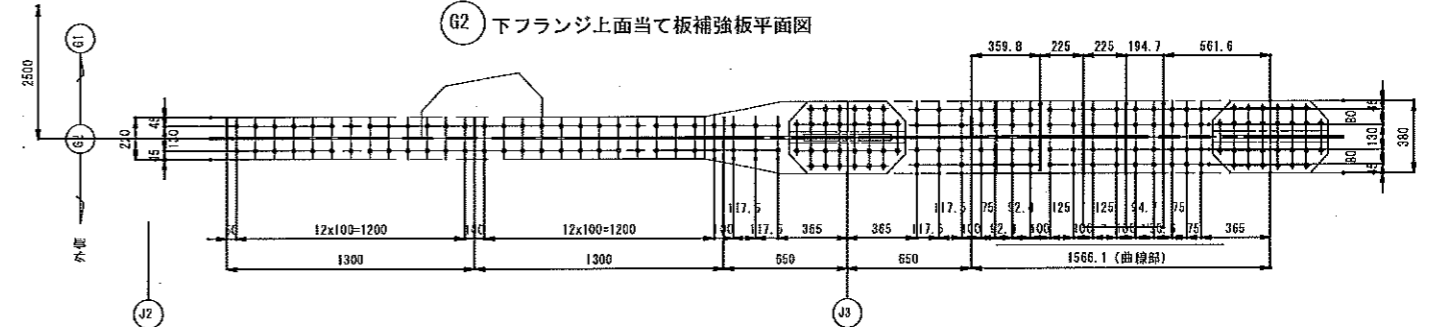
G2 下フランジ当て板補強板(G1側)側面図



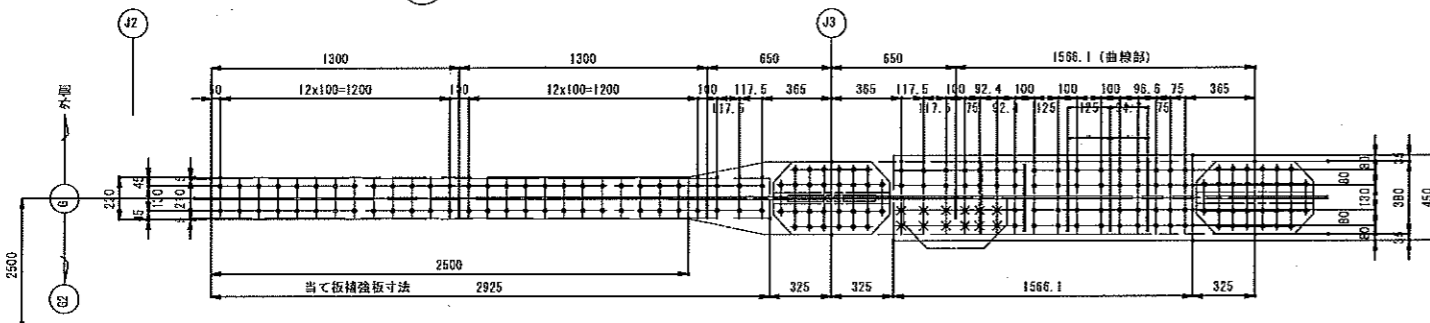
G1 下フランジ上面当て板補強板平面図



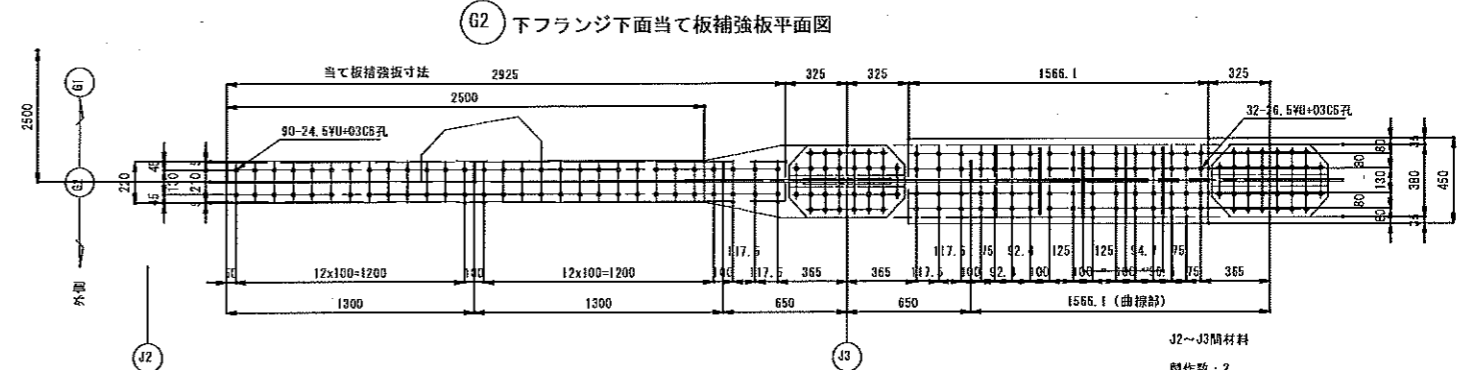
G2 下フランジ上面当て板補強板平面図



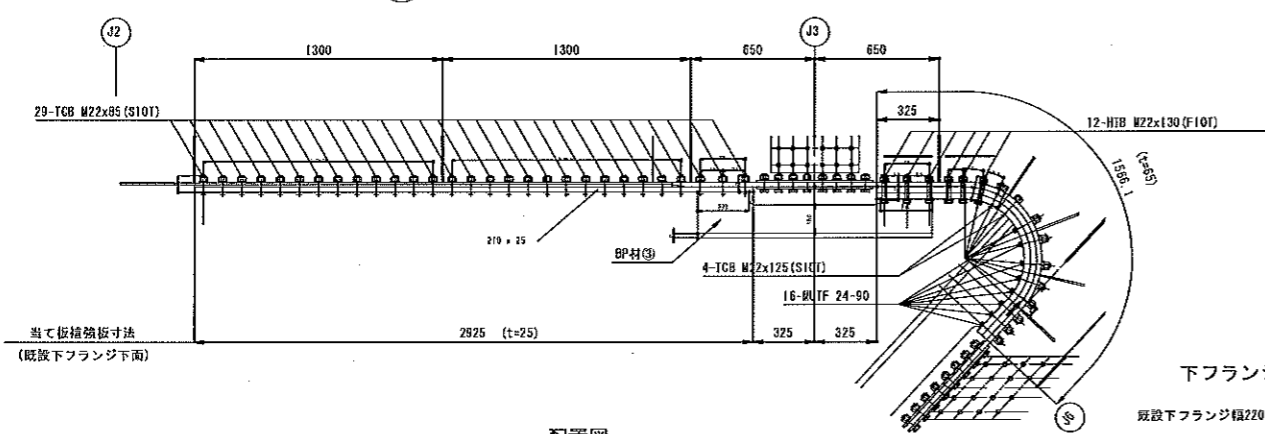
G1 下フランジ下面当て板補強板平面図



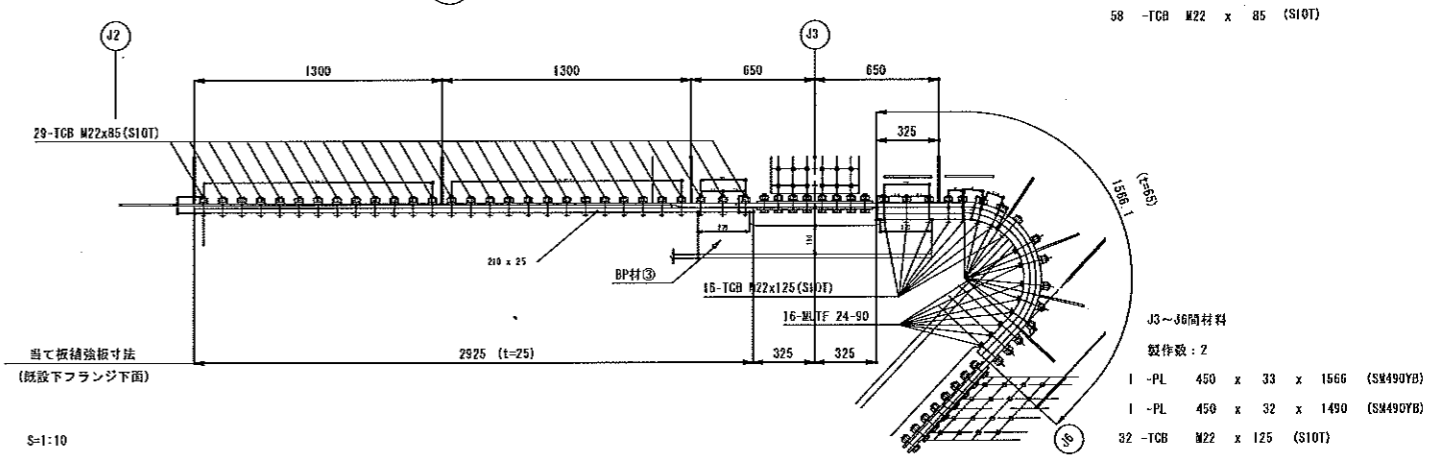
G2 下フランジ下面当て板補強板平面図



G1 下フランジ当て板補強板(G2側)側面図

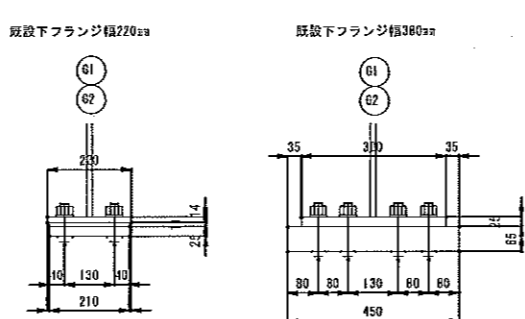


G2 下フランジ当て板補強板(外側)側面図

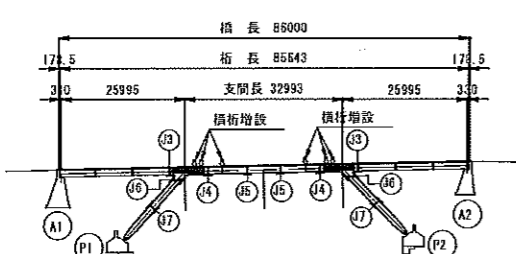


下フランジ当て板補強板断面図

S=1:10



配置図



注記

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカラーは35Rとする。
- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
- 既設部材の撤去やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
- 印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示し、
印は、六角高力ボルトM22 (F10T) を示し、
印は、ワッサイドボルト (MUF24) を示す。
- 既設部材と当て補強板の接触面は、ケレンを施すこと。
- R部の高力ボルトは、Rに同じようワッシャーを加工すること。

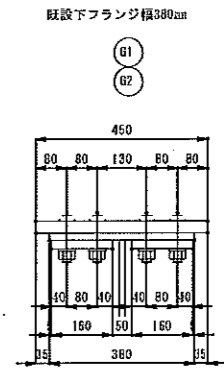
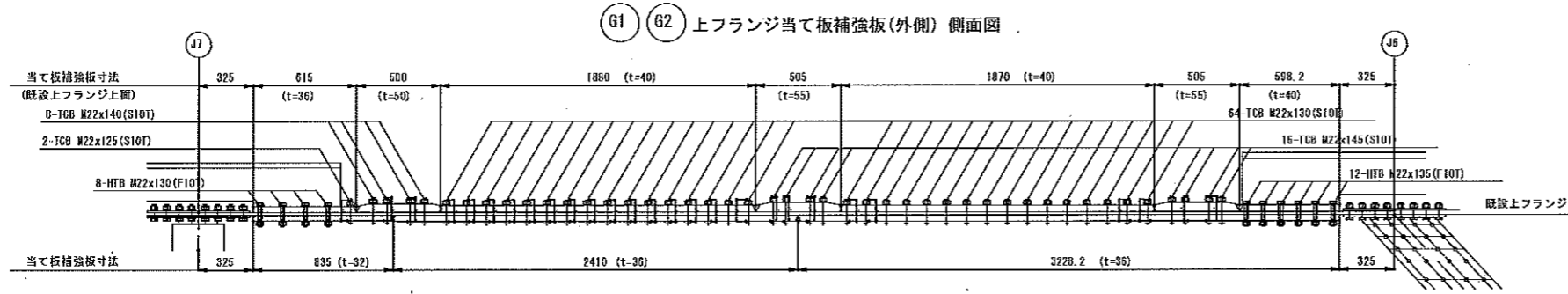
工事設計図	
工事番号	図面番号 4 / 12
路線名	六ツ原橋(市道川津畑六ツ原橋)
工事箇所	大月市 七保町 戸内
図名	当て板補強図(その4)
縮尺	縮尺 図示
測量	平成29年3月 枚数 8/25
測量者	株式会社 長大

六ツ原橋 当て板補強図(その5)

S=1:20

上フランジ当て板補強板断面図

S-1-10

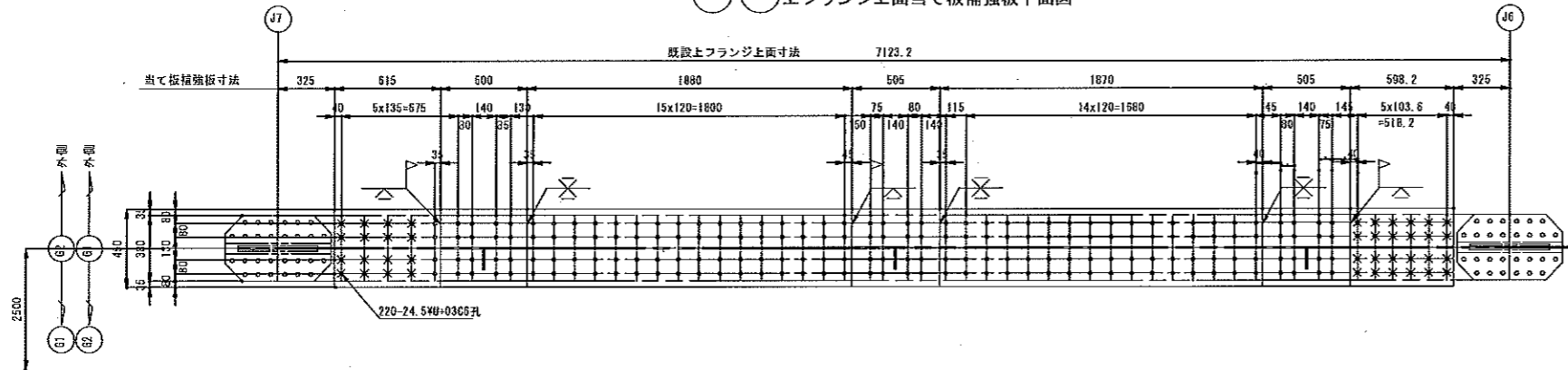


J6~J7間材料

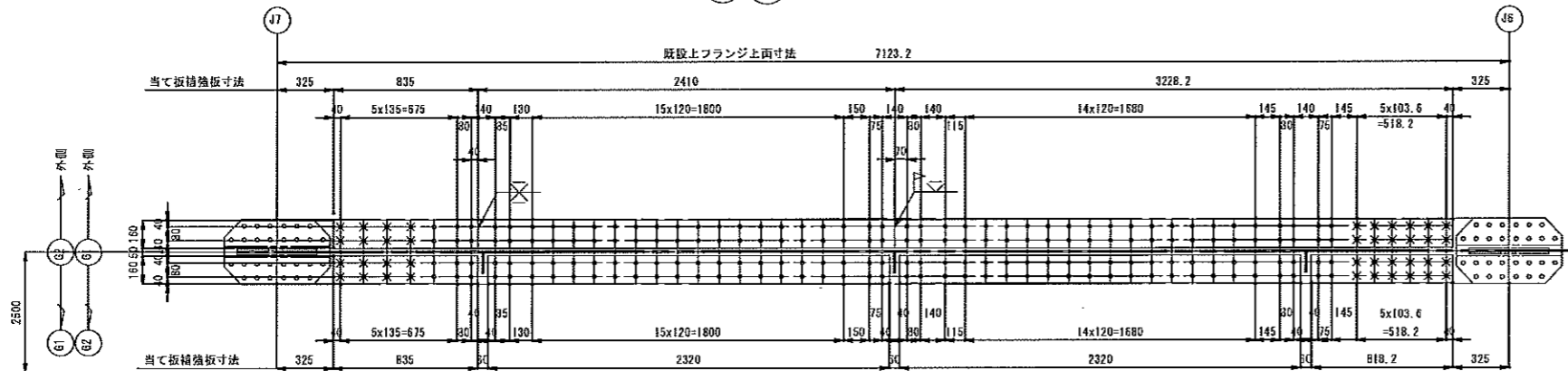
製作数: 4

- 1 -PL 450 x 36 x 615 (SM490YB)
- 1 -PL 450 x 50 x 509 (SM520C-H)
- 1 -PL 450 x 40 x 1880 (SM490YB)
- 2 -PL 450 x 55 x 505 (SM520C-H)
- 1 -PL 450 x 40 x 1870 (SM490YB)
- 1 -PL 450 x 40 x 598 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 32 x 835 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 36 x 2410 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 36 x 3228 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 32 x 835 (SM490YB)
- 2 -PL 160 x 36 x 2320 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 36 x 818 (SM490YB)
- 4 -TCB M22 x 125 (S10T)
- 128 -TCB M22 x 130 (S10T)
- 16 -TCB M22 x 140 (S10T)
- 32 -TCB M22 x 145 (S10T)
- 24 -HTB M22 x 135 (F10T)
- 16 -HTB M22 x 130 (F10T)

① ② 上フランジ上面当て板補強板平面図

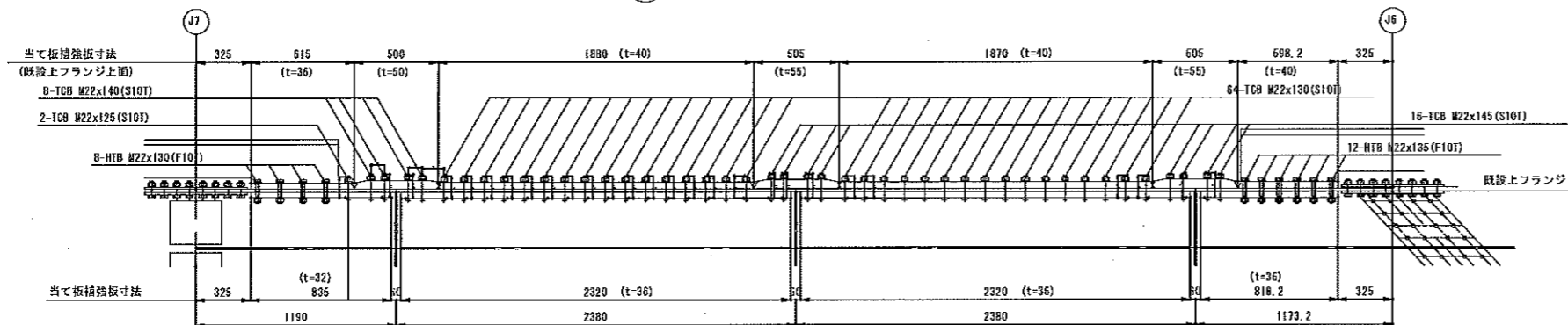


① ② 上フランジ下面当て板補強板平面図

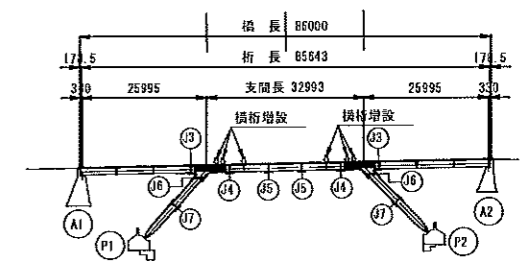


① 上フランジ当て板補強板(G2側) 側面図

② 上フランジ当て板補強板(G1側) 側面図



配置図



注記

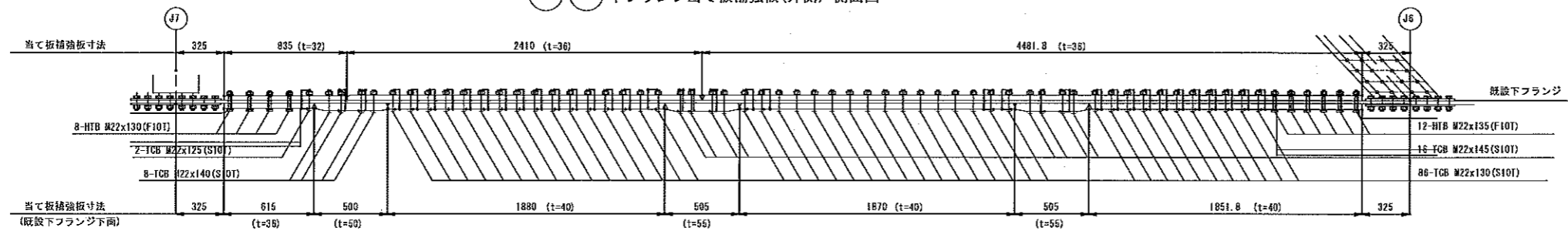
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは3SRとする。
3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
5. 既設鋼材の除去やグラインダー仕上げに際しては、既設鋼材を損傷させない様、十分に留意すること。
6. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示し、*印は、六角高力ボルトM22 (F10T) を示す。
7. 既設鋼材と当て板補強板の接合面は、ケレンを施すこと。
8. R部の高力ボルトは、Rに同じむようワッシャーを加工すること。

工事設計図			
工事番号		図面番号	5 / 12
路線名	六ツ原橋(市道川津畑六ツ原線)		
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内		
図名	当て板補強図(その5)	縮尺	図示
測量	平成29年3月	枚数	9/25
測量者	株式会社 長大		

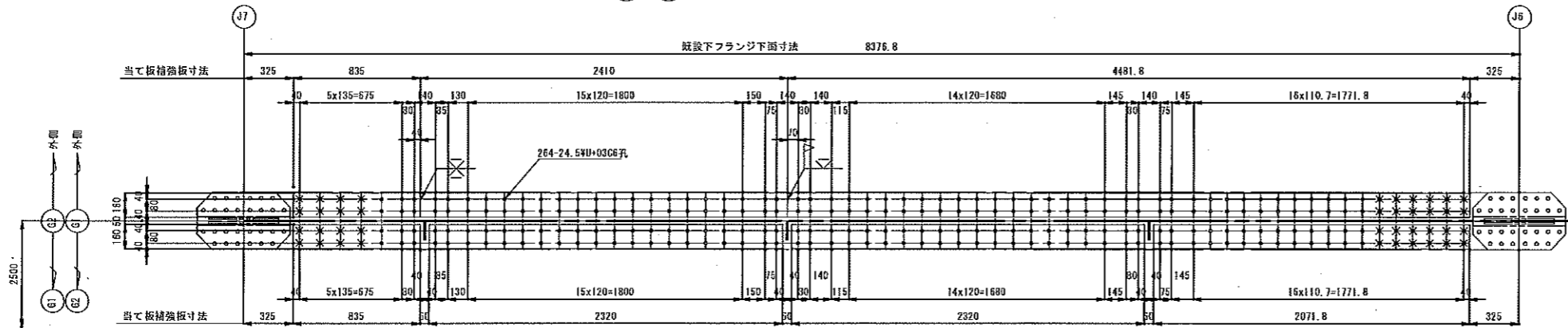
六ツ原橋 当て板補強図(その6)

S=1:20

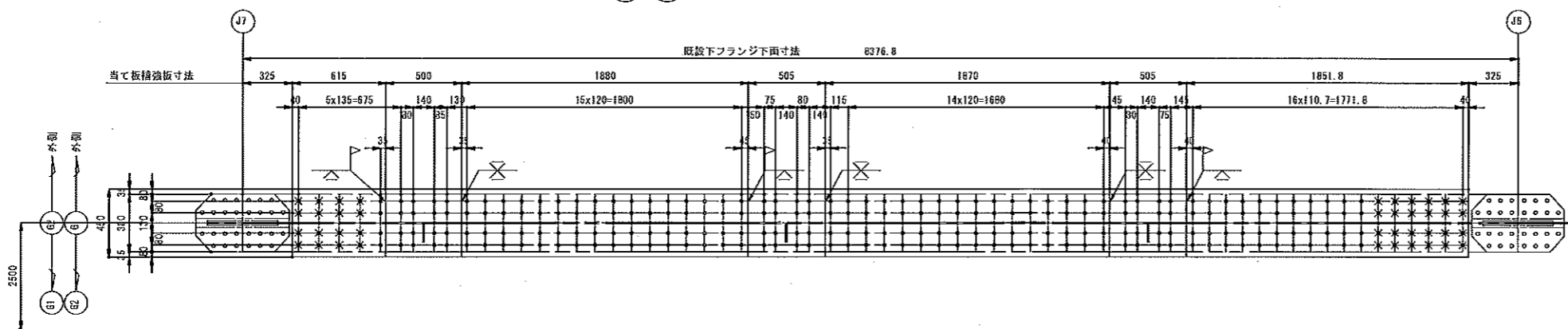
① ② 下フランジ当て板補強板(外側) 側面図



① ② 下フランジ上面当て板補強板平面図

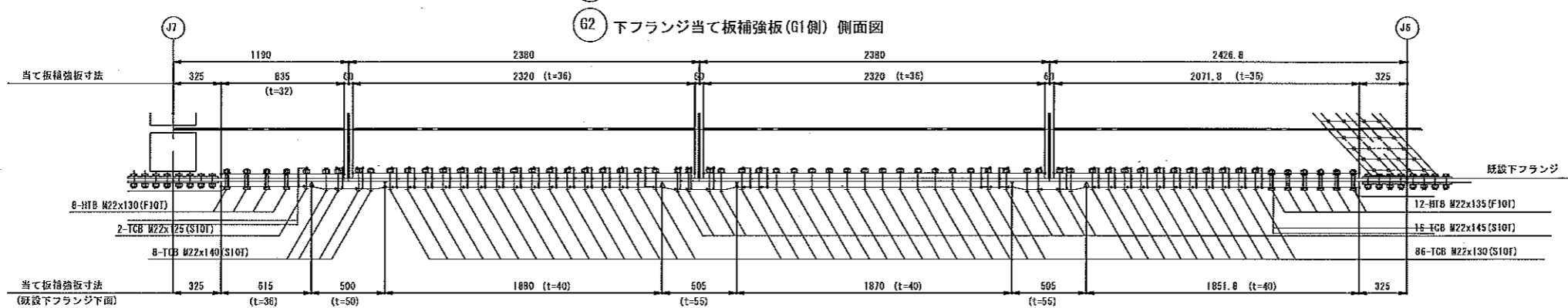


① ② 下フランジ下面当て板補強板平面図



① 下フランジ当て板補強板(G2側) 側面図

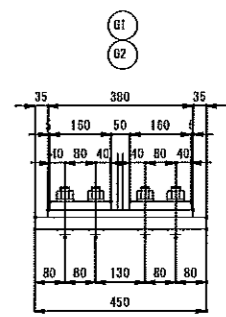
② 下フランジ当て板補強板(G1側) 側面図



下フランジ当て板補強板断面図

S=1:10

既設下フランジ幅380mm

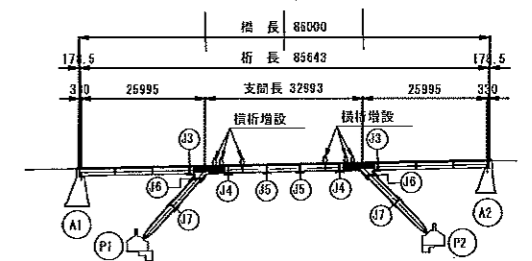


J5~J7間材料

製作数: 4

- 1 -PL 160 x 32 x 835 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 36 x 2410 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 38 x 4482 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 32 x 835 (SM490YB)
- 2 -PL 160 x 36 x 2320 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 36 x 2072 (SM490YB)
- 1 -PL 450 x 36 x 615 (SM490YB)
- 1 -PL 450 x 40 x 500 (SM520C-H)
- 1 -PL 450 x 40 x 1880 (SM490YB)
- 2 -PL 450 x 55 x 505 (SM520C-H)
- 1 -PL 450 x 40 x 1870 (SM490YB)
- 1 -PL 450 x 40 x 1852 (SM490YB)
- 4 -TCB M22 x 125 (S101)
- 172 -TCB M22 x 130 (S101)
- 16 -TCB M22 x 140 (S101)
- 32 -TCB M22 x 145 (S101)
- 24 -HTB M22 x 135 (F101)
- 16 -HTB M22 x 130 (F101)

配置図



注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは3Rとする。
3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
5. 既設部材の除去やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
6. ⊕印は、トルシア形高力ボルトM22 (S101) を示し、⊗印は、六角高力ボルトM22 (F101) を示す。
7. 既設部材と当て補強板の接合面は、ケレンを施すこと。
8. R部の高力ボルトは、Rになじむようワッシャーを加工すること。

工事設計図

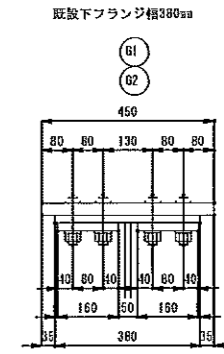
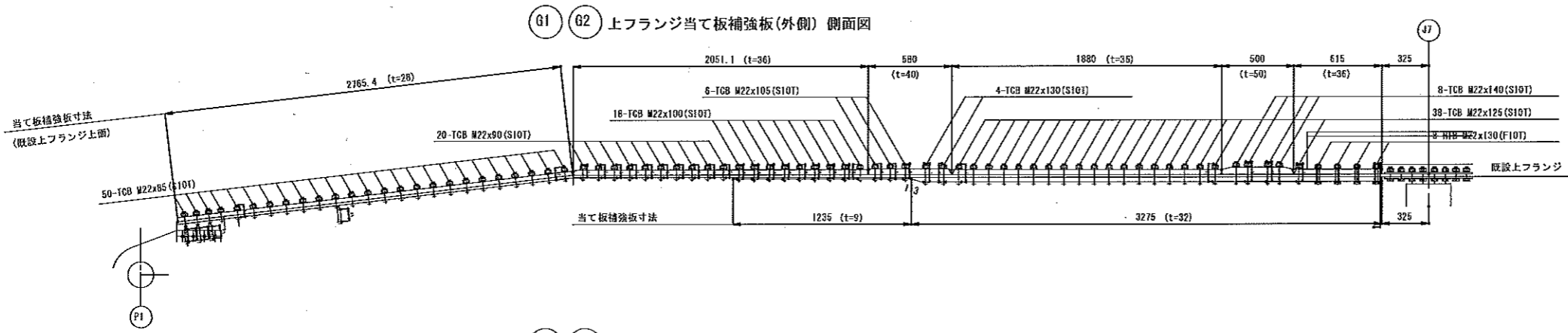
工事番号	図面番号	6 / 12
路線名	六ツ原橋(市道川津線六ツ原橋)	
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内	
図名	当て板補強図(その6)	縮尺 図示
別量	平成29年3月	枚数 10/25
測量者	株式会社 長大	

六ツ原橋 当て板補強図(その7)

S=1:20

上フランジ当て板補強板断面図

S=1:10

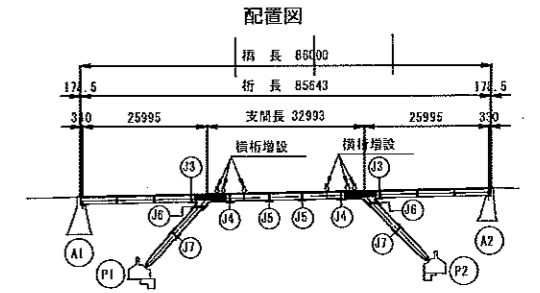
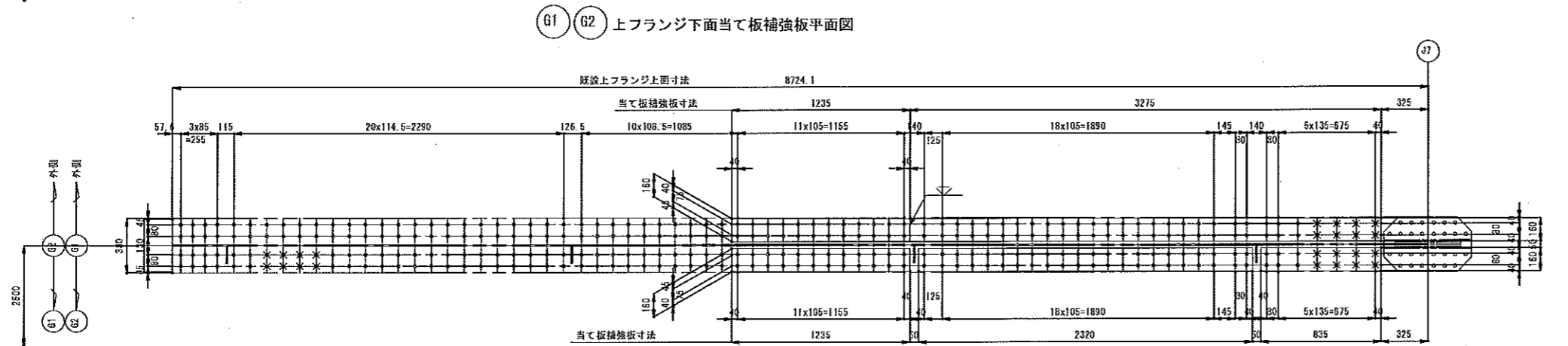
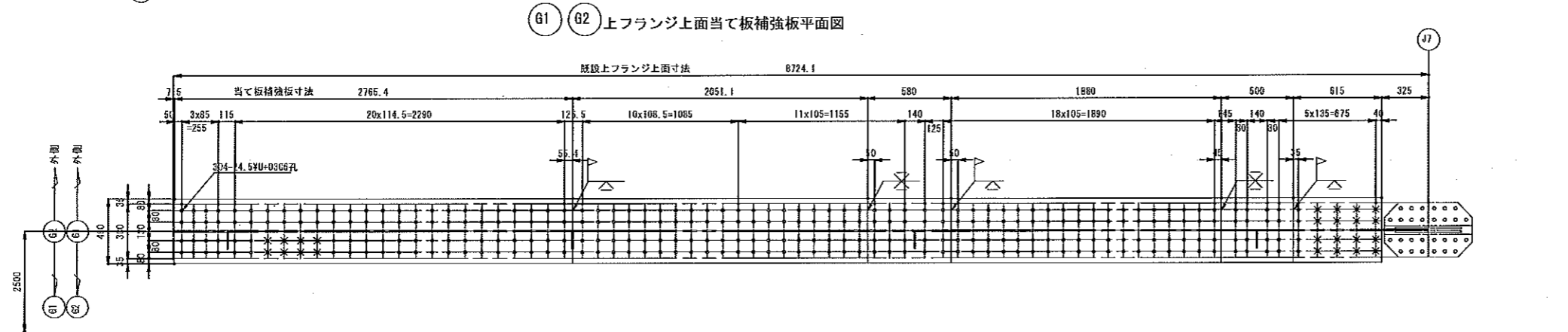


P1~J7間材料

製作数: 4

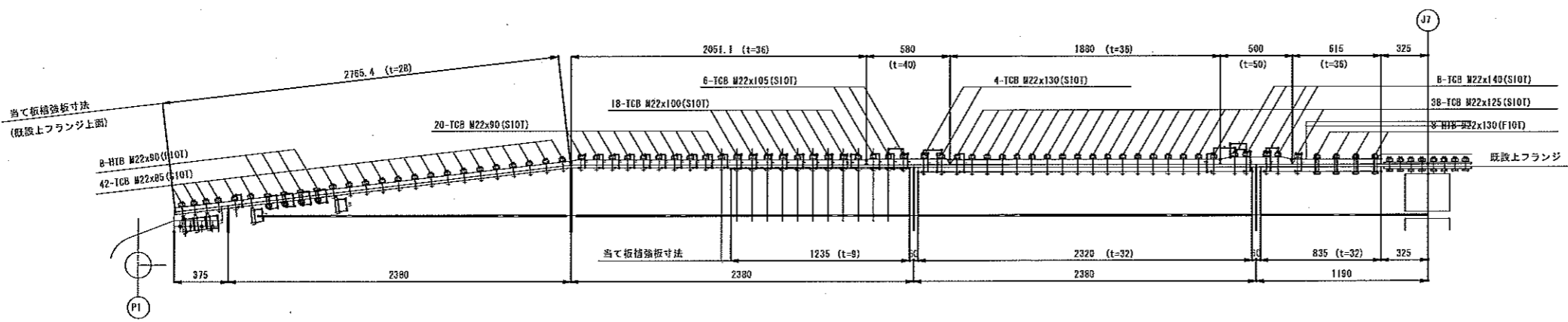
- 1 -PL 450 x 28 x 2765 (SM490YB)
- 1 -PL 450 x 36 x 2051 (SM490YB)
- 1 -PL 450 x 40 x 580 (SM490YB)
- 1 -PL 450 x 36 x 1880 (SM490YB)
- 1 -PL 450 x 50 x 500 (SM520C-H)
- 1 -PL 450 x 36 x 615 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 9 x 1235 (SM490YA)
- 1 -PL 160 x 32 x 3275 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 9 x 1235 (SM490YA)
- 1 -PL 160 x 32 x 2320 (SM490YB)
- 1 -PL 160 x 32 x 835 (SM490YB)

- 92 -TCB M22 x 85 (S10T)
- 40 -TCB M22 x 90 (S10T)
- 36 -TCB M22 x 100 (S10T)
- 12 -TCB M22 x 105 (S10T)
- 76 -TCB M22 x 125 (S10T)
- 8 -TCB M22 x 130 (S10T)
- 16 -TCB M22 x 140 (S10T)
- 8 -HTB M22 x 90 (F10T)
- 16 -HTB M22 x 130 (F10T)



G1 上フランジ当て板補強板(G2側)側面図

G2 上フランジ当て板補強板(G1側)側面図



注記

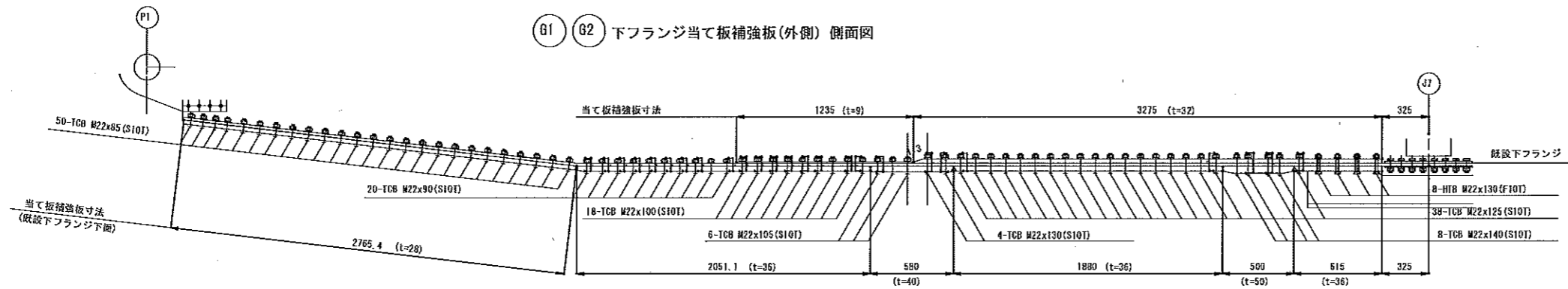
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは36Rとする。
3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
5. 既設部材の撤去やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
6. 印は、トルシア高力ボルトM22 (S10T) を示し、印は、六角高力ボルトM22 (F10T) を示す。
7. 既設部材と当て板補強板の接合面は、ケレンを施すこと。
8. R部の高力ボルトは、Rになじむようワッシャーを加工すること。

工事設計図			
工事番号	図面番号	7 / 12	
路線名	六ツ原橋(市道川津畑六ツ原線)		
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内		
図名	当て板補強図(その7)	縮尺	図示
測量	平成29年3月	枚数	11/25
測量者	株式会社 長大		

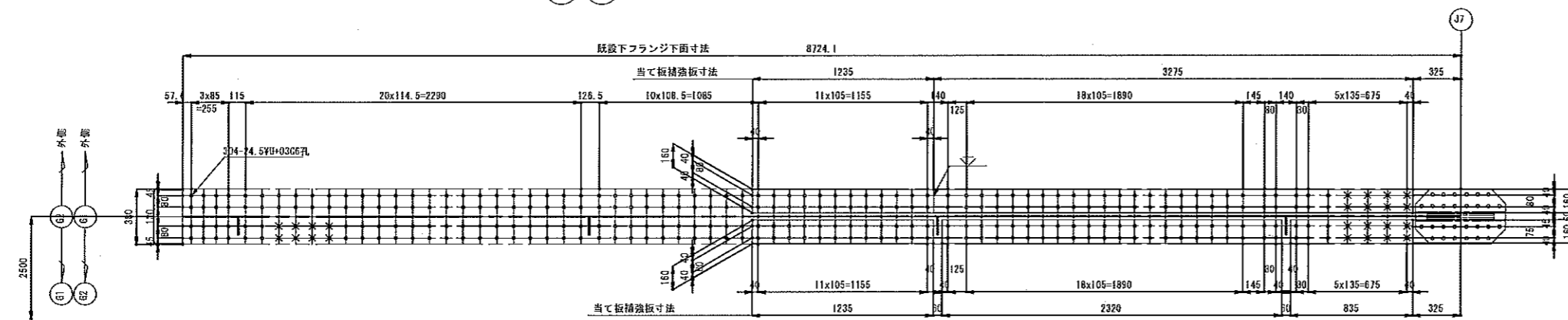
六ツ原橋 当て板補強図(その8)

S=1:20

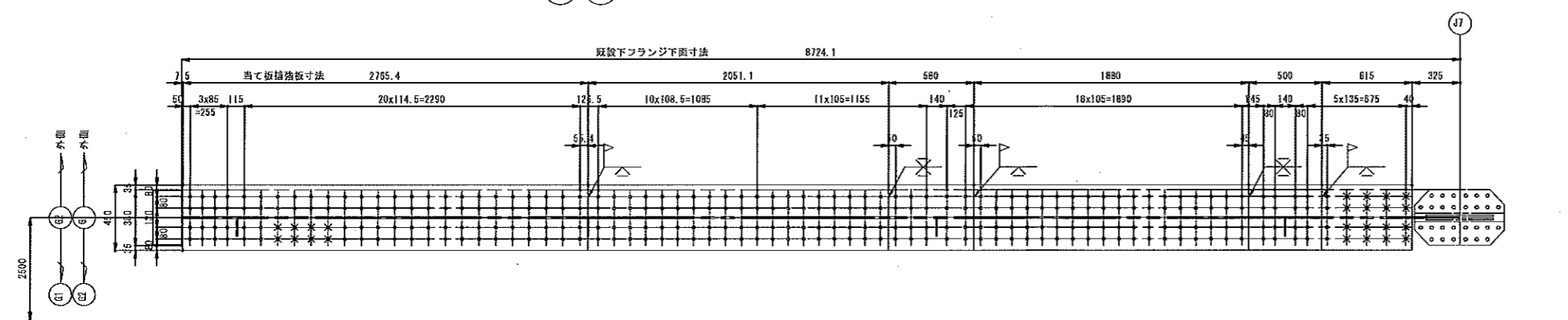
(G1) (G2) 下フランジ当て板補強板(外側) 側面図



(G1) (G2) 下フランジ上面当て板補強板平面図

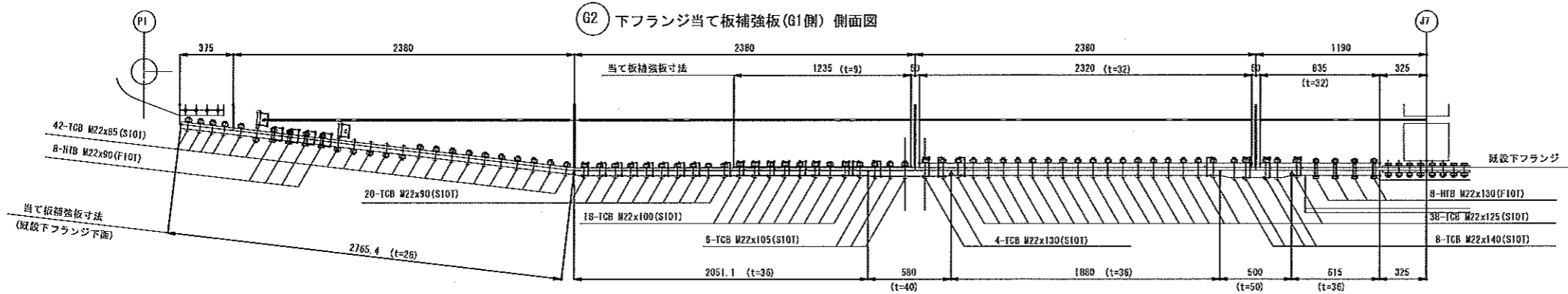


(G1) (G2) 下フランジ下面当て板補強板平面図



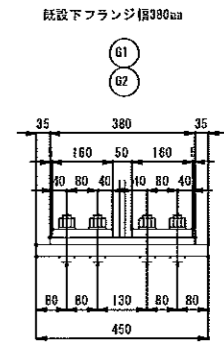
(G1) 下フランジ当て板補強板(G2側) 側面図

(G2) 下フランジ当て板補強板(G1側) 側面図



下フランジ当て板補強板断面図

S=1:10



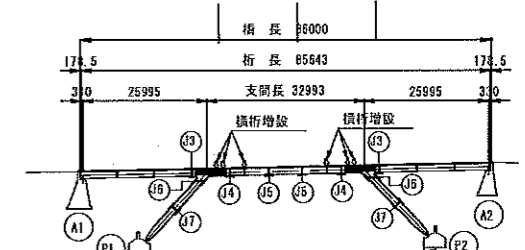
P1~J7間材料

製作数: 4

- 1-PL 160 x 9 x 1235 (SW490YA)
- 1-PL 160 x 32 x 3275 (SW490YB)
- 1-PL 160 x 9 x 1235 (SW490YA)
- 1-PL 180 x 32 x 2320 (SW490YB)
- 1-PL 150 x 32 x 835 (SW490YB)
- 1-PL 450 x 28 x 2765 (SW490YB)
- 1-PL 450 x 38 x 2051 (SW490YB)
- 1-PL 450 x 40 x 580 (SW490YB)
- 1-PL 450 x 36 x 1880 (SW490YB)
- 1-PL 450 x 50 x 500 (SW520C-10)
- 1-PL 450 x 36 x 615 (SW490YB)

- 92-TCB M22 x 85 (S10T)
- 40-TCB M22 x 90 (S10T)
- 36-TCB M22 x 100 (S10T)
- 12-TCB M22 x 105 (S10T)
- 76-TCB M22 x 125 (S10T)
- 8-TCB M22 x 130 (S10T)
- 16-TCB M22 x 140 (S10T)
- 8-H1B M22 x 90 (F10T)
- 16-H1B M22 x 130 (F10T)

配置図



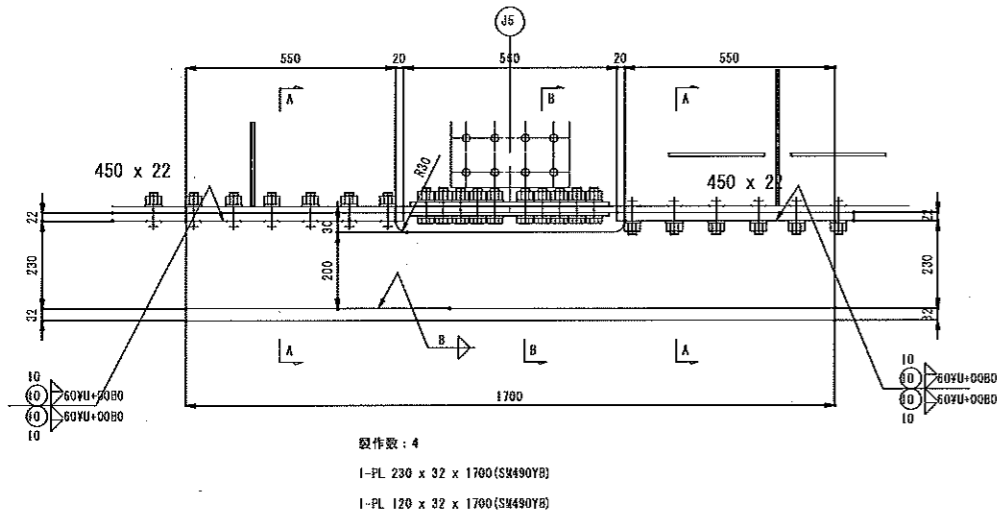
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカラーは35Bとする。
3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
5. 既設部材の撤去やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
6. 印は、トルシア高力ボルトM22 (S10T) を示し、印は、六角高力ボルトM22 (F10T) を示す。
7. 既設部材と当て板補強板の接合部は、ケレンを施すこと。
8. R部の高力ボルトは、Rになじむようワッシャーを加工すること。

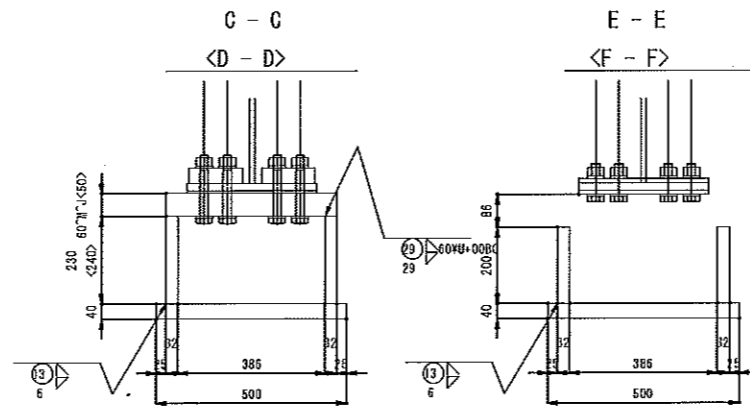
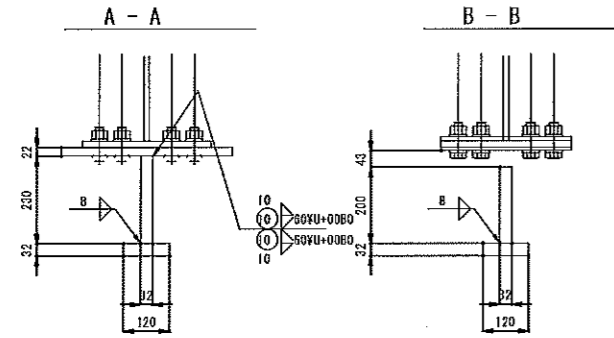
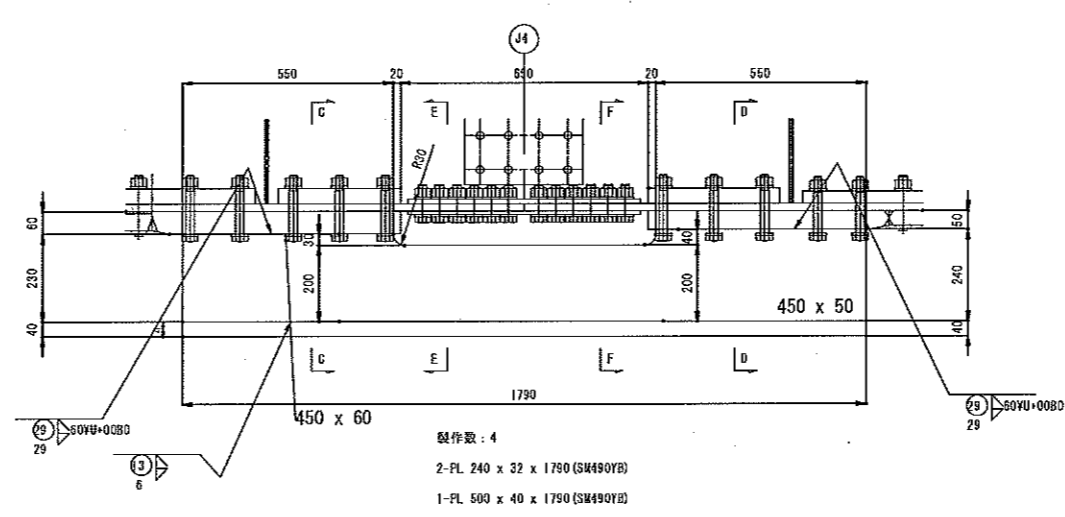
工事設計図

工事番号	図面番号	8 / 12
路線名	六ツ原橋(市道川津畑六ツ原橋)	
工事箇所	大月市 七保河 瀬戸 地内	
図名	当て板補強図(その8)	縮尺 固示
測量	平成29年3月	枚数 12/25
測量者	株式会社 長大	

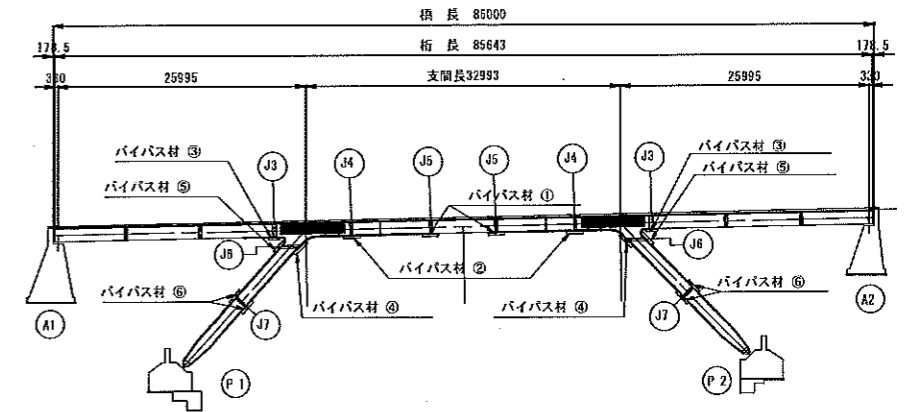
バイパス材 ①



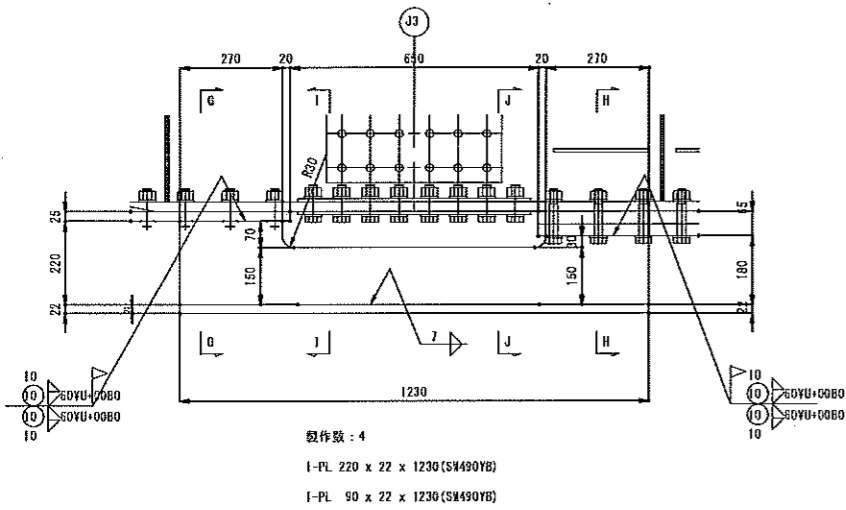
バイパス材 ②



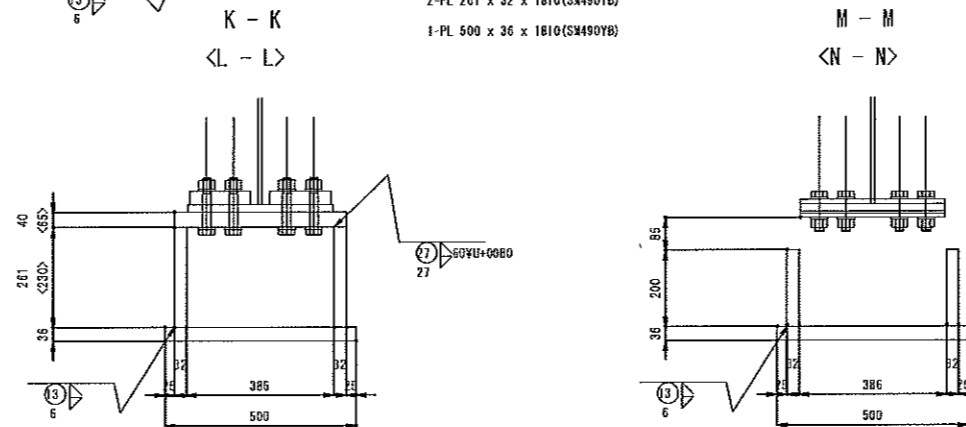
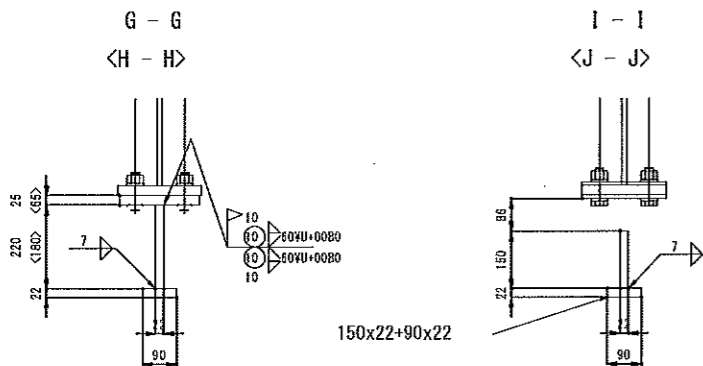
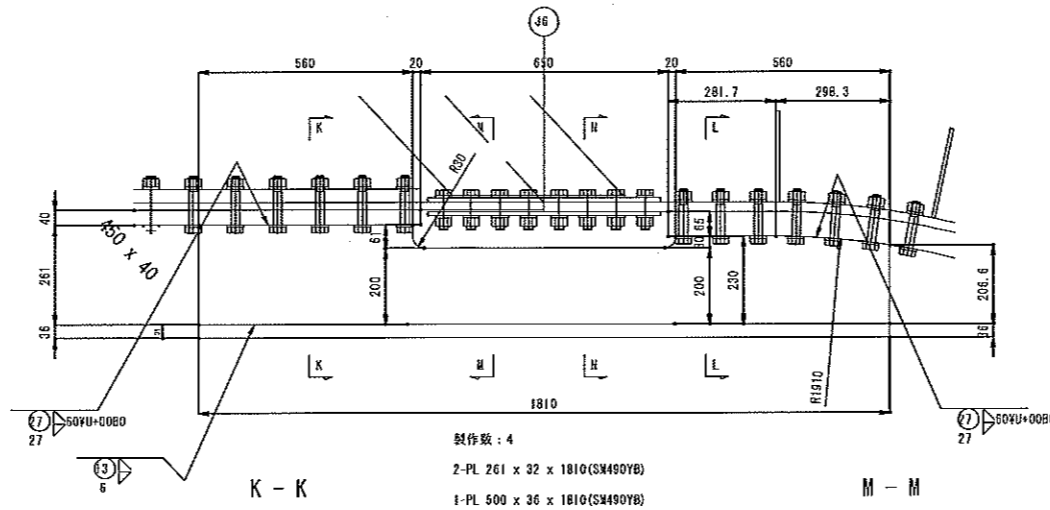
配置図



バイパス材 ③



バイパス材 ④



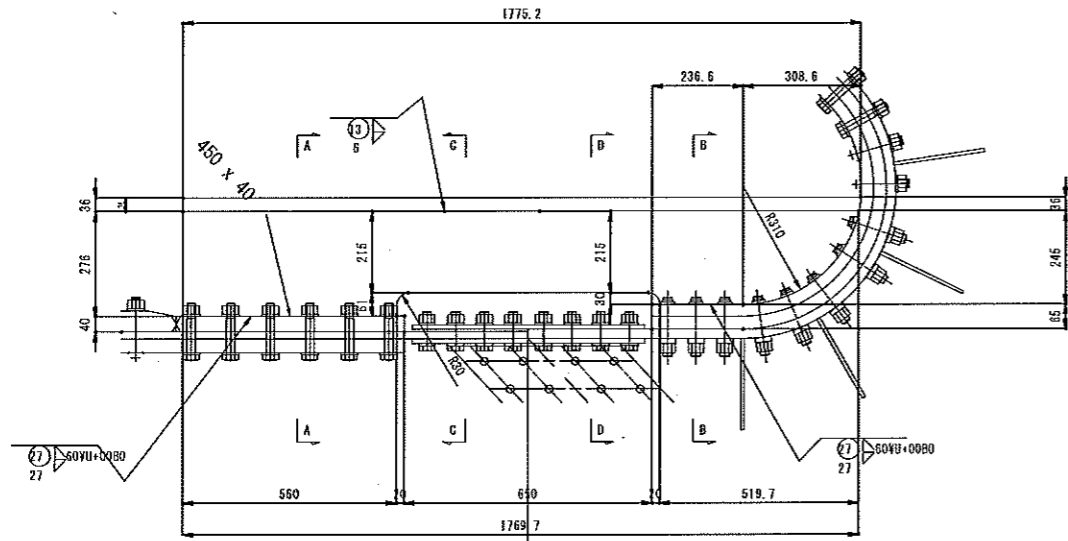
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは35Rとする。
 3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地所調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
 5. 取付部材の除去やグラインダー仕上げに際しては、取付部材を損傷させない様、十分に留意すること。
 6. 8節の高力ボルトは、剛になじむようワッシャーを加工すること。

工事設計図			
工事番号	図面番号	9 / 12	
路線名	六ツ原橋(市道川津野六ツ原線)		
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内		
図名	当て板補強図(その9)	積尺	図示
測量	平成28年3月	枚数	13 / 25
測量者	株式会社 長大		

六ツ原橋 当て板補強図(その10)

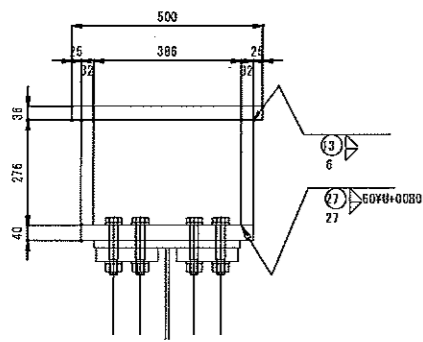
S=1:10

パイパス材 ⑤

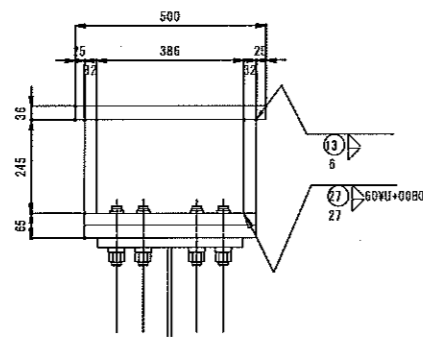


製作数 : 4
 2-PL 275 x 32 x 1770 (SM490YB)
 1-PL 500 x 36 x 1775 (SM490YB)

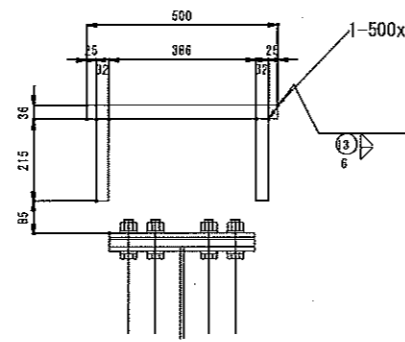
A - A



B - B

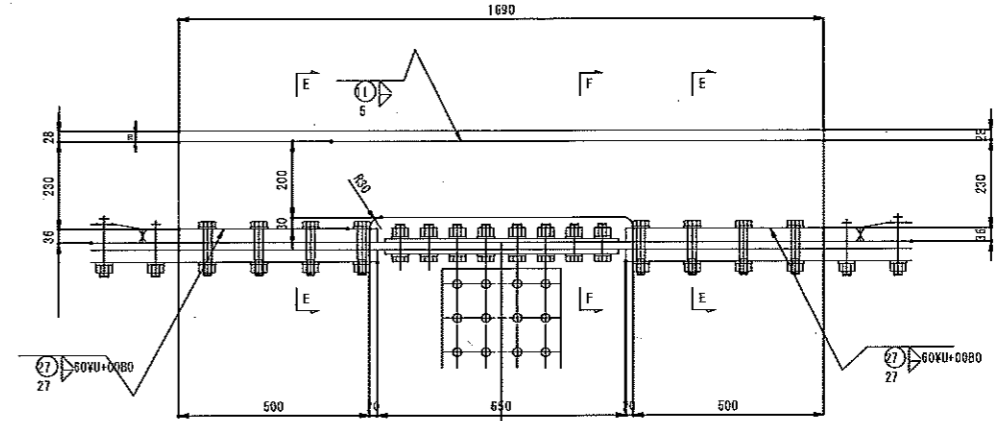


C - C



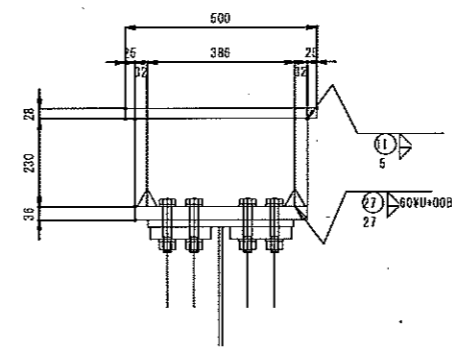
<D - D>
 1-500x36, 2-200x32

パイパス材 ⑥

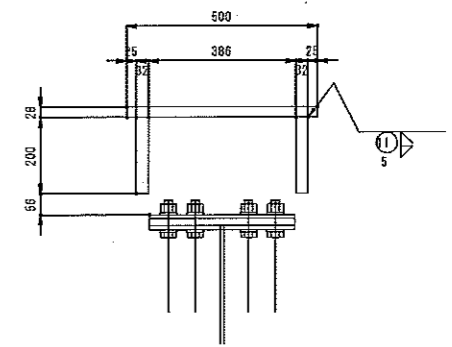


製作数 : 8
 2-PL 230 x 32 x 1690 (SM490YB)
 1-PL 500 x 28 x 1690 (SM490YB)

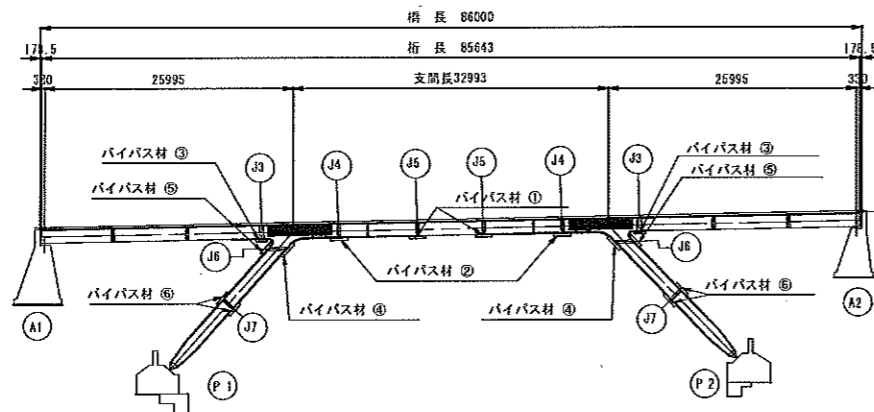
E - E



F - F



配置図



注記

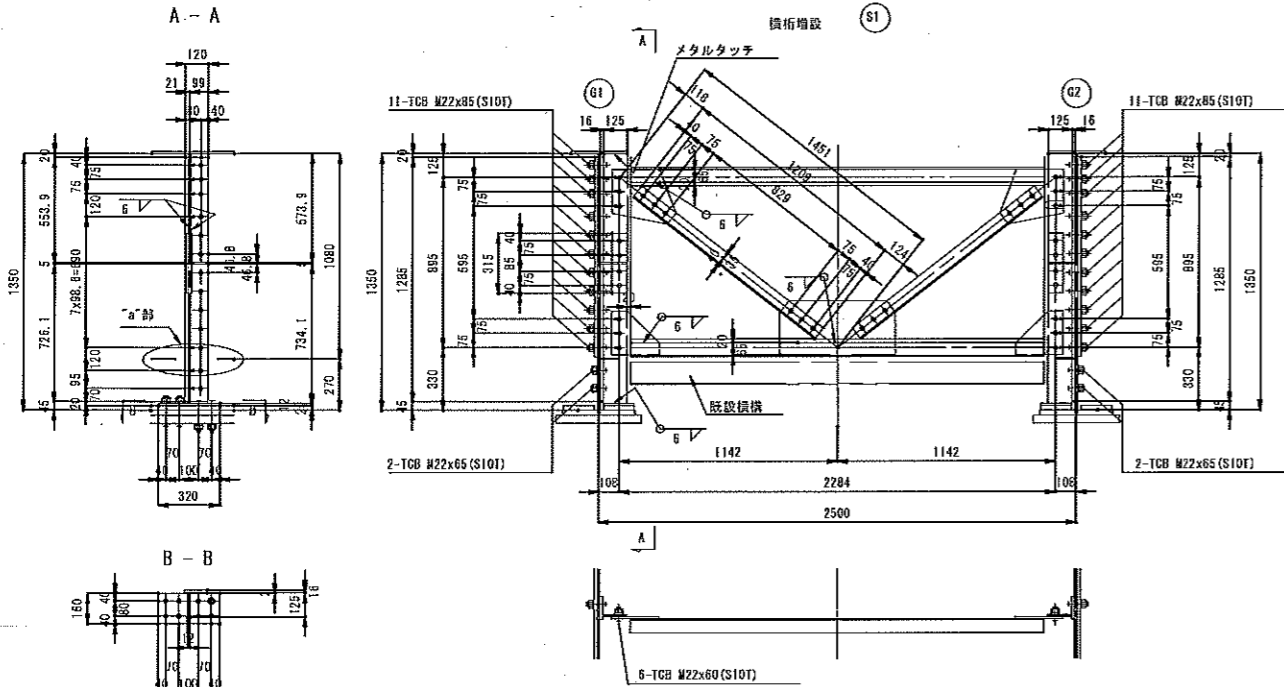
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは3SRとする。
3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
5. 既設部材の撤去やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
6. R部の高力ボルトは、引にじむようワッシャーを加工すること。

工事設計図			
工事番号		図面番号	10 / 12
路線名	六ツ原橋(市道川津橋六ツ原線)		
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内		
図名	当て板補強 (その10)	縮尺	図示
測量	平成28年3月	枚数	14 / 25
測量者	株式会社 長大		

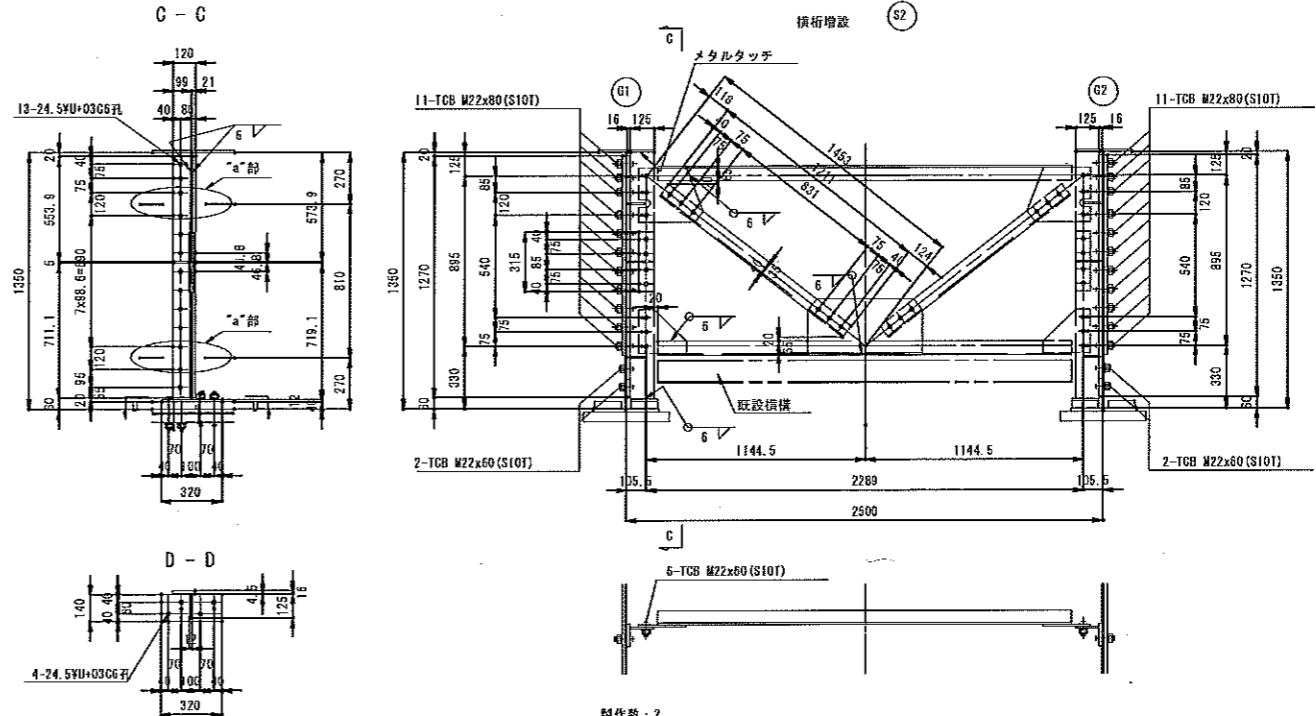
六ツ原橋 当て板補強図(その11)

S=1:20

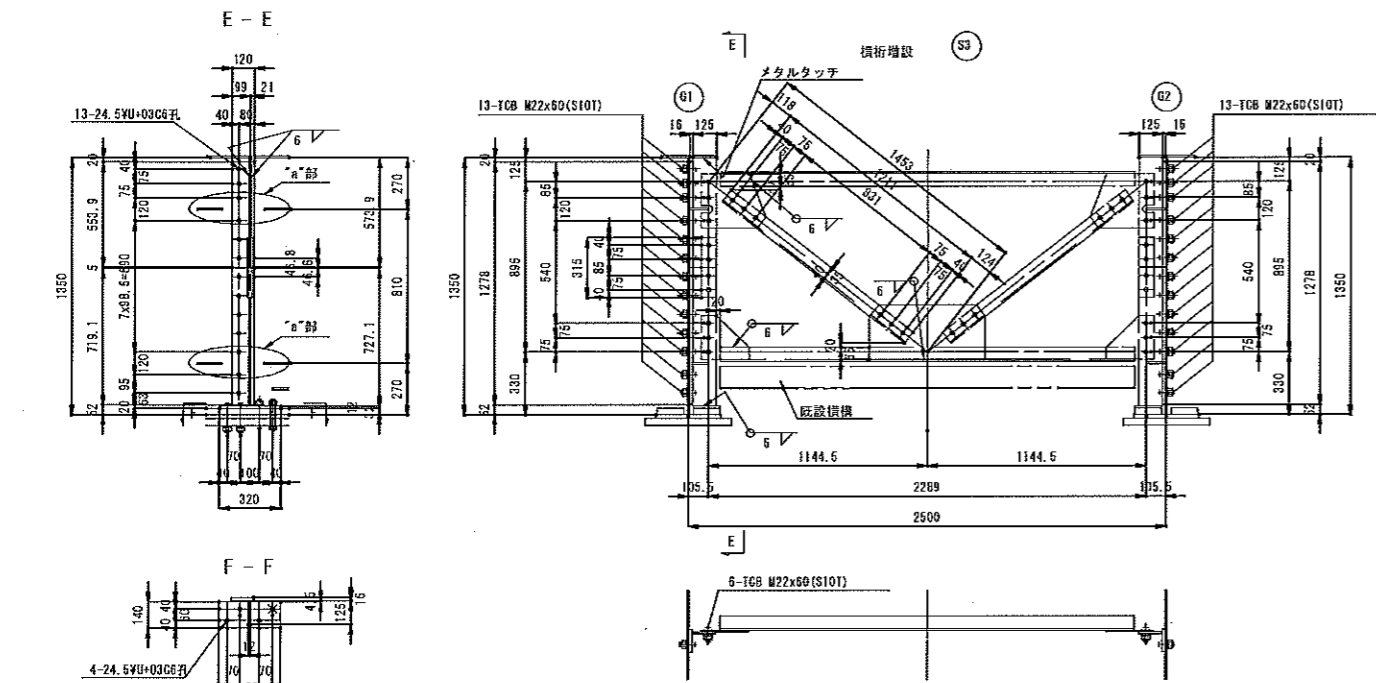
横桁増設詳細



- 製作数: 2
- | | | |
|--------------------------------|-----------------------|------------------------------|
| 2-L 75 x 75 x 9 x 2164 (SS400) | 2-PL 120 x 16 x 554 | 4-SPL PL 80 x 9 x 315(SS400) |
| 2-L 75 x 75 x 9 x 1209 (SS400) | 2-PL 120 x 16 x 726 | 8-TCB W22 x 85(S10T) |
| 2-PL 285 x 9 x 335 | 2-PL 125 x 12 x 574 | |
| 2-PL 230 x 9 x 250 | 2-PL 125 x 12 x 734 | |
| 1-PL 286 x 9 x 607 | 2-PL 150 x 12 x 320 | |
| 12-TCB W22 x 60(S10T) | 22-TCB W22 x 85(S10T) | |
| 12-TCB W22 x 55(S10T) | 4-TCB W22 x 65(S10T) | |

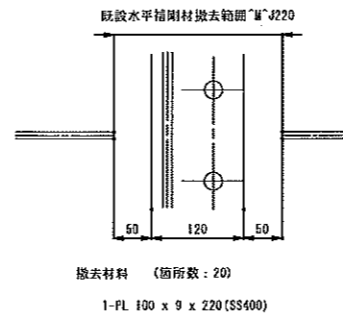


- 製作数: 2
- | | | |
|--------------------------------|-----------------------|------------------------------|
| 2-L 75 x 75 x 9 x 2169 (SS400) | 2-PL 120 x 16 x 554 | 4-SPL PL 80 x 9 x 315(SS400) |
| 2-L 75 x 75 x 9 x 1211 (SS400) | 2-PL 120 x 16 x 711 | 8-TCB W22 x 65(S10T) |
| 2-PL 285 x 9 x 336 | 2-PL 125 x 12 x 574 | |
| 2-PL 230 x 9 x 250 | 2-PL 125 x 12 x 719 | |
| 1-PL 286 x 9 x 607 | 2-PL 140 x 12 x 320 | |
| 12-TCB W22 x 60(S10T) | 22-TCB W22 x 60(S10T) | |
| 12-TCB W22 x 55(S10T) | 4-TCB W22 x 60(S10T) | |

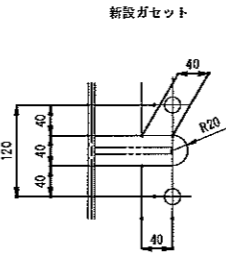


- 製作数: 2
- | | | |
|--------------------------------|-----------------------|------------------------------|
| 2-L 75 x 75 x 9 x 2169 (SS400) | 2-PL 120 x 16 x 554 | 4-SPL PL 60 x 9 x 315(SS400) |
| 2-L 75 x 75 x 9 x 1211 (SS400) | 2-PL 120 x 16 x 719 | 8-TCB W22 x 65(S10T) |
| 2-PL 285 x 9 x 336 | 2-PL 125 x 12 x 574 | |
| 2-PL 230 x 9 x 250 | 2-PL 125 x 12 x 727 | |
| 1-PL 286 x 9 x 607 | 2-PL 140 x 12 x 320 | |
| 12-TCB W22 x 60(S10T) | 26-TCB W22 x 60(S10T) | |
| 12-TCB W22 x 55(S10T) | | |

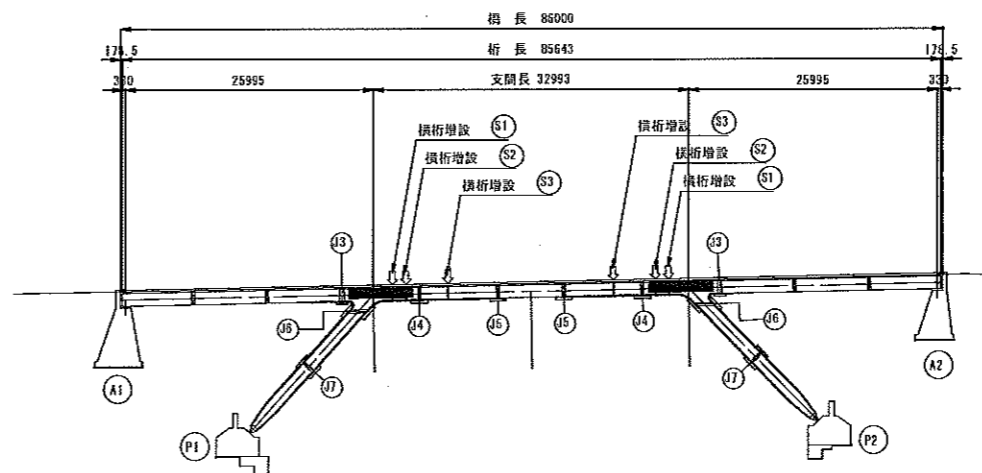
"a"部詳細 S=1:5



スカーラップ詳細 S=1:5



配置図



注記

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカーラップは3SRとする。
- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 必要に応じて、不慮震動など発生すること。
- 仮設部材の撤去やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
- 既設部材と当て補強板の接触面は、ケレンを施すこと。
- Rボルトの高力ボルトは、Rにむきむきようワッシャーを加工すること。

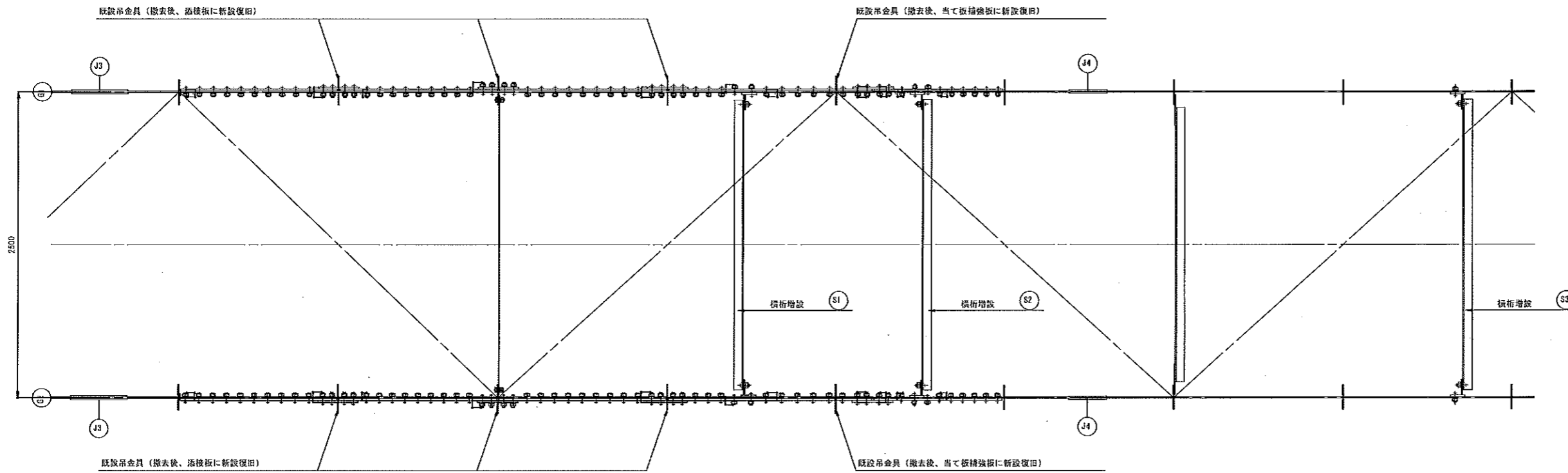
工事設計図

工事番号	図面番号	11 / 12
路線名	六ツ原橋(市道川津類六ツ原線)	
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内	
図名	当て板補強図(その11)	繪尺 図示
測量	平成29年3月	枚数 15/25
測量者	株式会社 長大	

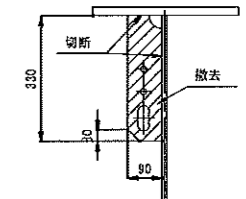
六ツ原橋 当て板補強図(その12)

S=1:20

既設吊金具 撤去後、復旧要領図

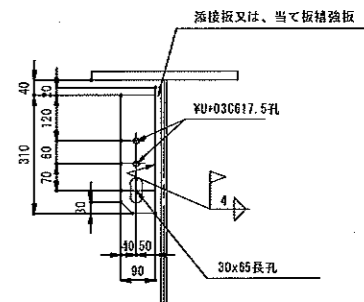


既設吊金具撤去図 S=1:10



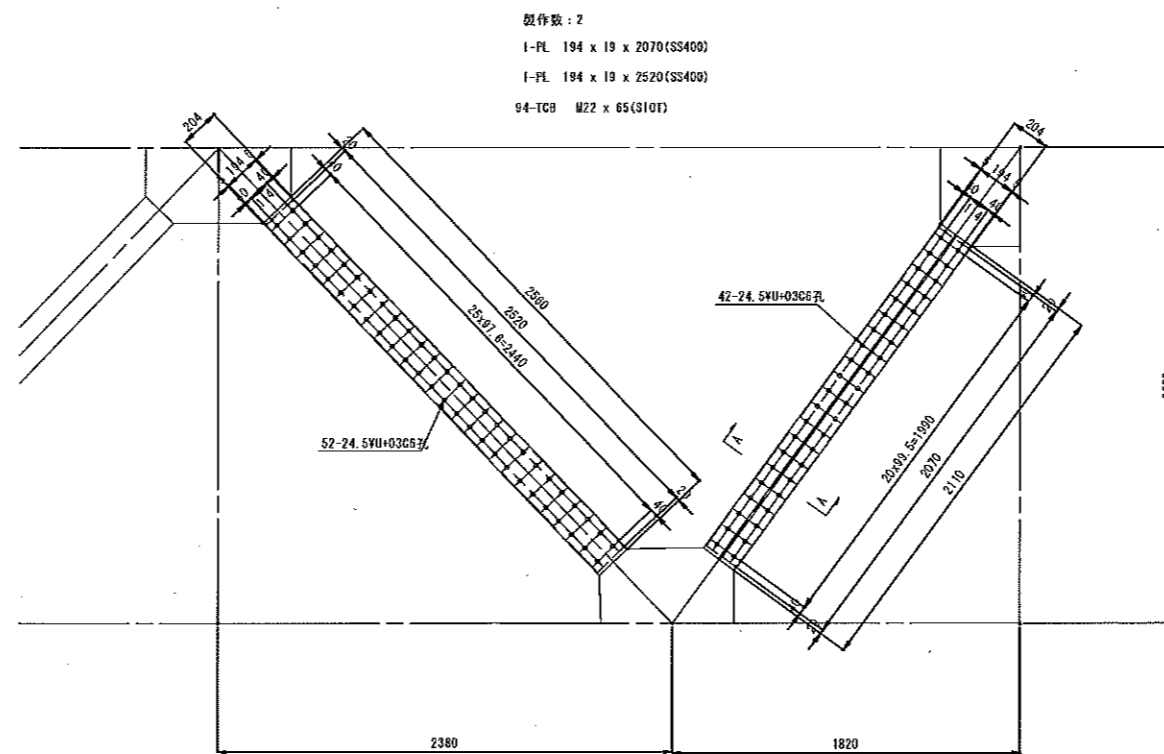
撤去材料 (製作数: 16)
I-PL 90 x 9 x 330(SS400)

吊金具新設復旧図 S=1:10



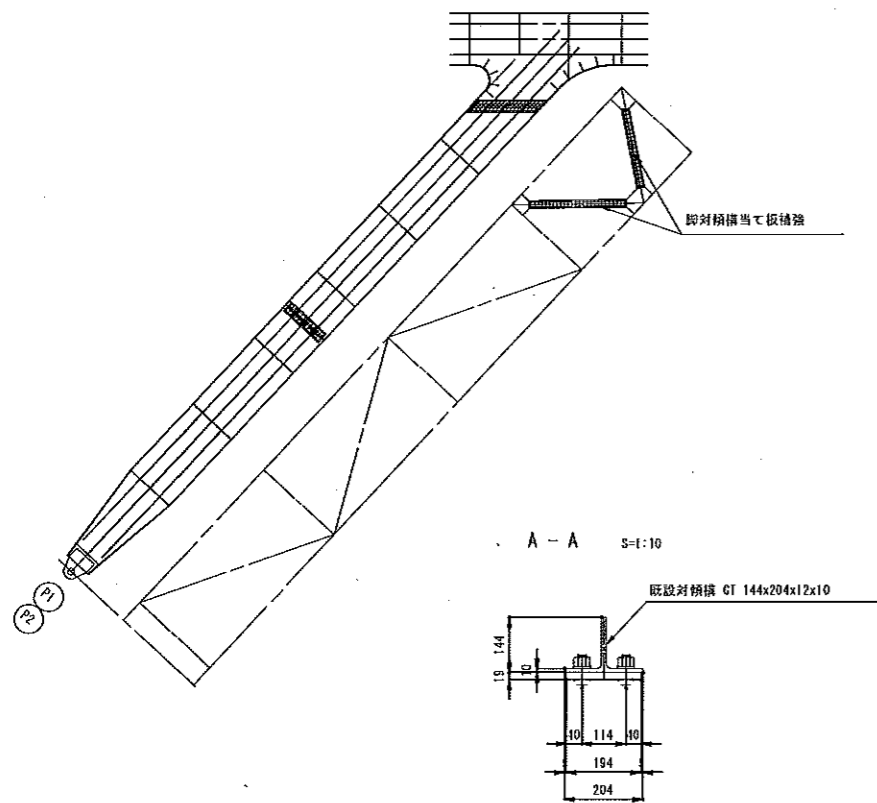
新設材料 (製作数: 16)
I-PL 100 x 9 x 310

脚対傾構当て板補強図



製作数: 2
I-PL 194 x 19 x 2070(SS400)
I-PL 194 x 19 x 2520(SS400)
94-TCB M22 x 65(S10T)

配置図



- 注記
1. 特記なき材質は全てS400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは3SRとする。
 3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
 5. 既設部材の撤去やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
 6. 既設部材と当て補強板の接触面は、ケレンを施すこと。
 7. M脚の高力ボルトは、Mに同じむようワッシャーを加工すること。

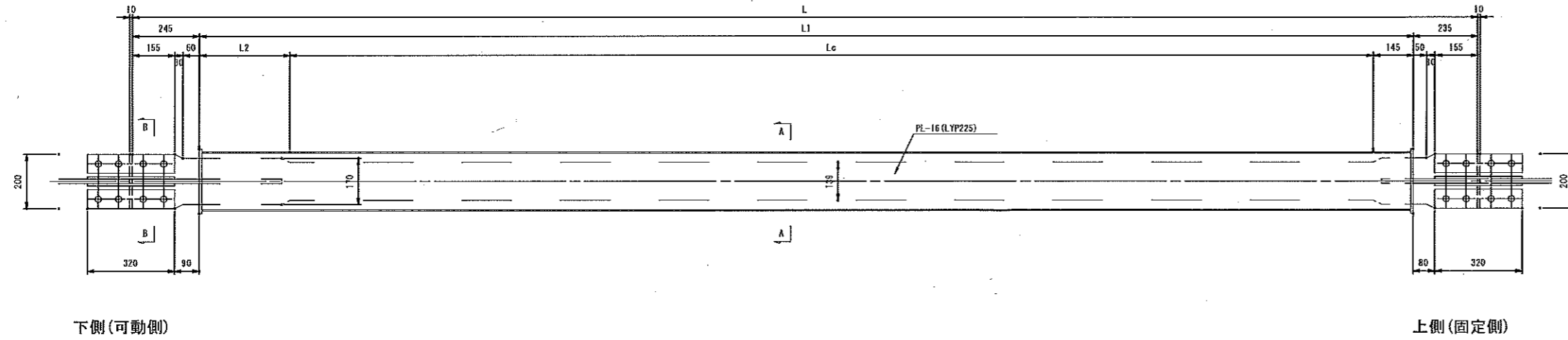
工事設計図

工事番号	図面番号	12 / 12
路線名	六ツ原橋(市道川津橋六ツ原線)	
工事箇所	大月市 七段河 瀬戸 地内	
図名	当て板補強図(その12)	図示
測量	平成25年3月	枚数 16/25
測量者	株式会社 長大	

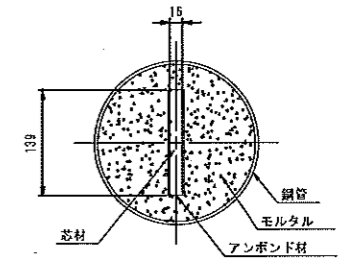
六ツ原橋 座屈拘束ブレース構造図

S=1:10

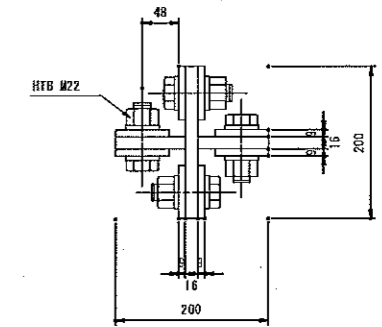
側面図



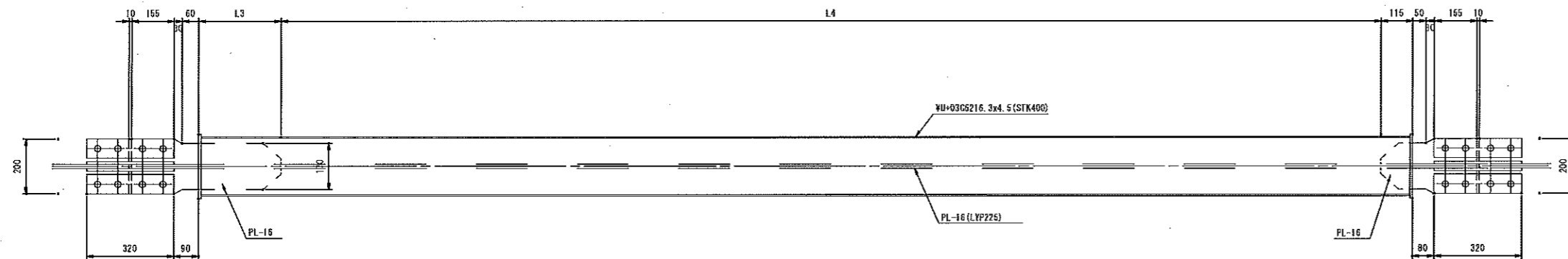
A-A s=1:5



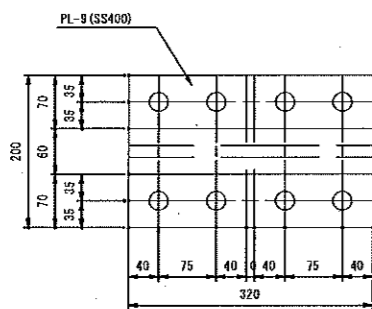
B-B s=1:5



平面図



継手部詳細 s=1:5



1箇所当り
8-SPL PL 70 x 9 x 320 (SS400)
16-HITB M22 x 75 (F10T)

座屈拘束ブレースの諸元および寸法

種別	UB500
製作数 本	5
降伏耐力 kN	500
一次剛性 kN/㎜	126.2
二次剛性 kN/㎜	2.524
YU-03B4a ㎜	46.4
L	4150
L1	3670
L2	435
Lc	3090
L3	405
L4	3150

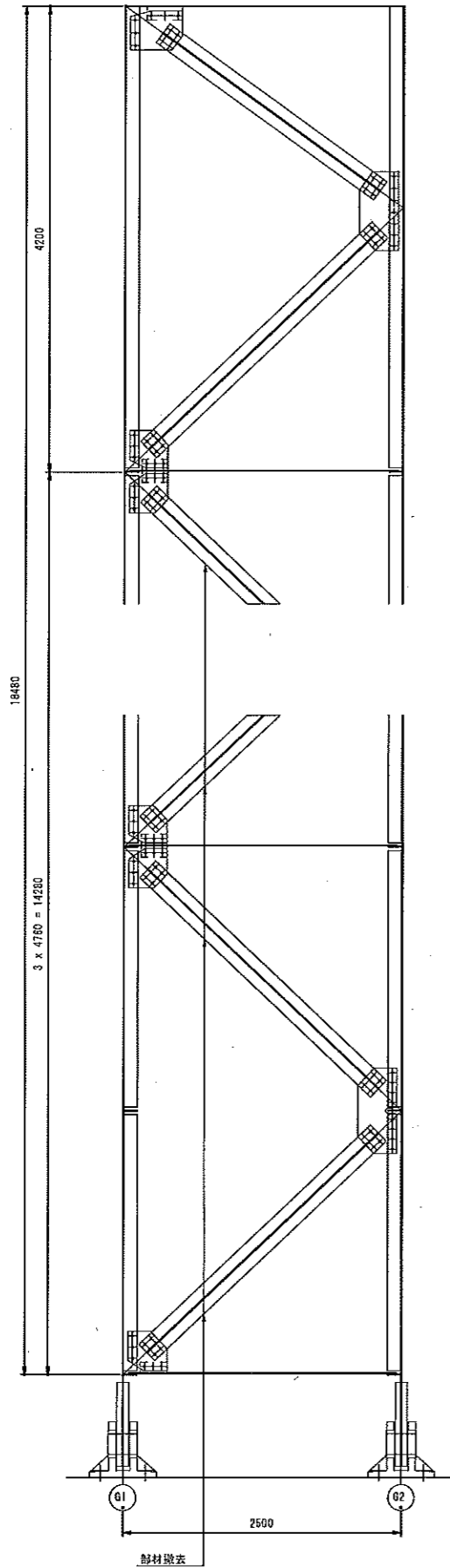
注記

- 特記なき材質はSM400Aとする。
- 特記なきボルト孔はYU-03C624.5とする。
- 部材寸法は現地計測結果を反映すること。
- 表記の降伏耐力はLYP225の降伏耐力が225H/w2で、静的な耐力が作用した時に実現できる。
- 本橋は断面に明示する座屈拘束ブレースの仕様にもとづき、橋梁全体での耐震性能を動的解析により検証している。図面と異なる履歴特性(軸降伏力・二次剛性)や重量の異なる座屈拘束ブレースを使用する場合は、再度動的解析にて検証し、各種部材の発生応力や変位、支承销力など橋梁全体の安全性を確認する必要がある。
- 防錆仕様は、溶融亜鉛メッキ10255(550g/m2以上)にZC-1を施す。
- 保線継手部は、リン酸塩処理を施すこと。
- 現場継手部のみ材料を計上。

工事設計図

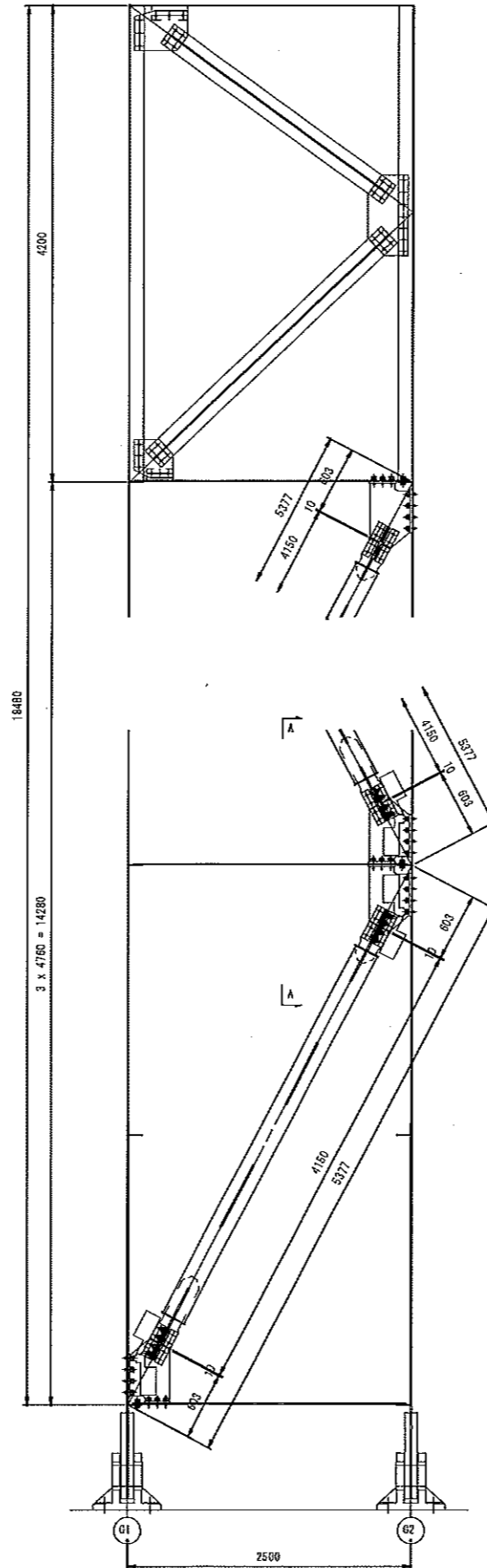
工事番号	図面番号	1 / 1
路線名	六ツ原橋(市道川津畑六ツ原線)	
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内	
図名	座屈拘束ブレース 構造図	積尺 図示
測量	平成29年3月	枚数 17 / 25
測量者	株式会社 長大	

既設部材撤去
P1・P2

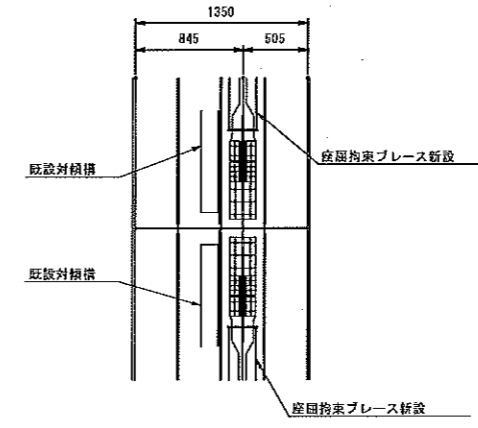


- 対稱部材撤去数量(箇所数:2)
- 5-GT 144 x 204 x 12 x 10 x 2870
 - 1-GT 144 x 204 x 12 x 10 x 2830
 - 5-PL 340 x 8 x 355
 - 2-PL 350 x 8 x 770
 - 1-PL 360 x 9 x 800
 - 1-PL 350 x 9 x 355
 - 7-HTB M22 x 65
 - 101-HTB M22 x 60

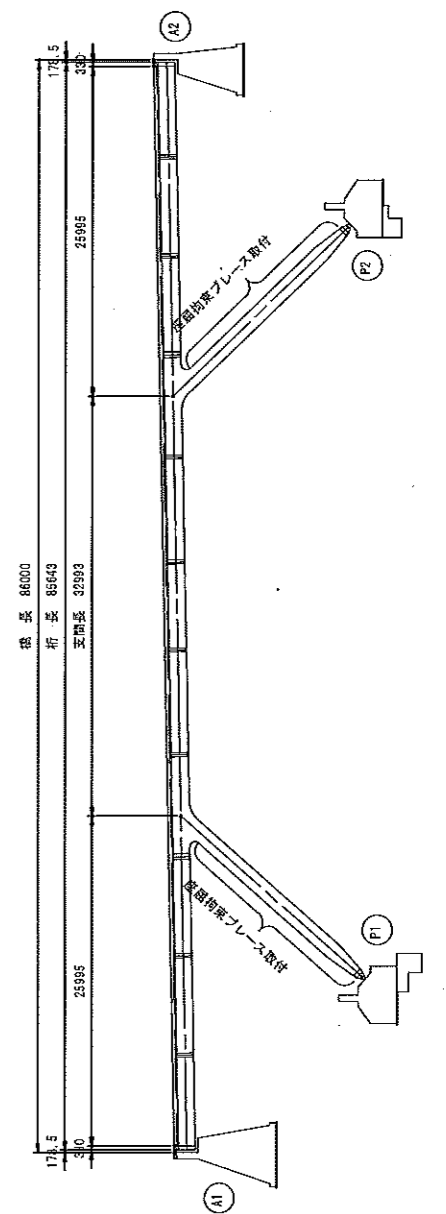
新設ブレース材追加
P1・P2



A - A



配置図



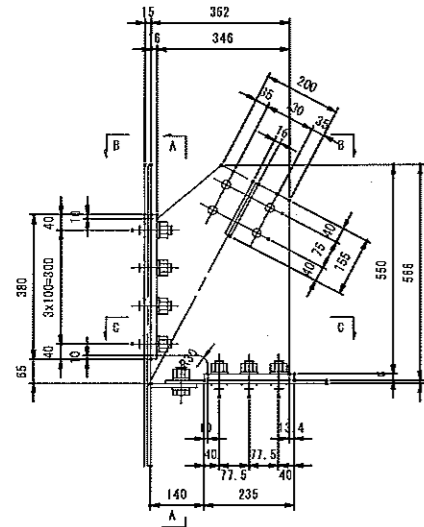
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカーラップは3Rとする。
 3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
 5. 既設部材の撤去やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
 6. 既設部材の撤去は、座屈拘束ブレースの設置後に行うこと。

工事設計図			
工事番号	図面番号	1 / 2	
路線名	六ツ原橋(市道川岸線六ツ原橋)		
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内		
図名	座屈拘束ブレース 取付図(その1)	縮尺	図示
測量	平成29年3月	枚数	18 / 25
測量者	株式会社 長大		

六ツ原橋 座屈拘束ブレース取付図(その2)

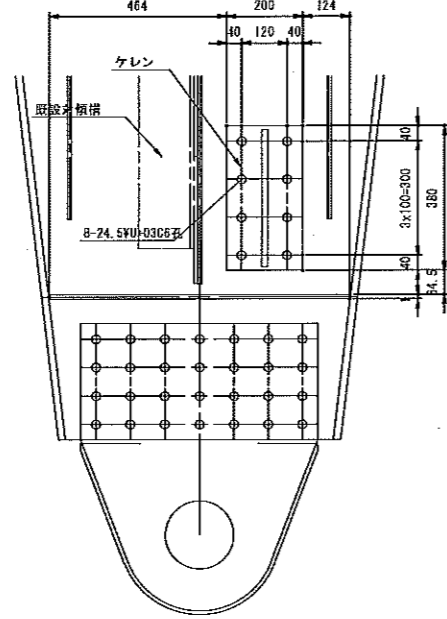
S=1:10

GUSS1

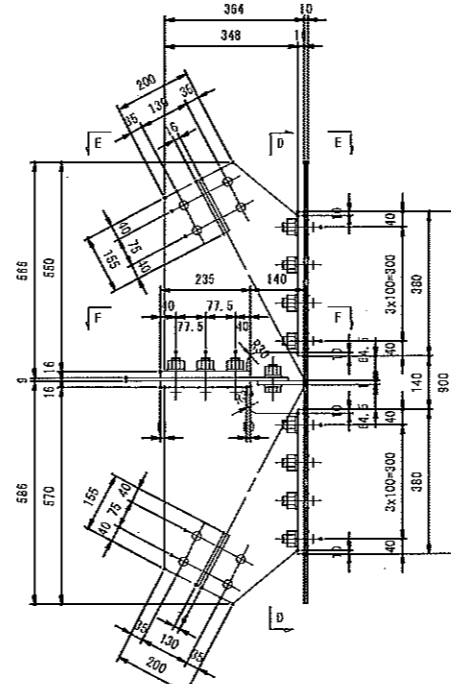


- 製作数: 2
 1-PL 200 x 15 x 360
 1-PL 200 x 15 x 235
 1-PL 346 x 15 x 550
 2-PL 92 x 15 x 155
 8-TGB M22 x 70(S10T)
 6-TGB M22 x 60(S10T)

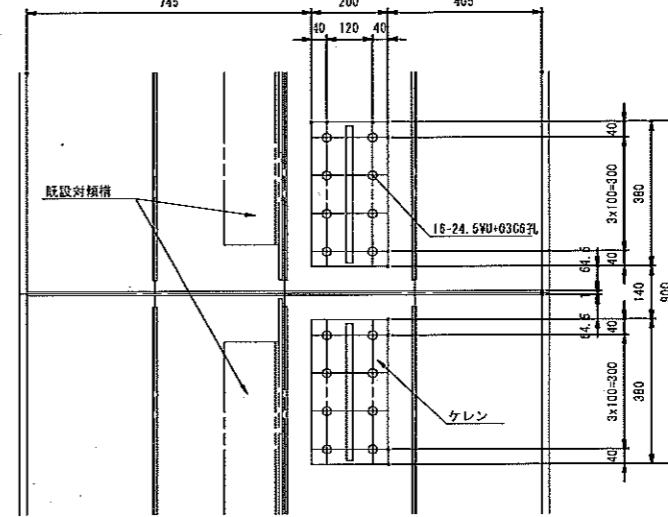
A - A



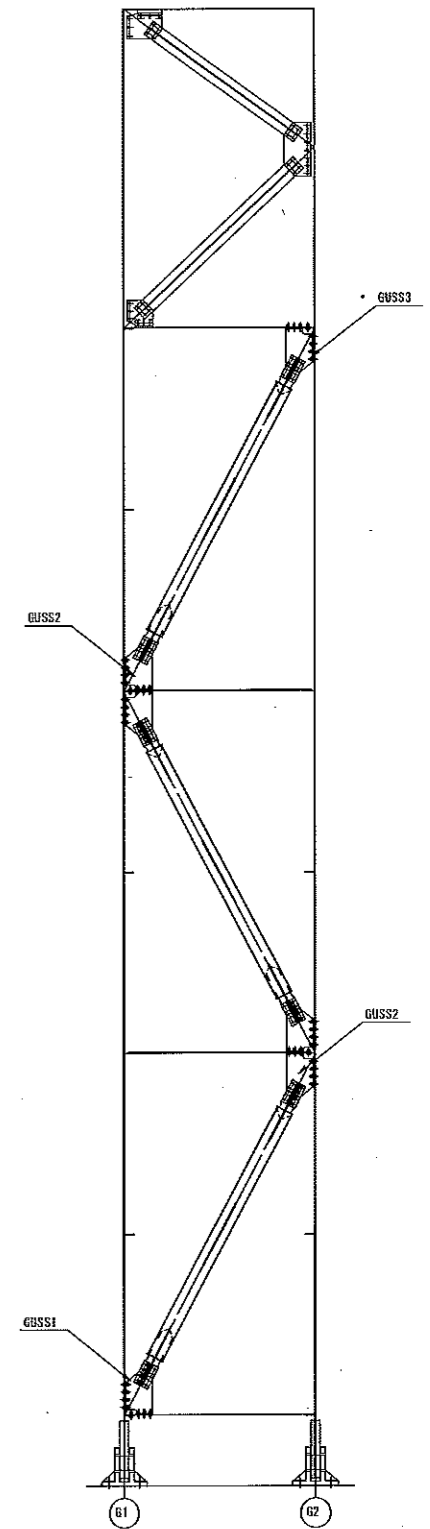
GUSS2



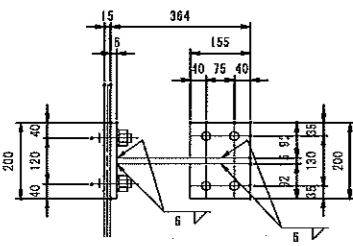
D - D



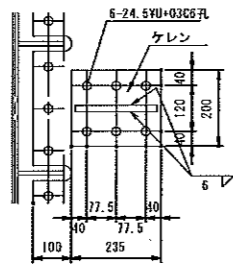
配置図
P1, P2



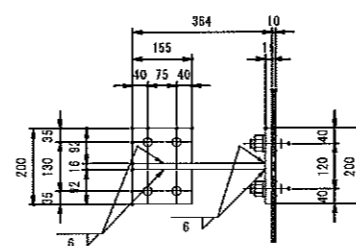
B - B



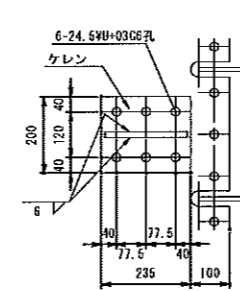
C - C



E - E

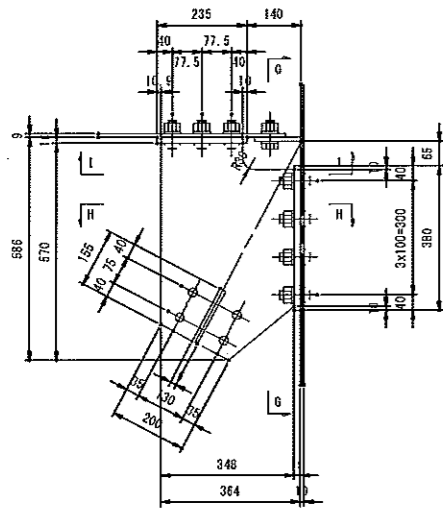


F - F

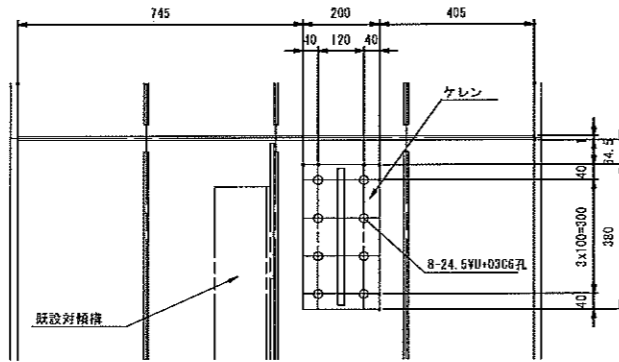


- 製作数: 4
 2-PL 200 x 16 x 380
 2-PL 200 x 16 x 235
 1-PL 348 x 16 x 550
 1-PL 348 x 16 x 570
 4-PL 92 x 16 x 155
 16-TGB M22 x 65(S10T)
 6-TGB M22 x 80(S10T)

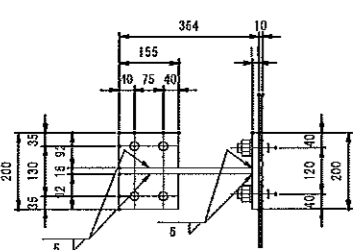
GUSS3



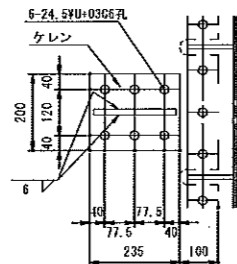
G - G



H - H



I - I



- 製作数: 2
 1-PL 200 x 16 x 380
 1-PL 200 x 16 x 235
 1-PL 348 x 16 x 570
 2-PL 92 x 16 x 155
 8-TGB M22 x 65(S10T)
 6-TGB M22 x 60(S10T)

注記

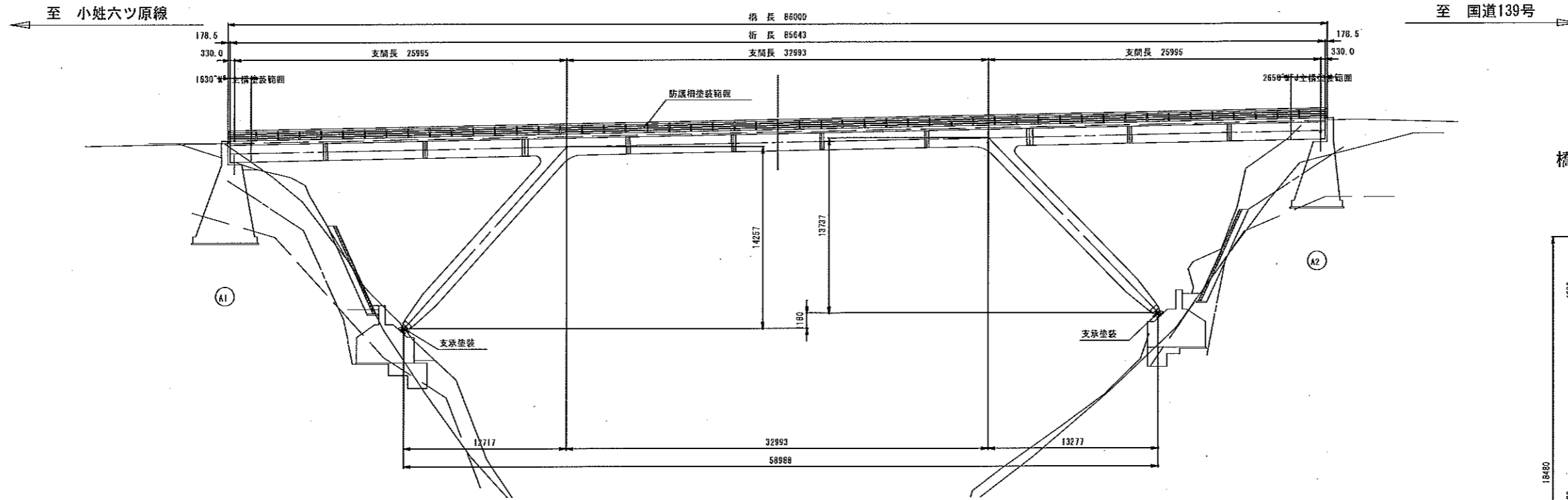
1. 特記なき材質は全てS400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは3φとする。
3. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法等を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
4. 必要に応じて、不陸調整など実施すること。
5. 既設部材の板表やグラインダー仕上げに際しては、既設部材を損傷させない様、十分に留意すること。
6. 既設部材の撤去は、座屈拘束ブレースを仮設置後に行うこと。

工事設計図			
工事番号		図面番号	2 / 2
路線名	六ツ原橋(市道川津拍六ツ原橋)		
工事箇所	大月市 七塚町 瀬戸 地内		
図名	座屈拘束ブレース 取付図(その2)	縮尺	図示
測量	平成2年3月	枚数	19 / 25
測量者	株式会社 長大		

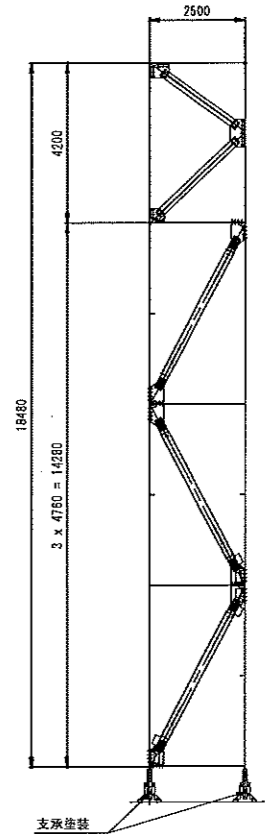
六ツ原橋 塗装塗替詳細図

S=1:200

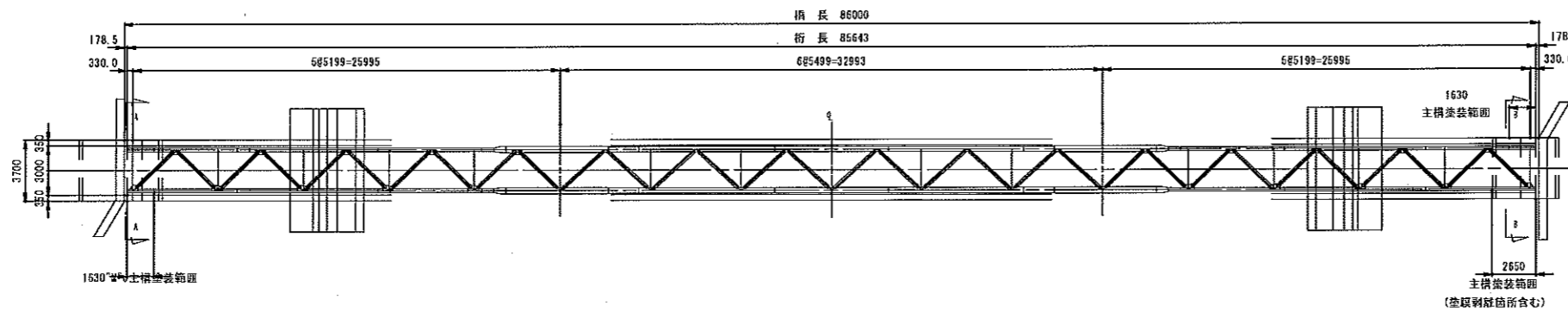
側面図



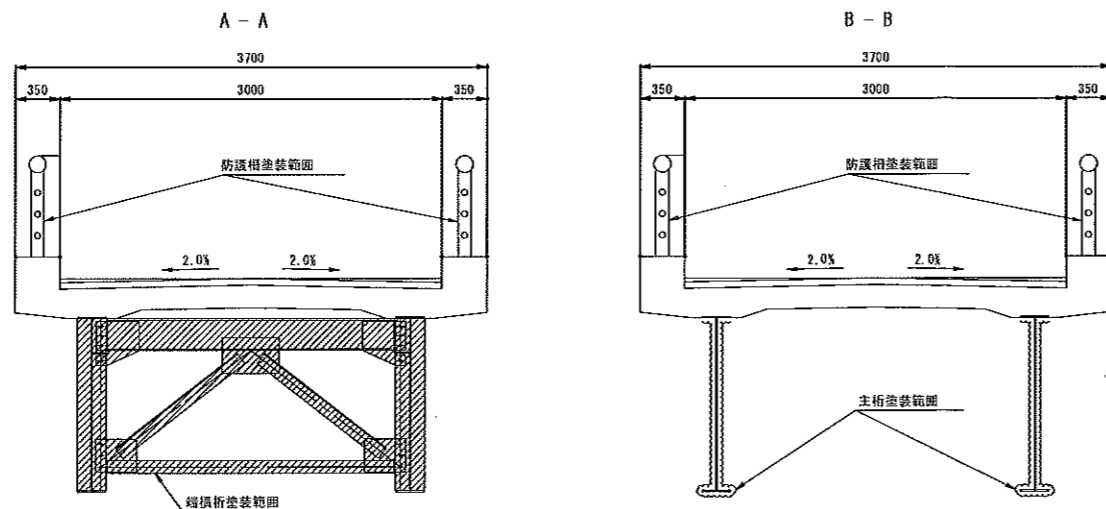
橋脚断面図 S=1:100



平面図



断面図 S=1:30



塗装面積数量表(Rc-I)

部位	損傷箇所	面積(m ²)	合計(m ²)
橋桁	主桁	155.3	167.7
	端対横構	9.8	
	横構	2.6	
橋台	橋脚	269.7	274.0
	支保	4.3	
合計			381.7

注記
1. 施工にあたっては、現地確認を行うこと。

塗装面積数量表(Rc-III)

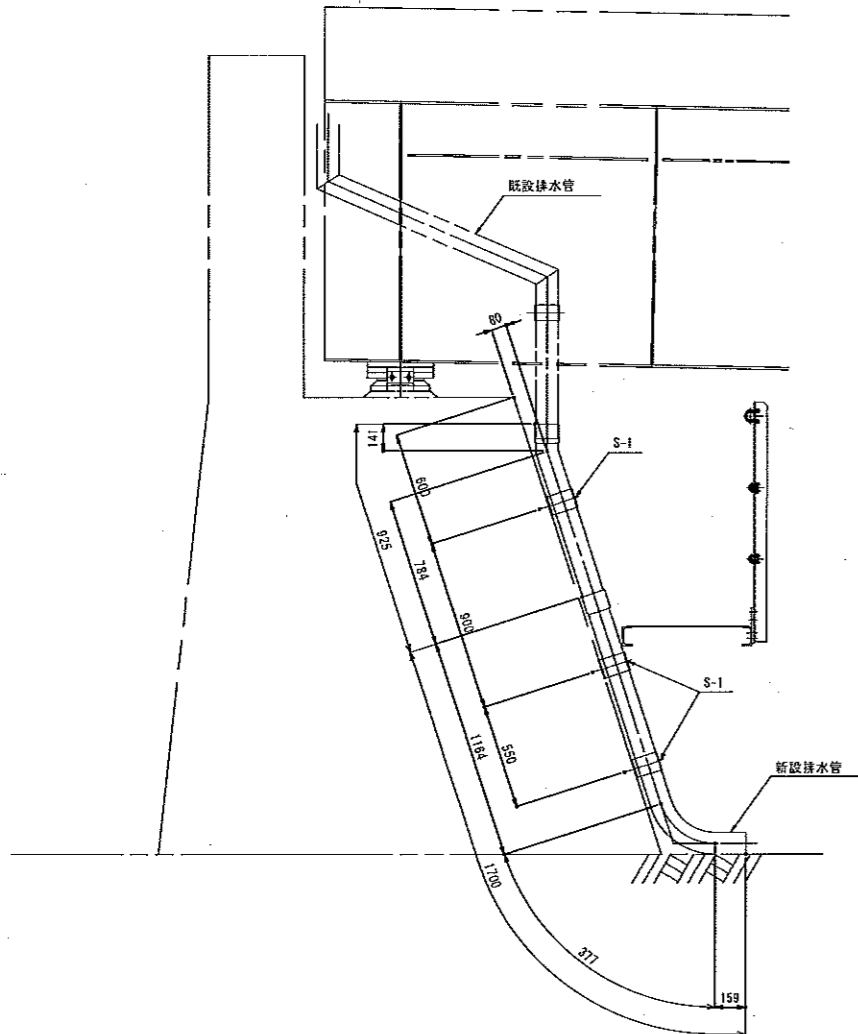
部位	損傷箇所	面積(m ²)	合計(m ²)
防護桁		174.9	174.9
合計			174.9

工事設計図

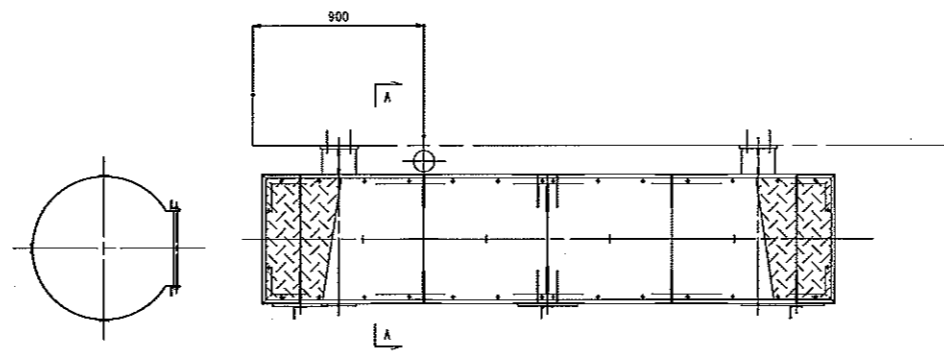
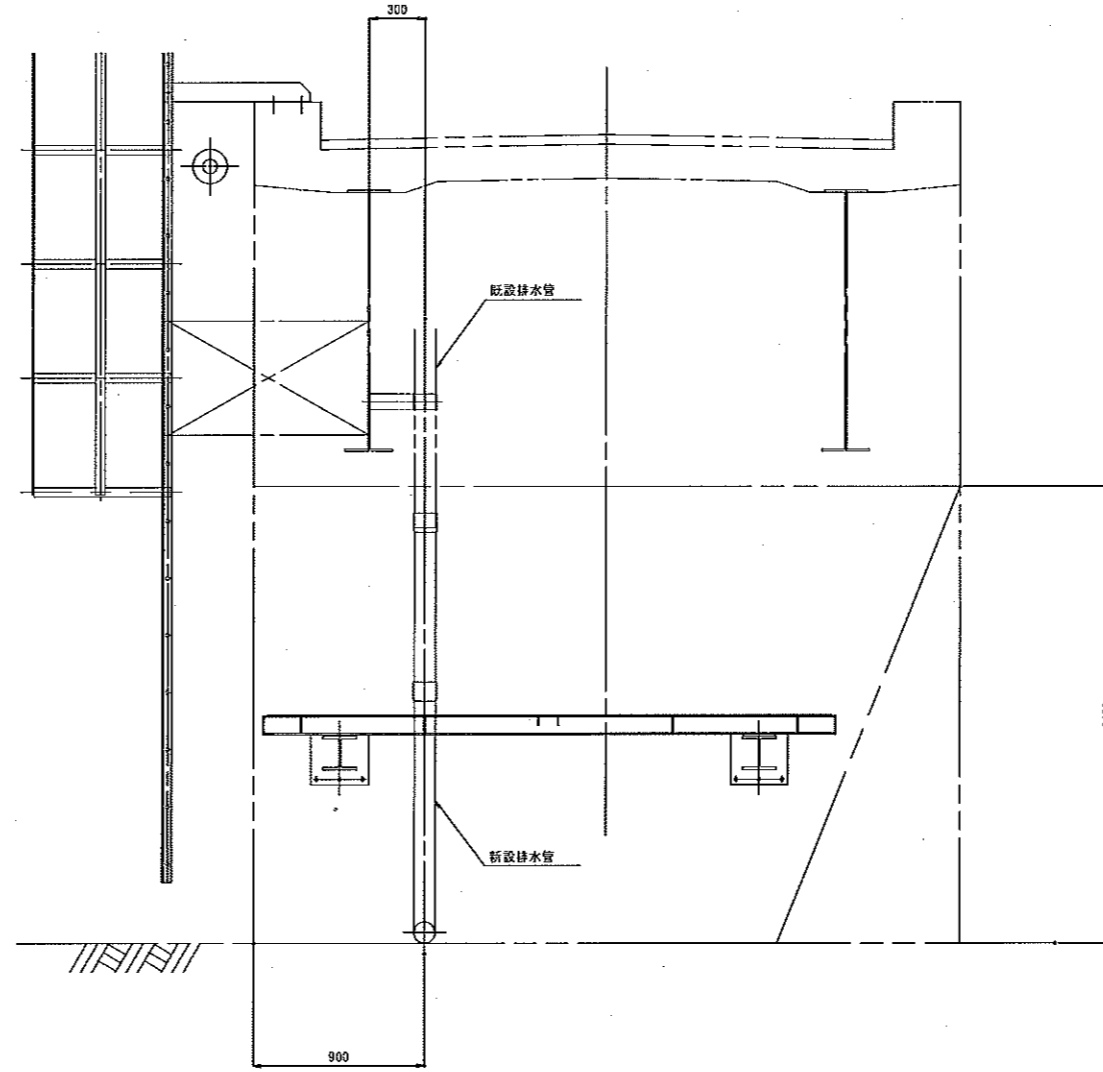
工事番号	区画番号	1 / 1
路線名	六ツ原橋(市道川津畑六ツ原線)	
工事箇所	大月市 七隈町 瀬戸 地内	
図名	橋尺	図示
測量	平成29年3月	枚数 20/25
測量者	株式会社 長大	

A2橋台

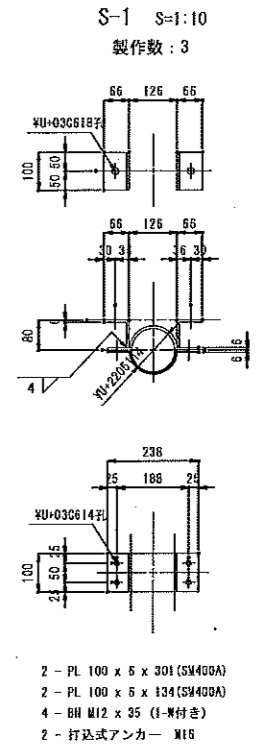
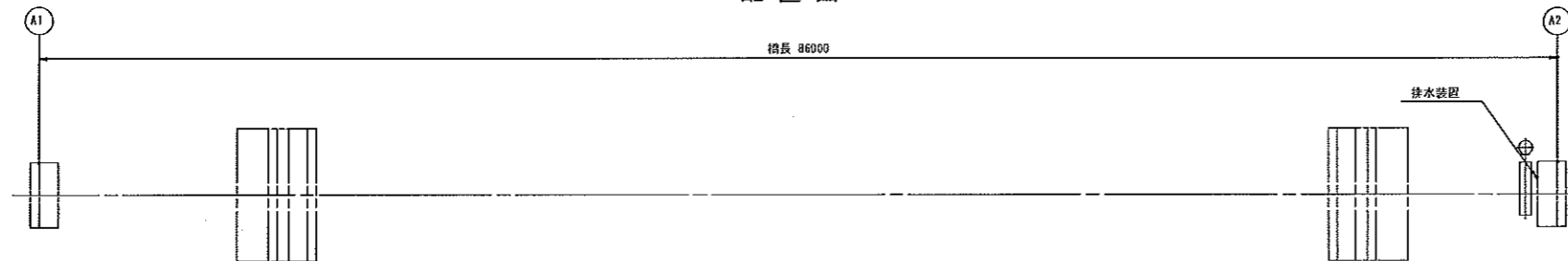
A-A



- 1 - ジャバラパイプ 100A x 1000(PVC)
- 1 - ジャバラパイプ 100A x 1700(PVC)



配置図

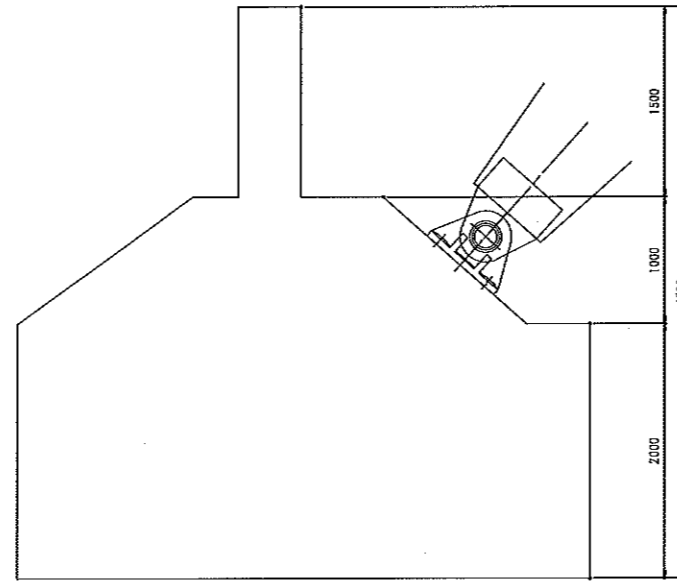
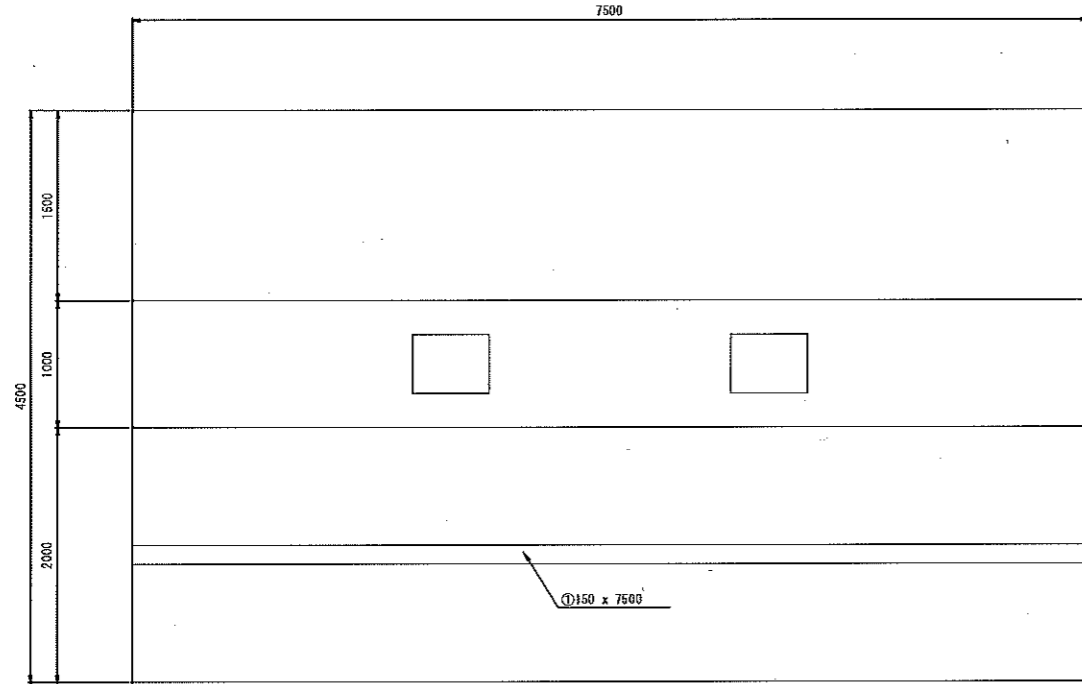


- 2 - PL 100 x 5 x 301 (SM400A)
- 2 - PL 100 x 5 x 134 (SM400A)
- 4 - BH M12 x 35 (I-M付き)
- 2 - 打込式アンカー M16

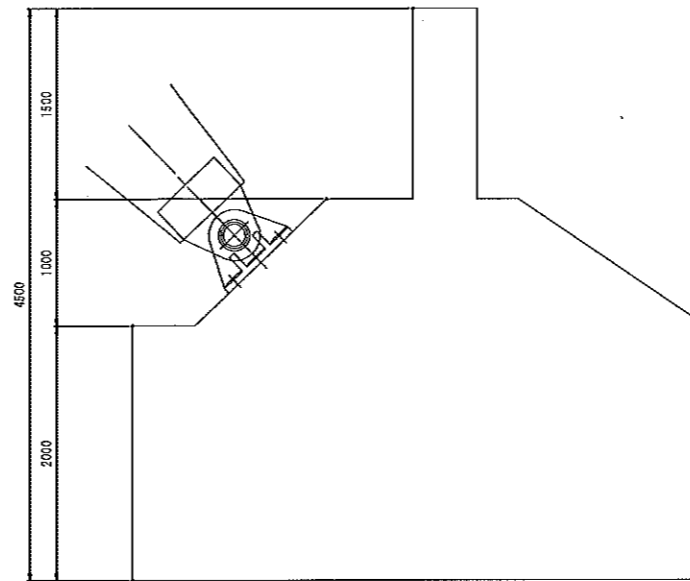
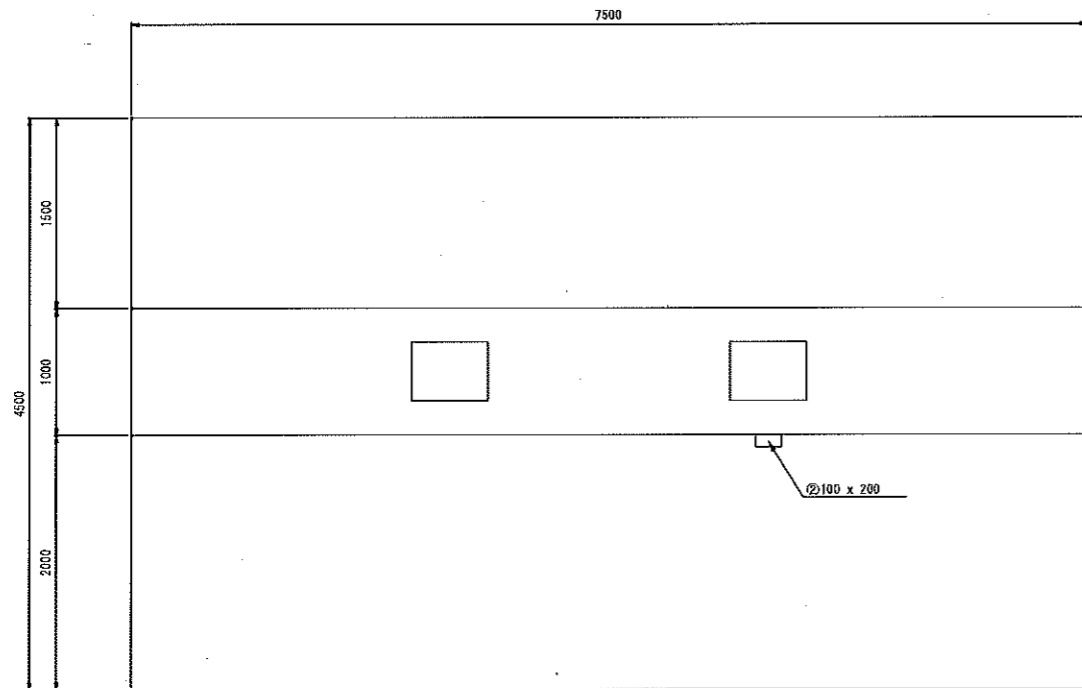
- 注 記
1. 細部寸法は、現地調査実測の上、最終確認を行なうこと。
 2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 3. Hボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
 4. 表面処理は、溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8541 2種HDZ55とする。
但しボルト、ナット及び板厚3.2mm未満の付着量は、2種HDZ35とする。

工事設計図			
工事番号		図面番号	1 / 1
路線名	六ツ原橋(市道川津畑六ツ原橋)		
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内		
図名	排水装置改造図	縮尺	図示
測量	平成29年3月	枚数	21 / 25
測量者	株式会社 長大		

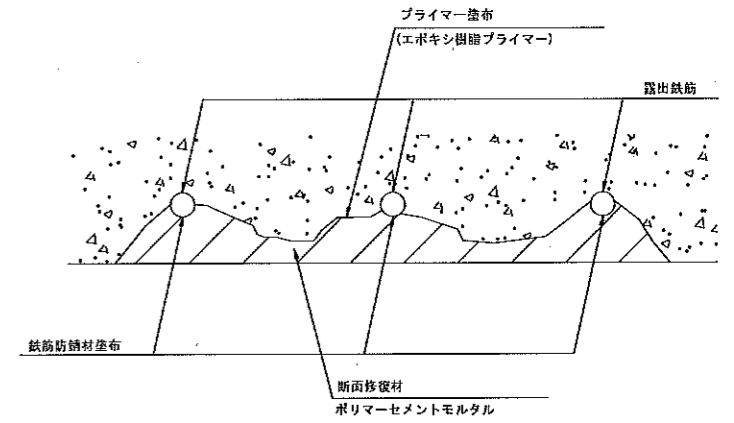
A1 拱台



A2 拱台



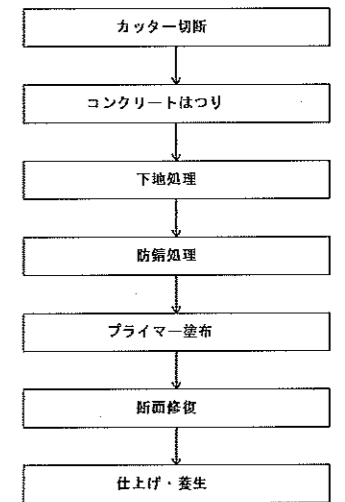
断面修復工（鉄筋露出）



①150 x 7500
断面修復工

測点	寸法(m)	面積(m ²)
①	0.150 YU+0CD77.500 YU+000Z	1.125
②	0.100 YU+0CD0.200 YU+000Z	0.020
合計		1.145 m ²

施工手順



注記
1. 施工にあたっては、現地確認を行うこと。

工事設計図			
工事番号		図面番号	1 / 1
路線名	六ツ原橋(市道川津田六ツ原線)		
工事箇所	大月市 七沢町 瀬戸 地内		
図名	拱台補修詳細図	縮尺	図示
測量	平成29年3月	枚数	22 / 25
測量者	株式会社 長大		

六ツ原橋 施工要領図 (参考図)

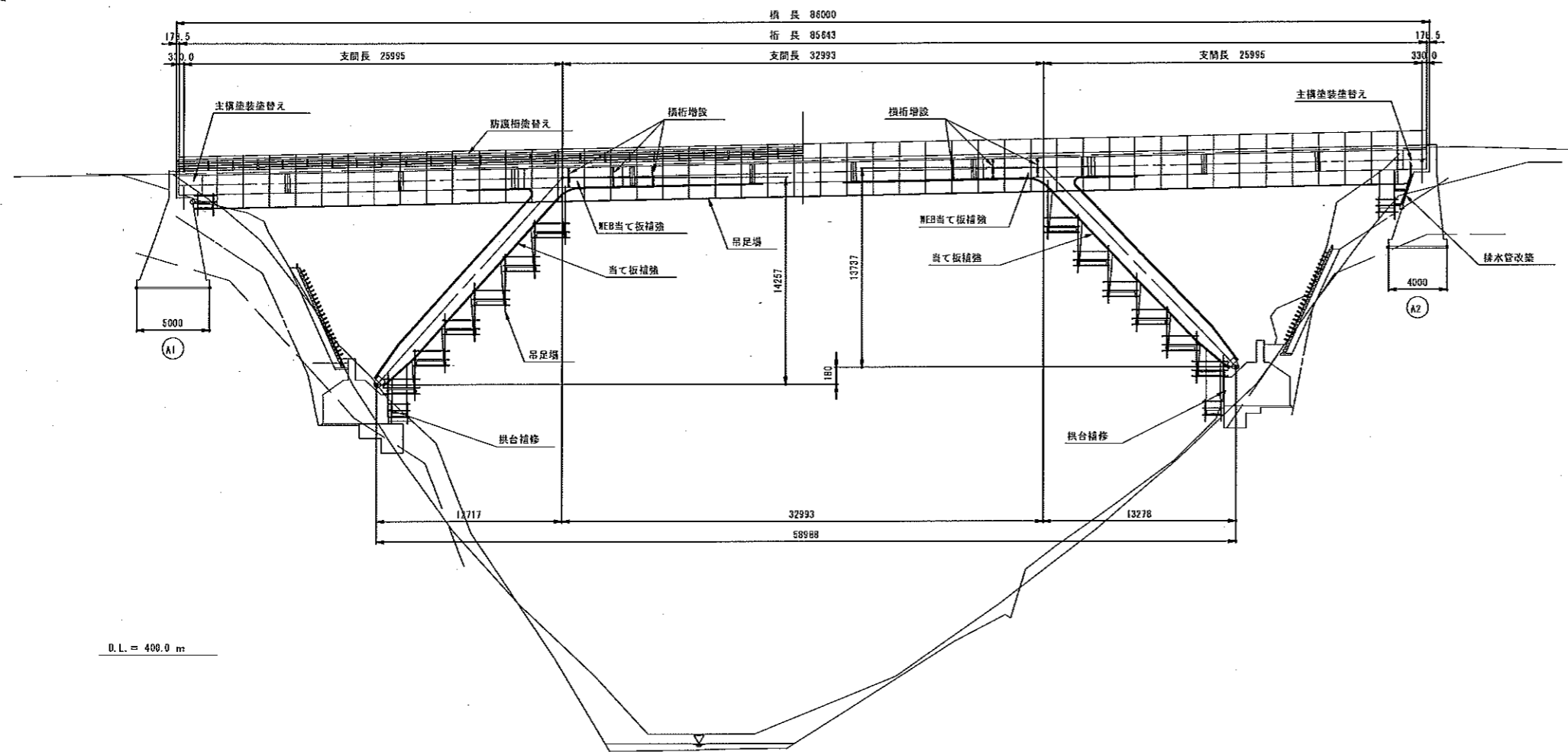
S=1:200

至 小姓六ツ原線

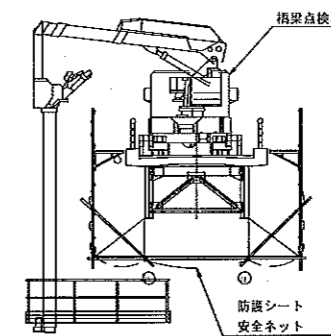
側面図

至 国道139号

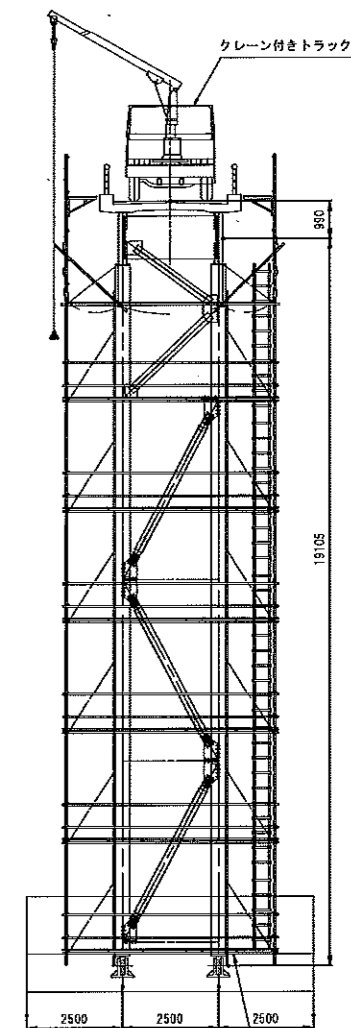
断面図 S=1:100



主構 補修、補強用足場設置時



橋脚 補修、補強用足場設置時

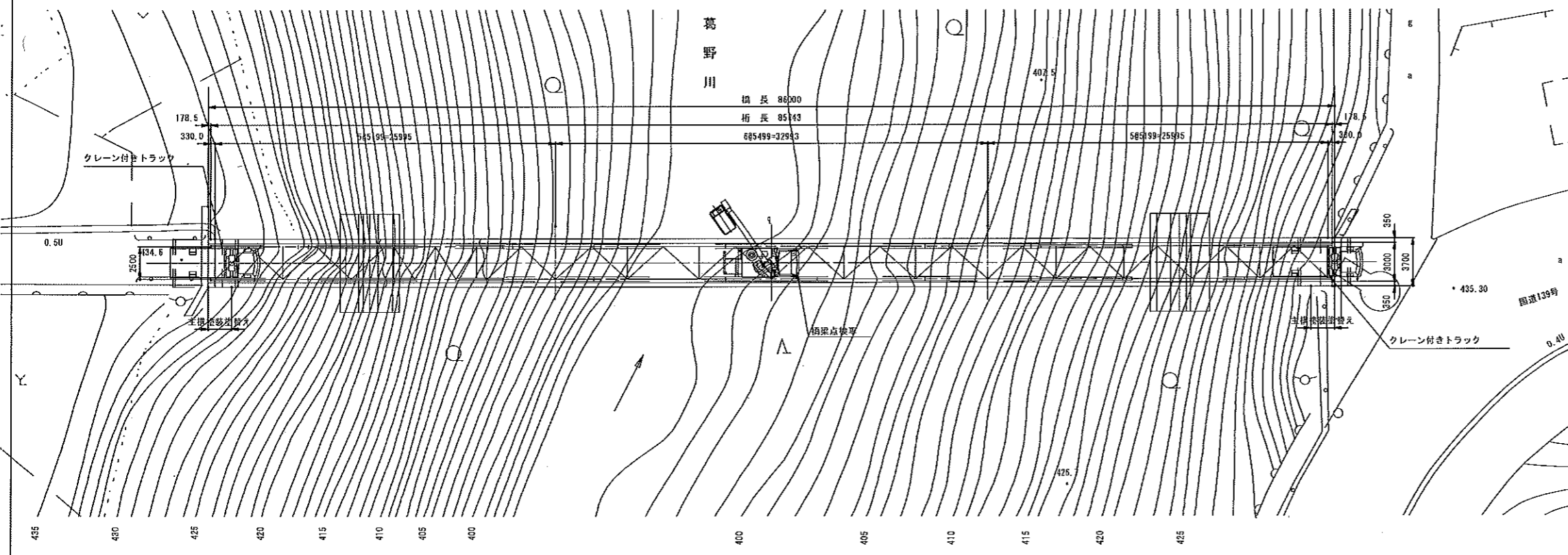


補修工全体フロー



全段に設置し、飛散物等の河川への落下を防止する。

平面図



工事設計図			
工事番号		図面番号	1 / 1
路線名	六ツ原橋(市道川津畑六ツ原線)		
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内		
図名	橋工要領	縮尺	図示
測日	平成29年3月	枚数	23 / 25
測量者	株式会社 長大		

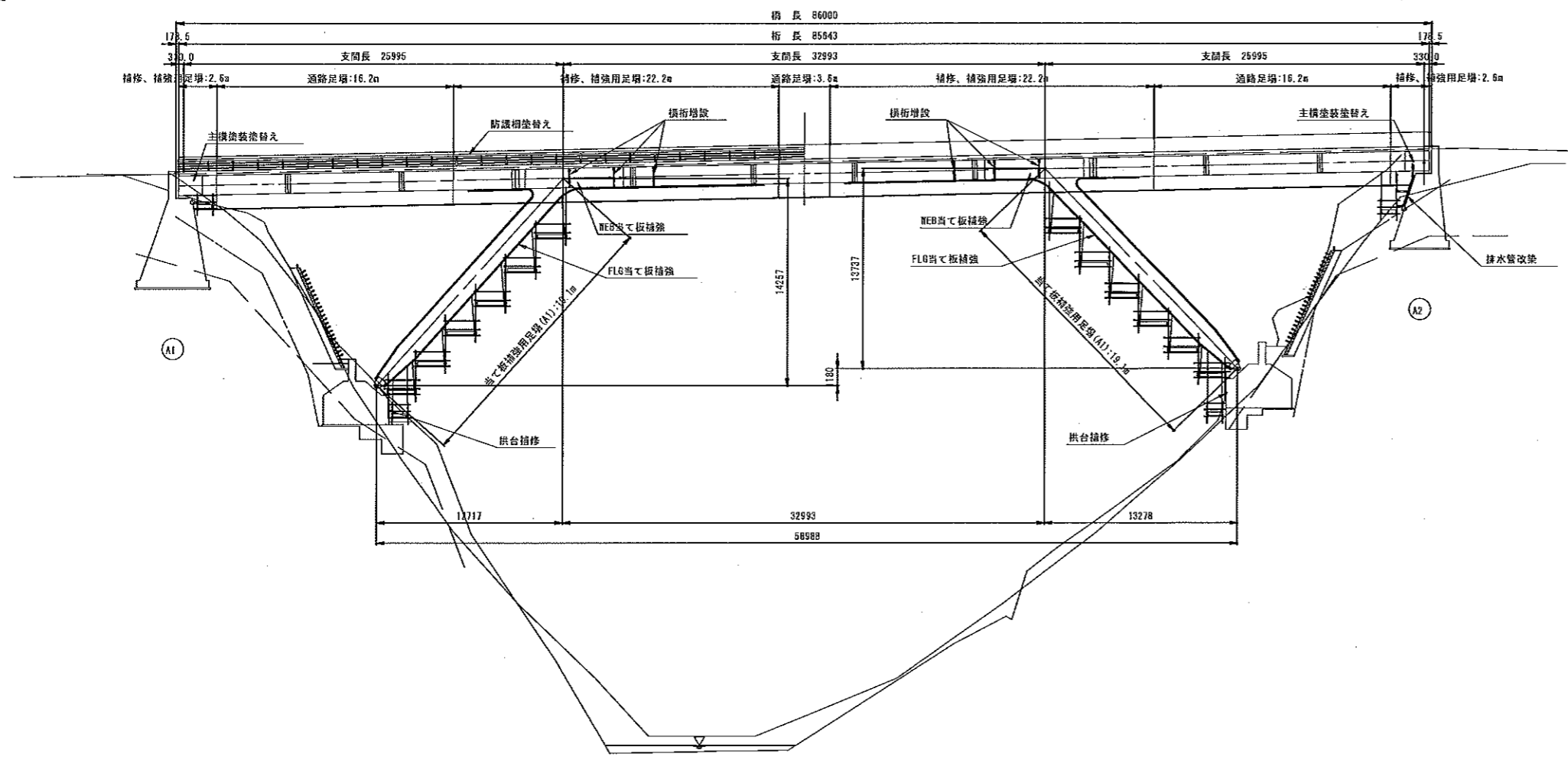
六ツ原橋 足場一般図(参考図)

S=1:200

至 小姓六ツ原線

側面図

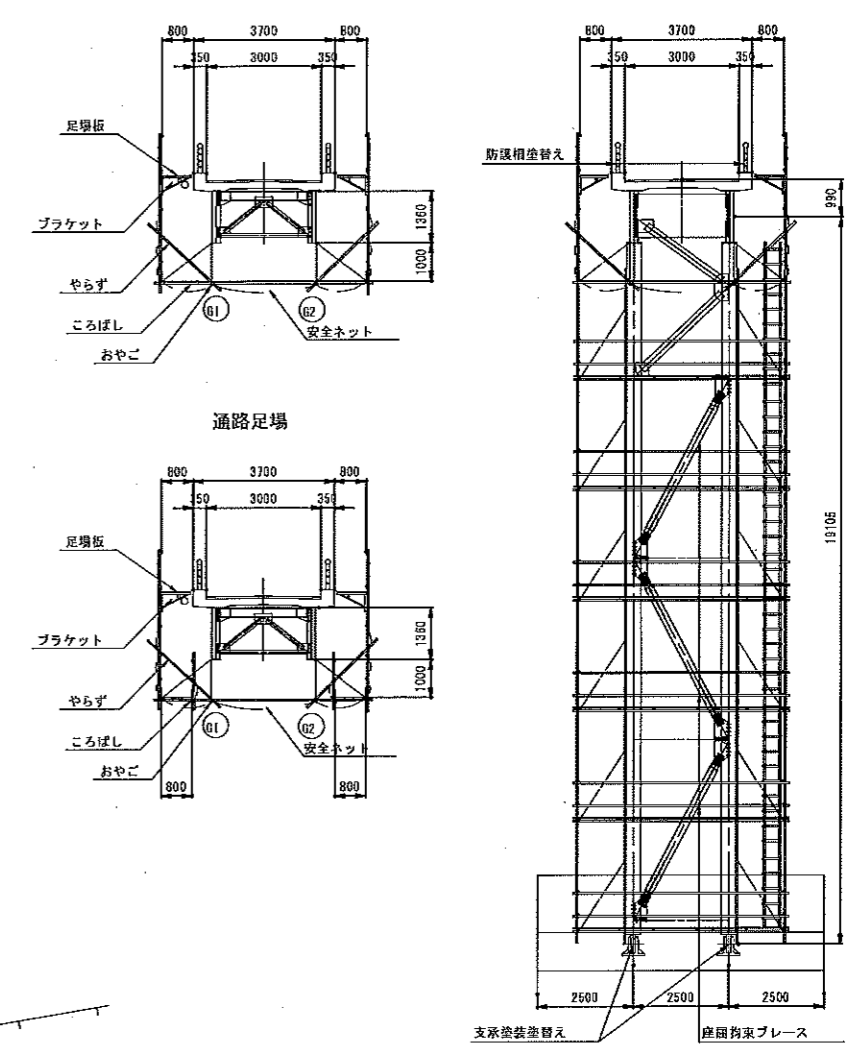
至 国道139号



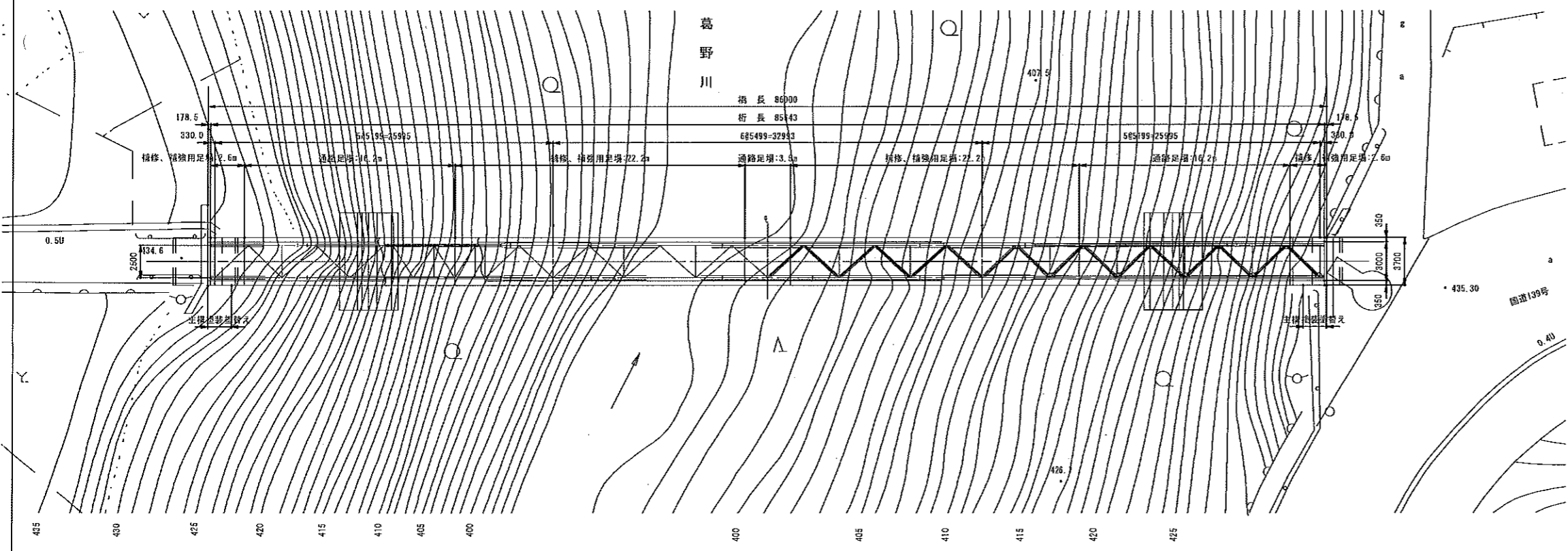
断面図 S=1:100

主構 補修、補強用足場

橋脚 補修、補強用足場



平面図



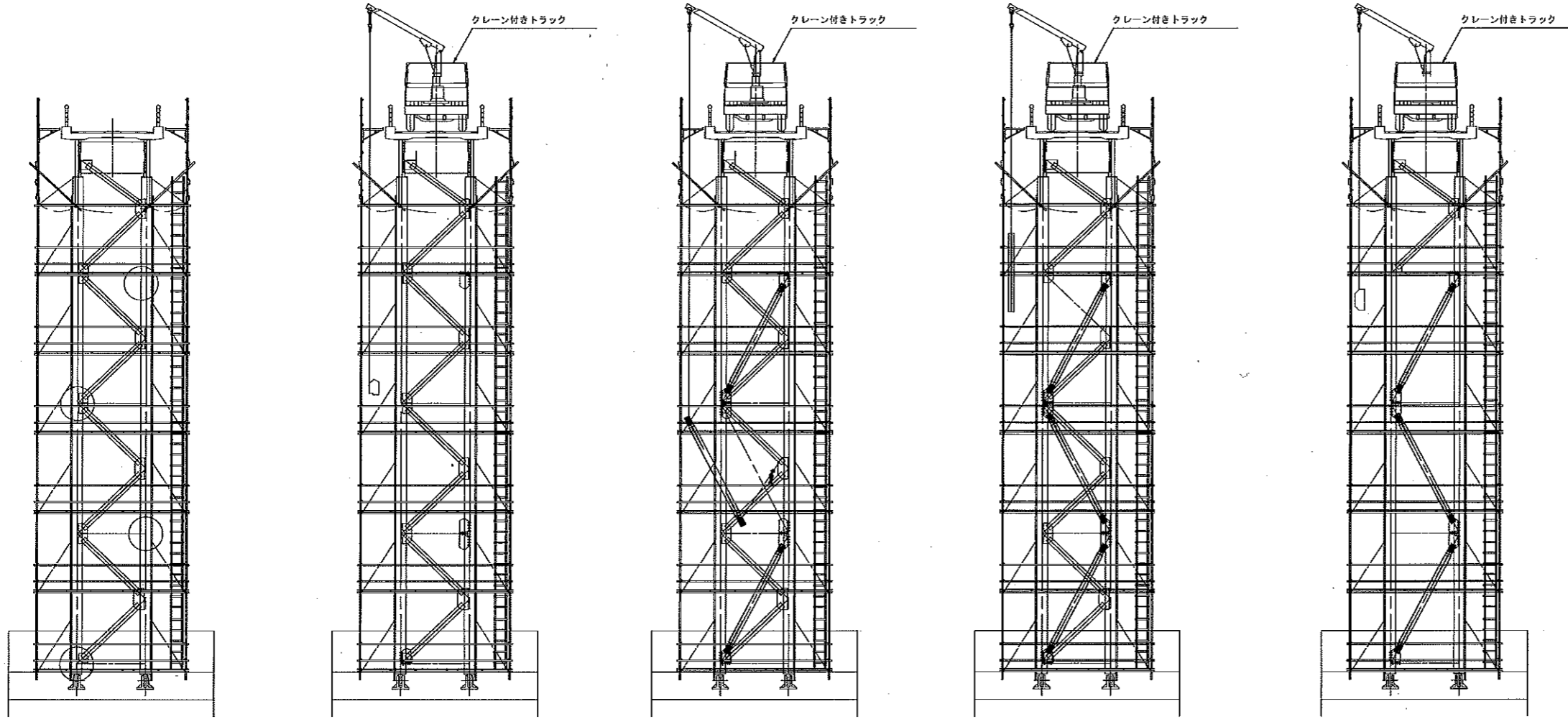
注)
1. 施工時には現況寸法実測を行い、四面照合等の確認のち施工を行うこと。

工事設計図			
工事番号	図面番号	1 / 1	
路線名	六ツ原橋(市道川津相六ツ原線)		
工事箇所	大月市七保町 瀬戸 地内		
図名	規模(1/1000)	縮尺	図示
期日	平成28年3月	枚数	24 / 25
期日者	株式会社 長大		

六ツ原橋 座屈拘束ブレース設置施工要領図 (参考図)

S=1:100

断面図



ステップ 1
取付位置の清掃
ガセット取付位置のボルト孔位置の寸量
ボルト孔明
取付部分の蓋板・ボルト孔のバリ撤去

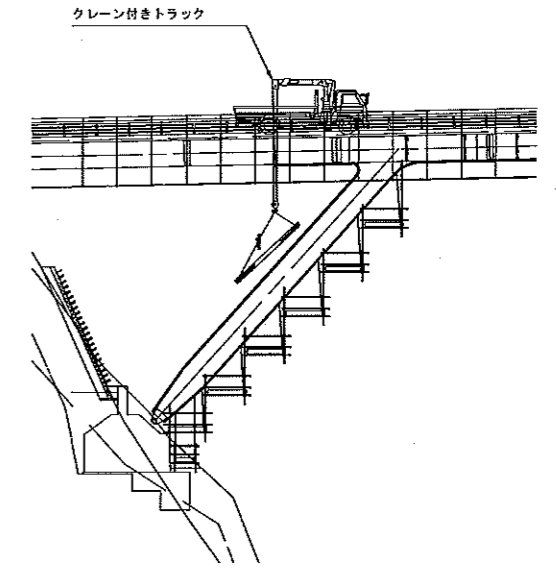
ステップ 2
ガセットプレートの取付

ステップ 3
座屈拘束ブレースの取付

ステップ 4
全座屈拘束ブレースの取付完了
仮設ブレース斜材の撤去

ステップ 5
既設ブレースガセットの撤去
既設ブレースガセット撤去箇所の蓋板
座屈拘束ブレースの設置ボルトの塗装

側面図 S=1:200



注)
1. 施工前には現況寸法実測を行い、図面照合等の確認のち
施工を行うこと。

工事設計図				
工事番号		図面番号	1 / 1	
路線名	六ツ原橋(市道川津四六ツ原線)			
工事箇所	大月市 七保町 瀬戸 地内			
図名	座屈拘束ブレース 設置施工要領図	縮尺	図示	
測量	平成29年3月	枚数	25 / 25	
測量者	株式会社 長大			